

SHARP[®]

AQUOS mini
SH-M03

取扱説明書 '16.6

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

操作方法を確認する

クイックスタートガイド(本体付属品)

各部の名称と機能について説明しています。

取扱説明書(本書)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

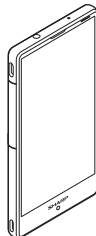
次のサイトでダウンロード

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm03/manual/index.html>

※ URL および掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はホームアプリがFeel Homeの場合で説明しています。ホームアプリを変更すると、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書の本文中においては、「SH-M03」を「本端末」または「端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品



SH-M03本体
(保証書付き)



クイックスタートガイド



ご利用にあたっての注意事項

目次

本端末のご利用について	2
安全上のご注意(必ずお守りください)	3
取り扱い上のご注意	8
内蔵電池の交換について	10
リサイクルについて	10
防水/防塵性能	10

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能	13
nanoSIMカード	13
充電	15
電源を入れる/切る	16
基本操作	16
文字入力	19
初期設定	21
着信/充電ランプ	24
画面表示/アイコン	24
ホーム画面	26
アプリ使用履歴	29
ホーム切替	30
アプリ初回起動時の確認画面について	30

電話

電話をかける	31
電話を受ける	31
通話中の操作	32
発着信履歴	32
通話設定	33
電話帳	33

メール/ウェブブラウザ

SMS	35
Eメール	36
Gmail™	37
Chrome	39

アプリ

Play ストア	40
おサイフケータイ	40
テレビ(ワンセグ)	41
SHカメラ	44
アルバム	46
ミュージック	47
GPS/ナビ	48
YouTube	49
アラーム・時計	49
カレンダー	50
メモ帳	50
電卓	51
SHツール	51

端末設定

設定メニュー	53
プロフィール	53

音と通知	53
ヒカリリモーション	54
壁紙とディスプレイ	54
省エネ&バッテリー	55
ストレージとUSB	55
便利機能	56
アプリ	58
メモリ	58
タップ&ペイ	58
データ使用量	59
もっと見る	59
位置情報	59
ロックとセキュリティ	59
言語と入力	61
バックアップとリセット	62
Google™	63
日付と時刻	63
ユーザー補助	63
印刷	64
端末情報	64

ファイル管理

ストレージ構成	65
コンテンツマネージャー	66

データ通信

Bluetooth®機能	67
NFC通信	69

外部機器接続

パソコンとの接続	70
プリントサービスによる印刷/保存	70
ホームネットワーク設定	70
USBホスト機能	71
ワイヤレス出力	71
ブルーレイディスクレコーダー連携	71
VPN(仮想プライベートネットワーク)	72

海外利用

海外でご利用になる前に	73
海外で利用するための設定	73
滞在先で電話をかける/受ける	73

付録/索引

トラブルシューティング(FAQ)	74
保証とアフターサービス	76
ソフトウェア更新	77
主な仕様	77
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	78
CAUTION	80
輸出管理規制	80
知的財産権について	80
索引	82

本端末のご利用について




- 本端末はLTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波が届かないところ、屋外でも電波の弱いところ、携帯電話サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音とししか聞き取れません。
- 本端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容(電話帳、カレンダー、メモ帳、音声メモ・簡易留守録など)は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管して下さるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認ください。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- お客様の電話番号(自局番号)は、ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[プロフィール]で確認できます。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声(カメラのシャッター音など)は消音されません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi接続中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます(☞P.77「ソフトウェア更新」)。
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについては☞P.64「端末情報」
- 紛失に備え、画面ロックを設定し端末のセキュリティを確保してください(☞P.59「ロックとセキュリティ」)。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Play™などのGoogleサービスや、SNSなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンなどより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。

- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- テザリングのご利用には、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。
- 市販品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。







安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止 (してはいけないこと)を示す記号です。	 濡れ手禁止 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解禁止 分解してはいけないことを示す記号です。	 指示 指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 水濡れ禁止 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 電源プラグを抜く 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の6項目に分けて説明しています。

- 本端末、ACアダプター、microUSBケーブル、nanoSIMカードの取り扱いについて(共通) P.3
- 本端末の取り扱いについて P.4
- ACアダプター、microUSBケーブルの取り扱いについて P.6
- nanoSIMカードの取り扱いについて P.7
- 医用電気機器近くでの取り扱いについて P.7
- 材質一覧 P.7

本端末、ACアダプター、microUSBケーブル、nanoSIMカードの取り扱いについて(共通)

⚠ 危険



本端末には、必ず指定のACアダプター(別売)・microUSBケーブル(別売)をご使用ください。
指定以外のものを使用した場合は、内蔵電池の漏液、発熱、破裂、発火や、ACアダプター・microUSBケーブルの発熱、発火、故障などの原因となります。
別売品については次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm03/index.html>



高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水/防塵性能については以下をご参照ください。
☞P.10「防水/防塵性能」



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞P.10「防水/防塵性能」



本端末にmicroUSBケーブルをうまく取り付けできないときは、無理に行わないでください。microUSBプラグの向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。
内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させるなどの原因となります。また外部接続端子を破損、焼損させる原因となります。



分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞P.10「防水/防塵性能」





充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞P.10「防水/防塵性能」


⚠ 警告




落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 禁止
充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


 禁止
使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

 指示
所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

 指示
ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。


引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。


ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください(NFC/おサイフケータイロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)。


 指示
使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。


- 電源プラグをコンセントから抜く。
 - 本端末の電源を切る。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


注意


 禁止
破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

 禁止
ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。


 禁止
湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水/防塵性能については以下をご参照ください。
☞ P.10「防水/防塵性能」

 禁止
子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。

 禁止
乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。

 禁止
本端末からmicroUSBケーブルを取り外す際は、コードを引っ張らず、microUSBケーブルのmicroUSBプラグを持って取り外してください。

コードを引っ張るとコードが傷ついたり、端子の破損による火災や感電などの原因となります。


 指示
本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。


アプリ、通話、データ通信、ワンセグや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やACアダプター・microUSBケーブルの温度が高くなる場合があります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。


本端末の取り扱いについて

危険


 禁止
火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

 禁止
釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。


 指示
内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。


内蔵電池内部の物質などの影響により、失明などの原因となります。

 指示
ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。


ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。


警告


 指示
屋外で使用中に雷が降り出したら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。
落雷や感電の原因となります。

 禁止
モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。


 禁止
自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。


 禁止
点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。


 禁止
本端末内のnanoSIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。


また、nanoSIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。


火災、やけど、けが、感電などの原因となります。


 禁止
カメラのレンズに直射日光などを長時間あててください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。


 禁止
自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。


 指示
航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。


 指示
病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。


 指示
ハンズフリーに設定して通話するときや、着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。


 指示
心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

 指示
医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。


 指示
高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意ください電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。


 指示
ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。


 指示
内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。


 指示
ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。


注意


 禁止
ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。


 禁止
モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。


 禁止
ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。


 禁止
不要になった本端末を、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
電池を内蔵していますので、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。適切に処理いたします。


 禁止
内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。


 禁止
ディスプレイの表面には、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保(強化ガラスパネルの飛散防止)を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。
フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

 禁止
着信音が鳴っているときや、本端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

 指示
自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

 指示
本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について「P.74 材質一覧」

 指示
本端末の受話口部、スピーカー部、アウトカメラ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。

 指示
ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。



指示

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。

ACアダプター、microUSBケーブルの取り扱いについて

警告



禁止

microUSBケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプター・microUSBケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプター・microUSBケーブルには触れないでください。
感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

microUSBケーブルのコードの上に重いものをせたり、引っ張るなど無理な力を加えないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプターを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプターに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にACアダプターとmicroUSBケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電中は、布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。また布や布団で覆った状態で、就寝しないようにしてください。
熱がこもって火災、やけど、故障などの原因となります。



禁止

microUSBケーブルをACアダプターに差し込むときや、ACアダプターにmicroUSBケーブルを接続した状態で、接続部に異物や液体などを入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末・ACアダプター・microUSBケーブルが濡れている状態では、プラグを絶対に接続しないでください。本端末は防水性能を有しておりますが、濡れた状態でプラグを挿入すると、本端末やプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でACアダプター・microUSBケーブルのプラグや端子に触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプターで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
指定のACアダプター(別売): AC100V~240V(家庭用ACコンセント専用)



指示

プラグにほこりがついたときは、ACアダプターを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

ACアダプターをコンセントから抜く場合は、microUSBケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプターを持って抜いてください。
microUSBケーブルを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にmicroUSBケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、ACアダプターを持って電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が入った場合は、直ちにACアダプターを持って、コンセントからプラグを抜いてください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、必ずACアダプターを持ってプラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



禁止

コンセントにつないだ状態で本端末やACアダプター・microUSBケーブルに長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。



禁止

ACアダプターをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。



指示

ACアダプターをテーブルタップに接続しているときは、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。
火災や故障の原因となります。

⚠️ 注意



指示

nanoSIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」(電波環境協議会[平成26年8月])および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」(総務省)の内容を参考にしたものです。

⚠️ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

端末

使用箇所	材質/表面処理
ディスプレイ面(ガラス部)	強化ガラス/表面飛散防止シート付き
ディスプレイ面の周囲	PA樹脂/表面UV塗装
上面	PC+ABS樹脂/表面UV塗装
底面	PC樹脂/表面UV塗装
側面	PC+ABS樹脂/表面UV塗装
背面	PMMA+PC樹脂/表面ハードコート
背面の周囲	PA樹脂/表面UV塗装
nanoSIMカードスロット	SUS
microSDカードスロット	SUS/ニッケルメッキ
nanoSIMカード/microSDカードスロットカバー	PC樹脂/表面UV塗装
nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーのパッキン	EPDM
microSDカードの挿入位置を示すシール	PET樹脂/表面印刷
nanoSIMカード取り付け用のトレイ	POM樹脂
IMEIプレート	PET樹脂
電源キー	アルミニウム/アルマイト処理
サイドキー	アルミニウム/アルマイト処理
カメラパネル	PMMA+PC樹脂/表面ハードコート
カメラ飾り	アルミニウム/アルマイト処理
外部接続端子(金属部)	SUS+銅合金/錫メッキ、金メッキ
外部接続端子(樹脂部)	PA樹脂
ストラップピン	SUS

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SH-M03は防水/防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物を入れたり、付着させたりしないでください。
- ACアダプター、microUSBケーブル、nanoSIMカードは防水/防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できませんので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
 - ・ スポンサースカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地や衣服のときはご注意ください。
 - ・ かばんなどに入れるときは、重たいものの下にならないように十分ご注意ください。
- 本端末のディスプレイを堅いもので擦ったり、傷つけないようご注意ください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

本端末についてのごお願い

- タッチパネルの表面を強く押ししたり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報は、外部メモリーカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどで保管してください。万が一登録された情報が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差ししたり、差し込んだ状態で引っ張ったりしないでください。故障、破損の原因となります。
- 端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。誤動作したり、破損することがあります。

- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はnanoSIMカード/microSDカードスロットカバーを閉じた状態でご使用ください。水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。事故の原因となります。
- 本端末を手を持って使用するときは、送話口/マイク、受話口、スピーカーを塞がないようご注意ください。
- 内蔵電池は消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。内蔵電池を交換してください。なお、内蔵電池は、お客様自身では交換できません。内蔵電池の交換については、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の保管をしないようご注意ください。
 - フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
 - 電池残量が少ない状態(本端末の電源が入らないほど消費している状態)での保管保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

- 本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りやすくなっておりますので、ご注意ください。

ACアダプター、microUSBケーブルについてのごお願い

- 充電には別売のACアダプター、microUSBケーブルをご使用ください。別売品については次のサイトをご覧ください。<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm03/index.html>
- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、ACアダプターやmicroUSBケーブルが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、プラグを変形させないでください。故障の原因となります。

nanoSIMカードについてお願い

- nanoSIMカードの取り付け/取り外しには、必要以上に力を加えないでください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- お客様ご自身で、nanoSIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- nanoSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- nanoSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- nanoSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[端末情報]▶[認証]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH:変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 1:想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ XX:変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑥ ■■■■■:2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth機器使用上の注意事項

- 本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
 3. その他、ご不明な点につきましては、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてお願い

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信がでなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
 - ・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、ホーム画面にアプリシートを表示▶[設定]▶[端末情報]▶[認証]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ ■■■■■:2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。本端末の無線LANで設定できるチャネルは1~13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントは接続できませんので、ご注意ください。
利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

- WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するがご利用を中断していただいた上で、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
 3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合はどうかお困りのことが起きたときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 5GHz機器使用上の注意事項
5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)の3種類の帯域を利用することができます。
 - ・ W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)
 - ・ W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)

- W56 (5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)
- 5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN (W52/W53)の屋外利用は電波法で禁止されています。

電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [端末情報] ▶ [認証]

FeliCaおよびNFCリーダー/ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー/ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー/ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国/地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マーク」が本端末の電子銘板に表示されており、電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [端末情報] ▶ [認証] 本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー/ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用される場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

内蔵電池の交換について

内蔵電池は消耗品です。放電電を繰り返すうちに劣化し、使用時間が極端に短くなります。

内蔵電池の劣化は、使用状況や動作環境によって異なりますが、満充電にしても極端に使用時間が短くなったときは、新しい内蔵電池と交換する必要があります。

本端末の内蔵電池はお客様自身では交換できませんので、「保証書に記載のお問い合わせ先」へご連絡いただき、内蔵電池の交換を依頼してください(有償)。

リサイクルについて

本端末に使用していますリチウムイオン電池はリサイクル可能な有益な資源です。リサイクルにご協力をお願いします。リサイクルについては「保証書に記載のお問い合わせ先」まで、ご相談ください。



Li-ion00

■本製品を廃棄するときは

- 各自治体の廃棄ルールに従っていただきますようお願いいたします。自治体によって規則が異なりますので、お客様がお住まいの各自治体にご確認ください。
- プレイパシー保護のため、事前にオールリセットを行って、システムメモリ内のすべてのデータを消去してください(☞P.63「オールリセット」)。

防水/防塵性能

SH-M03は、nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーをしっかりと閉じた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところにSH-M03を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れてかかはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SH-M03が有する防水/防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます(1時間の雨量が20mm程度)。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流(6リットル/分以下、常温(5℃~35℃)の水道水)で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください(☞P.11「水に濡れたときの水抜きについて」)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

ご利用にあたって

防水/防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。

- 防水/防塵性能を維持するため、nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーはしっかりと閉じる構造となっております。無理に開けようとするとか爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーの開閉についてはP.14「取り付けかた」

● 防水/防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。部品の交換については「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。

- 送話口、受話口、スピーカー、マイク、外部接続端子、イヤホンマイク端子などを尖ったものでつつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態でイヤホンマイクを挿さないでください。故障の原因となります。



せっけん/
洗剤/入浴剤

海水

プール



温泉

砂/泥

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴や異物がついているときには、nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーの開閉はしないでください。
- nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など)が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。
- nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーと本体の接触面のゴムパッキンは防水/防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- 水中で端末を使用(キー操作を含む)しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流(6リットル/分を超える)を直接当てないでください。SH-M03はIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温(5℃~35℃)の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂/泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水/防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口、受話口、スピーカー、マイク、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。

● 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

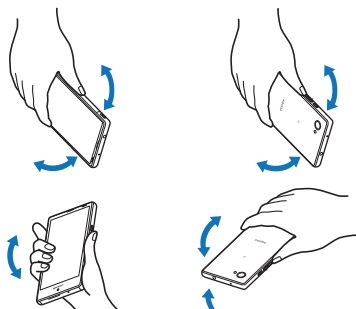
1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

- ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。



2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

- 周囲の安全を確認して、本端末を落とさないようにしっかりと握って振ってください。

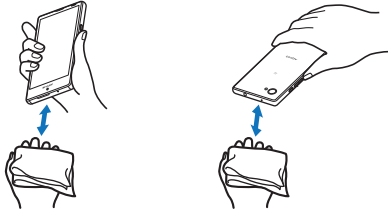


スピーカーの水抜きのためにスピーカーを下にして振る

受話口の水抜きのために受話口を下にして振る

3 送話口、受話口、スピーカー、マイク、キー、外部接続端子、イヤホンマイク端子、ストラップ取り付け口などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、しばらく自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらくなりますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

別売のACアダプターやmicroUSBケーブルは防水/防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、しばらく自然乾燥させてから、nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーを開いてください。

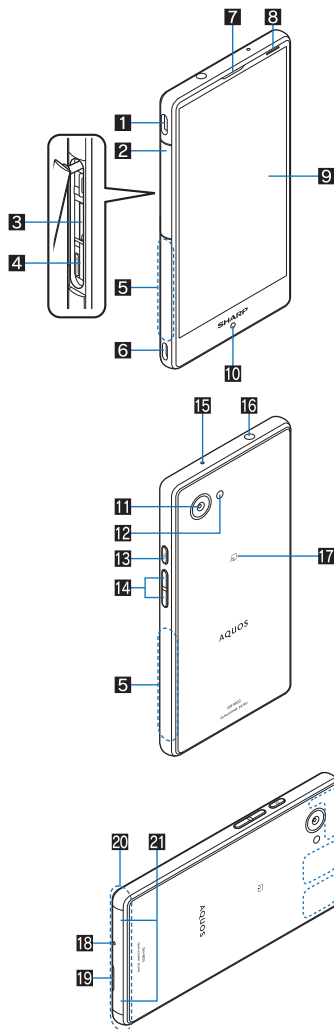
警告

端末に水滴や異物が付着している状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水/防塵性能を有しておりますが、濡れたり汚れたりしている状態でmicroUSBプラグを挿入すると、端末やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプター（別売）やmicroUSBケーブル（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターやmicroUSBケーブルは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



- 1 外部接続端子
- 2 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバー
- 3 nanoSIMカードスロット
 - nanoSIMカードを取り付けるためのトレイが収納されています。
- 4 microSDカードスロット
- 5 グリップセンサー
- 6 ストラップ取り付け口
- 7 受話口
- 8 近接センサー／明るさセンサー※1
 - 近接センサーは、通話中に顔の接近を感知して、タッチパネルの誤動作を防ぎます。
 - 明るさセンサーは、周りの明るさを検知して、バックライトの明るさを調整します。

- 9 ディスプレイ／タッチパネル※2
- 10 インカメラ
- 11 アウトカメラ
- 12 モバイルライト
- 13 (Ⓧ)：電源キー
 - 電源を入れる／切るときなどに利用します。
 - ディスプレイの表示／非表示を切り替えます。
- 14 [(+) / (-)：音量UP / DOWNキー
 - 各種機能で音量を調節します。
- 15 マイク
 - 動画撮影時に利用します。
- 16 イヤホンマイク端子
- 17 〻マーク
 - I Cカードが搭載されています(取り外しはできません)。
- 18 送話口／マイク
 - 動画撮影時やエモバーにお話する際はマイクとして利用します。
- 19 スピーカー
 - 着信音や音楽などがここから聞こえます。
 - ハンズフリー通話中は相手の声がここから聞こえます。
- 20 内蔵アンテナ※3
- 21 着信／充電ランプ
- 22 ワンセグアンテナ※3
- 23 Wi-Fi / Bluetooth / GPSアンテナ※3

- ※1 センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。センサーが正常に動作しないことがあります。
- ※2 対応する市販のフリップカバーを装着すると、フリップカバーの開閉によってディスプレイの表示／非表示を切り替えることができます。装着したフリップカバーは、斜めに閉じるとディスプレイの表示が消えないことがあります。
- ※3 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響をおよぼす場合があります。

モバイルライトについて

- モバイルライトを点灯後に長時間使用したり、端末の温度が高くなった場合、モバイルライトが自動的に消灯することがあります。また、端末の温度が高い状態では、モバイルライトが利用できないことがあります。

マイクについて

- マイクを利用する機能を使用する場合は、マイクの穴を塞がないようにしてください。

イヤホンマイクについて

- イヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

nanoSIMカード

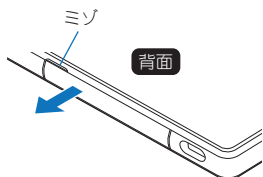
nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているI Cカードです。

- 日本国内では、通話可能なnanoSIMカードを取り付けないと緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号があります(※P.6「PINコード」)。
- nanoSIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。

■取り付けかた

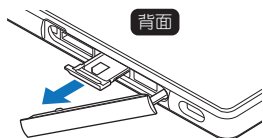
1 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを開く

- ミゾに指先をかけて、開いてください。

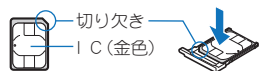


2 nanoSIMカードスロットからトレイを取り外す

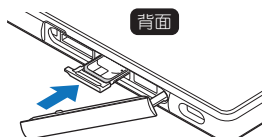
- トレイに指先をかけて、ゆっくりとまっすぐに取り外してください。
- トレイは、nanoSIMカードの取り付けに必要です。紛失しないようにご注意ください。



3 nanoSIMカードのIC(金色)面を上に向けて、トレイにセットする



4 トレイをnanoSIMカードスロットにゆっくりと挿入する

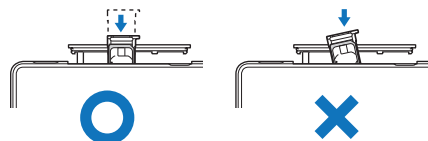


- nanoSIMカードスロットは、microSDカードスロットの右にあります。トレイを取り付ける場合、誤ってmicroSDカードスロットに挿入しないようにご注意ください。

nanoSIMカードスロット(右側)

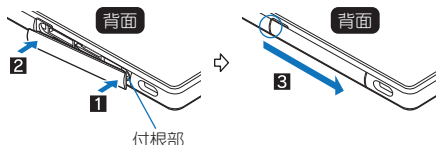


- トレイが傾いた状態や、表裏が逆の状態無理に押し込まないでください。nanoSIMカードスロットやトレイが破損することがあります。



5 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じる

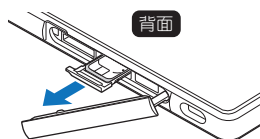
- nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーの付根部を取納し(1)、端末とカバーにすき間が生じないように合わせ、矢印の方向に押しつけて閉じてください(2)。閉じる際は、○部分から付根部の方向へなぞるようにしっかりと押してください(3)。



■取り外しかた

1 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを開く

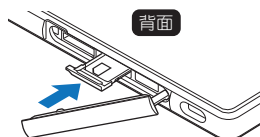
2 nanoSIMカードスロットからトレイを取り外す



3 トレイからnanoSIMカードを取り外す



4 トレイをnanoSIMカードスロットにゆっくりと挿入する



5 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じる

- nanoSIMカードやトレイを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- nanoSIMカードを取り扱うときは、IC(金色)に触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとnanoSIMカードが破損したり、トレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカードの詳細な取り扱いについては、nanoSIMカードの取扱説明書を参照してください。
- 取り外したnanoSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

IMEIプレートについて

- nanoSIMカードスロットの付近にはIMEI番号(端末識別番号)が記載されたプレートが収納されています。「保証書に記載のお問い合わせ先」にお問い合わせいただく際に、IMEI番号が必要となりますので、引き出さないでください。
- IMEIプレートを無理に引き出したり、力を加えたりすると、破損する恐れがありますのでご注意ください。

- IMEIプレートを引き出してしまった場合は、IMEIプレートが奥に入り込みすぎないように、ゆっくりと戻してください。

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

■ 充電時のご注意

- 充電時間の目安についてはP.77「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できません(充電中は電池マークに[🔋]が重なって表示されます)。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると内蔵電池の充電量が減少します。このような場合、ACアダプター(別売)は再び充電を行います。ただし、ACアダプターから端末を取り外す時期により、内蔵電池の充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから(電池残量が減ってからなど)充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

■ 十分に充電したときの利用可能時間(目安)

連続通話時間	3G 約870分 GSM 約720分 VoLTE(音声通話) 約1150分
連続待受時間	3G 静止時:約510時間 GSM 静止時:約400時間 LTE 静止時:約460時間
ワンセグ視聴時間	約510分

- 利用可能時間について詳しくはP.77「主な仕様」

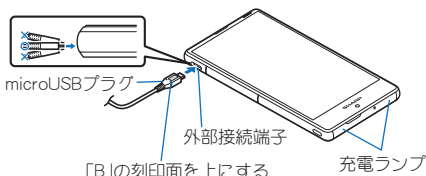
ACアダプターで充電

[必ず利用するACアダプターの取扱説明書を参照してください]

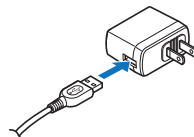
- 次の操作はACアダプター SH-AC03(別売)を使用して説明しています。
- 別売のACアダプターについてはP.8「ACアダプター、microUSBケーブルについてのお願ひ」

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを、「B」の刻印面を上にして端末の外部接続端子に水平に差し込む

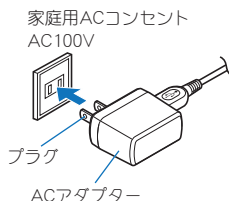
- microUSBプラグの向き(表裏)をよく確かめ、水平に差し込んでください。



2 microUSBケーブルのUSBプラグをACアダプターのUSB接続端子に水平に差し込む



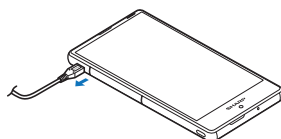
3 ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込むと、充電ランプが点灯して、充電が開始する



4 充電が完了すると、充電ランプが消灯する

5 ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、microUSBケーブルのUSBプラグをACアダプターのUSB接続端子から水平に抜く

6 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを外部接続端子から水平に抜く



- 無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子やmicroUSBプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

microUSBケーブルで充電

端末とパソコンをmicroUSBケーブル(別売)で接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンとの接続方法についてはP.70「パソコンとの接続」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 ①(⓪) (2秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください(P.21「初期設定」)。

■ 電源を切る

1 ①(⓪) (1秒以上) ▶ [電源を切る]

■ 強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に端末の電源を切ることができます。

1 ①(⓪) (8秒以上)

- バイブレータが動作したあとに手を離すと、電源が切れます。

■ ディスプレイの表示／非表示

①(⓪)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。

ディスプレイが消えているときに①(⓪)を押すと、ディスプレイが表示されます。

■ タッチパネルのロック

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチパネルがロックされています。

[⓪]を上をスライドすると、ロックが解除されます。



タッチパネルのロック画面の操作

- マナーモード設定／解除: ①(←) (2秒以上)
- ショートカットの起動・設定: [⓪]を上をスライド
- SHカメラの起動: [⓪]を上をスライド
- 通知詳細情報の表示: 時計を下にドラッグ
- ステータスパネルの表示: ステータスバーを下にドラッグ

- タッチパネルのロック画面には通知が表示されます。[端末がロックされているとき]で通知の表示について設定できます(P.53「音と通知」)。
- [エモパー設定]をONしている場合、時計の下にエモパーが伝えられるさまざまな情報が表示されます。情報によっては2回タッチすると、関連情報や詳細を確認できます。また、[エモパーメモ]がONのときは、タッチパネルのロック画面でエモパーメモが利用できます。
 - ・ エモパーについてはP.56「エモパー」

基本操作

タッチパネルやナビゲーションキーの操作、スクリーンショットの撮影など、端末の基本的な操作について説明します。

タッチパネルの操作

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先が尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作*
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

※ [グローブモード]がONの場合、手袋を装着したまま使用できます(P.54「壁紙とディスプレイ」)。

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままするとメニューが表示されることがあります。

■ スライド(スワイプ)／ドラッグ

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。

また、メニューや項目に間違っ触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。



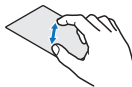
■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。



■ ピンチアウト／ピンチイン

利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる(ピンチアウト)／狭める(ピンチイン)ように指を動かすと、画面の拡大／縮小などができます。



機能利用中の操作

■ ナビゲーションキー

画面下部に表示されるナビゲーションキーを使って基本的な操作を行うことができます。



1 [◀] / [▶]: 戻るキー／閉じるキー

- 1つ前の画面に戻します。
- キーボードを閉じます。

2 [○]: ホームキー

- ホーム画面を表示します。

3 [⌂]: アプリ使用履歴キー

- アプリ使用履歴を表示します(※P.29「アプリ使用履歴」)。

■ アシスト機能の利用

アシスト機能に対応したアプリをすばやく起動することができます。

1 [○] をロングタッチ

- 起動するアプリの設定: ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アプリ] ▶ [☰] ▶ [既定のアプリ] ▶ [アシストと音声入力] ▶ [アシストアプリ] ▶ アプリを選ぶ

■ メニューを呼び出す

[:] / [⋮] / [☰]などのタッチや画面の左端を右にスライド、画面のロングタッチを行うと、その画面で利用できる機能(メニュー)が表示されます。

例: 世界時計画面



メニュー

■ 設定の切替

設定項目の横にチェックボックスなどが表示されているときは、タッチすることで設定の有効／無効やON／OFFを切り替えることができます。

例: モーションでON/OFF画面、日付と時刻画面

- [☑]は有効、[☐]は無効の状態です。



- [●]はON、[○]はOFFの状態です。



■ 縦／横表示

端末を傾けたときに画面の表示が切り替わります。

- 表示中の画面によっては、端末の向きを変えても、縦／横表示が切り替わらない場合があります。
- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、縦横が正しく表示されない場合があります。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます(※P.18「グリッドマジック」、P.54「壁紙とディスプレイ」)。
- 縦表示から横表示にした場合、アプリによっては全画面表示されることがあります。

スクリーンショットの撮影

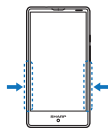
[⌘] + [⇐]を1秒以上押し、表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、アルバムなどで確認することができます。
- Clip Nowを利用してもスクリーンショットを撮影することができます(※P.57「Clip Now」)。

- ワンセグやホームネットワーク、電子書籍の表示中などは保存できません。
- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

グリップマジック

端末を持つことでグリップセンサーの機能を利用して、ディスプレイを表示させることができます。



1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [便利機能] ▶ [グリップマジック]

2 ONにする

3 項目を選ぶ

- **持つと画面点灯**: ディスプレイの表示が消えている場合に端末を持つとディスプレイを表示させるか設定します。
- **画面回転抑制**: 端末を持っている間は画面が縦表示から切り替わらないようにするか設定します。
- **パイプでお知らせ**: お知らせアイコンの通知があり、ディスプレイの表示が消えている場合に端末を持つと、パイプでお知らせするか設定します。また、お知らせする回数や対象とするアプリを設定できます。
- **カバー装着設定**: カバーの装着有無について設定します。
- **体験しよう!**: 「体験しよう!」で機能を体験したり、使いかたを動画で確認することができます。

- グリップセンサー (P.13「各部の名称と機能」)は左右両方に触れることで反応します。片方だけ触れてもセンサーは反応しませんが、左右両方に触れるように端末を握ってご利用ください。また、手を離すときは左右両方のセンサーから離してください。片方だけ触れていてもセンサーは反応したままとりまします。

[持つと画面点灯]について

- 手や物などによって近接センサーが覆われた場合、ディスプレイは表示されますが誤動作防止のためタッチ操作はできません。また、端末の設定にかかわらずディスプレイの表示が消える場合があります。
- **(Ⓚ)**を押してディスプレイの表示を消した直後は、端末を持っててもディスプレイが表示されない場合があります。

[画面回転抑制]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

[パイプでお知らせ]について

- お知らせアイコンを消去した場合や、ステータスパネルを開いた場合はパイプは動作しません。

[カバー装着設定]について

- [カバーあり]に設定する場合は、あらかじめカバーを装着しておいてください。

グリップマジック利用時のご注意

- 次の場合はグリップマジックが正しく動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままの操作
 - 端末にカバーなどを装着したままの操作※
 - 端末が濡れたままの操作
 - 金属製のものがセンサーに触れたままの操作

※ カバーによっては、装着したまま使用できるものもあります。カバーを装着したあとに、カバー装着設定を[カバーあり]に設定してください。

端末内やサイトの情報の検索

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ 「Google」フォルダを選ぶ ▶ [Google]

- Google Now™の確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- クイック検索ボックスが表示されます。

2 キーワードを入力



1 検索ボックス

- 検索するキーワードを入力します。
- キーワードを入力すると、入力した文字から始まるアプリやデータなどを検索し、一覧表示します。

2 音声検索切替

- マイクに向かって「Ok Google」と発声しても音声検索に切り替わります。
 - ・ 検索ボックスに「検索がOk Googleと発声」が表示されている場合などに操作できます。

3 検索結果を選ぶ

- 検索結果がアプリの場合は対応するアプリが起動します。
- [画像]などが表示された場合は、ジャンルを選択して検索することができます。
- 検索結果にキーボードが重なって表示される場合は、**(☑)**をタッチしてキーボードを閉じてください。

- 検索結果画面などで**(☰)**が表示されているときに、**(☰)**をタッチすると検索の設定ができます。

文字入力

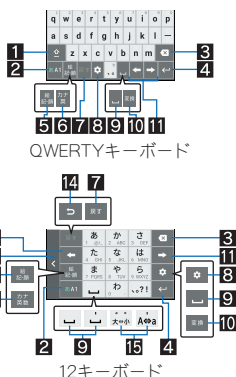
QWERTYキーボードと12キーボードを利用して文字入力をしたり、音声や区点コードで入力したりできます。

- 文字入力時に画面下部の[]をタッチすると、使用する入力ソフトを設定することができます。ここでは、[S-Shoin]の場合で説明しています。

キーボードの見かた

- 次の2種類のキーボードを利用できます。

QWERTYキーボード*	文字入力キーをタッチすると表示されている文字を入力できます。ローマ字で文字を入力します。
12キーボード*	1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーを上下左右にフリックして、文字を入力します。 <ul style="list-style-type: none">●入力したい文字が表示されるまで文字入力キーをタッチして、文字を入力することもできます。



※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 シフトキー

- 大文字／小文字を切り替えるときなどにタッチします。
 - ・ [] が表示されているときは小文字が入力されます。 [] が表示されているときは最初に入力する文字が大文字になります。 [] が表示されているときは大文字が入力されます。
 - ・大文字／小文字を切り替えると、キーボードで入力できる記号も変わります。

2 入力モード切替キー

- 入力モードを変更します。
 - ・タッチすると、半角英字→半角数字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。右にスライドすると、半角英字→半角英字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。
 - ・上にスライドすると、ひらがな漢字／半角英字／半角数字以外の入力モードを選択することもできます。
 - ・各入力モードで設定したキーボードが表示されます。

3 削除キー

- 文字削除キー動作で設定した方向の文字を消します。

4 エンターキー

- 改行します。
- 入力した文字を確認します。
- 検索ボックスなどの入力欄に入力した内容を実行します。
- 次の入力欄に移動します。
- ロングタッチすると、キーボードを閉じます。

5 記号キー

- 絵文字／記号／顔文字リストを表示します。
 - ・アプリによっては、入力できないものがあります。
- 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

6 カナ英キー

- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英字や記号の変換候補(カナ英字変換候補)を表示します。
- 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

7 戻すキー

- 直前に行った操作を取り消します。

8 設定キー

- 設定メニューを表示します。

9 スペースキー

- スペースを入力します。

10 変換キー

- 入力した文字を変換します。

11 カーソルキー

- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

12 配置移動

- [<] / [>] をタッチするとキーボードや変換候補欄などを左右に移動します。

13 カナ英数キー

- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英数字や記号の変換候補(カナ英数変換候補)を表示します。
- 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

14 逆トグルキー

- 同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。

15 文字切替キー

- 大文字／小文字を切り替えるときにタッチします。
- 濁点／半濁点を付けるときにタッチします。

■ キーボードの切替

例: ひらがな漢字入力モードで縦表示のとき

1 文字入力画面で[] ▶ [入力方式] ▶ [QWERTYキーボード] / [12キーボード]

- ・ [] を上にスライドしても切り替えることができます。

文字入力の設定

■ 表示・レイアウト

1 文字入力画面で[] ▶ [表示・レイアウト]

2 項目を選ぶ

- **キーボード調整**: キーボードのサイズや変換候補欄の行数、幅寄せ、ガイド表示、デザインについて設定します。
- **絵文字・記号リスト列数**: 絵文字・記号リストの列数を設定します。
- **キー入力ガイド表示**: 選択したキーの拡大表示やフリック入力のガイドを表示するが設定します。
- **ソフトキーボード表示**: Bluetooth機能などで市販のキーボードを接続して文字入力するときに文字入力画面を表示するか設定します。

■フリック設定・入力補助

1 文字入力画面で[✪] ▶ [フリック設定・入力補助]

2 項目を選ぶ

- **フリック感度**:フリック入力をするときの文字選択の感度を設定します。
- **ガイドの表示速度**:フリック入力時のガイドの表示速度を設定します。
- **トグル入力**:トグル入力を利用するか設定します。
- **キー操作音**:文字入力時の操作音の有無を設定します。
- **キー操作パイプ**:文字入力時にパイプレータを動作させるか設定します。
- **キー操作パイプ時間**:キー操作パイプでパイプレータが動作する時間を設定します。
- **文字削除キー動作**:削除キーの動作を設定します。
- **ローマ字キーボード補助**:ローマ字で日本語入力するとき不要なキーをタッチできないように設定します。
- **自動カーソル移動**:文字入力後にカーソルを自動的に右側に移動させる速度を設定します。
- **絵・記・顔の連続入力**:絵文字・記号・顔文字リストで候補選択後にリスト表示を維持するか設定します。

[文字削除キー動作]について

- 文字にカーソルが当たっている場合はカーソル位置の文字を削除します。[左側削除(バックスペース)]に設定したときカーソルが先頭にある場合はカーソル右側の文字を、[右側削除(クリア)]に設定したときカーソルが文末にある場合はカーソル左側の文字を消します。

■変換機能

1 文字入力画面で[✪] ▶ [その他の設定] ▶ [変換機能]

2 項目を選ぶ

- **予測変換**:予測変換を利用するか設定します。
- **つながり予測**:入力確定直後につながり予測候補を表示します。
- **ワイルドカード予測**:ワイルドカード予測を利用するか設定します。
- **入力ミス補正**:入力ミス補正について設定します。
- **メールいきなり予測**:メールの本文入力時に文頭に使用する文章の候補を表示します。
- **ネット変換エンジン**:インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。
- **自動大文字変換**:半角英字入力で文頭文字を大文字で入力します。
- **自動スペース入力**:半角英字入力で英単語を選択したあと半角スペースを自動的に挿入します。

[自動大文字変換]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

■辞書

1 文字入力画面で[✪] ▶ [その他の設定] ▶ [辞書]

2 項目を選ぶ

- **ユーザー辞書**:ユーザー辞書の単語を編集します。
- **ダウンロード辞書**:ダウンロード辞書の登録/解除/削除をします。
- **変換辞書の更新**:変換辞書の更新やダウンロードをします。
- **電話帳名前データと連携**:電話帳の名前データを辞書に追加/初期化します。

■スライド切替

1 文字入力画面で[✪] ▶ [その他の設定] ▶ [スライド切替]

2 項目を選ぶ

- **上方向スライド**:キーボードを下端から上端までスライドしたときの動作を設定します。
- **下方向スライド**:キーボードを上端から下端までスライドしたときの動作を設定します。
- **右方向スライド**:キーボードを左端から右端までスライドしたときの動作を設定します。
- **左方向スライド**:キーボードを右端から左端までスライドしたときの動作を設定します。

■各種リセット

1 文字入力画面で[✪] ▶ [その他の設定] ▶ [各種リセット]

2 項目を選ぶ

- **設定リセット**:S-Shoinの設定をリセットします。
- **学習辞書リセット**:学習辞書をリセットします。
- **顔文字リセット**:顔文字リストの内容をリセットします。

文字入力のしかた

例:「文字」と入力するとき

1 文字入力画面で「もじ」と入力



1 拡大/縮小

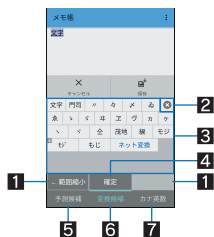
- 変換候補欄を拡大/縮小します。

2 変換候補欄

- [予測変換]を有効にしていると表示されます。
- 変換候補をタッチすると入力できます。
- ネット変換エンジンを設定している場合は[ネット変換]が表示されます。タッチするとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

2 [変換]

3 変換候補欄で「文字」を選ぶ



1 範囲縮小/範囲拡大

- 変換する文字の区切りを縮小/拡大することができます。
- 操作可能な場合のみ表示されます。

2 閉じる

- 変換候補欄を閉じます。

3 変換候補欄

- 変換候補をタッチすると入力できます。
- ネット変換エンジンを設定している場合は[ネット変換]が表示されます。タッチするとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

4 確定

- 変換を確定します。

5 予測候補

- 予測候補を表示します。

6 変換候補

- 変換候補を表示します。

7 カナ英数

- カナ英数変換候補を表示します。

■ ワイルドカード予測

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ[ワイルドカード予測]を有効にしておいてください(☞P.20「変換機能」)。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのときに利用できます。

例:「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2 [➡] ▶ [➡] ▶ [➡]

- [➡]をタッチするたびに[*]が入力され、文字数に合わせた予測候補が表示されます。

3 変換候補欄で「アナウンス」を選ぶ

■ 区点コードで入力

文字ひとつひとつに付与されている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

1 文字入力画面で入力モード切替キーを上スライド ▶ [区点コード]

2 区点コードを入力

- 4桁目を入力すると、コード入力した文字が表示されます。
- 4桁目を入力すると区点コード入力モードにする前の入力モードに戻ります。

■ 音声で入力

音声で文字を入力することができます。

1 文字入力画面で[🗨] ▶ [入力方式] ▶ [音声入力]

- QWERTYキーボードで[🗨]を右にスライド、12キーボードで[🗨]を下にスライドしても音声入りに切り替えることができます。

2 マイクに向かって話す

- 次の場合は正しく認識できないことがあります。
 - 声が大きすぎる場合
 - 周囲の雑音が大い場合
 - 発音が明瞭でない場合
 - 発音が不自然な場合
 - 発声速度が速すぎる場合
 - キーを押したり、マイクを触ったりした場合

■ 文字の編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 入力した文字をロングタッチ

2 文字を編集する

- [○] / [○] をドラッグして選択範囲を指定し、文字の切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。[すべて選択]をタッチすると、入力した文字をすべて選択できます。
- [履歴から]をタッチすると、切り取りやコピーを行った文字の履歴が表示されます。文字を選択して貼り付けることができます。
- 切り取りやコピーを行った文字の一覧を表示: [🗨] ▶ [アプリ連携・引用(マッシュルーム)] ▶ [コピー履歴SH]
- [共有]をタッチすると、選択した文字を他のアプリで利用できます。
- 表示されていないメニューがある場合、[:]が表示されます。タッチするとメニューが表示されます。

- 切り取った文字、コピーした文字は合わせて10件まで保存されます。
- 切り取った文字、コピーした文字が最大保存件数を超えた場合は、古い履歴から順に削除されます。
- 利用するアプリによっては、表示されるアイコンや操作方法が異なる場合があります。

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 設定項目は次のとおりです。ただし、設定した内容により表示される項目が異なります。
 - 言語の設定
 - Wi-Fiの設定(☞P.22「Wi-Fiの設定」)
 - 別の端末からGoogleアカウントなどをコピー(タップ&ゴー)
 - Googleアカウントの設定(☞P.23「Googleなどのアカウントの設定」)
 - 本端末の所有者名
 - Googleサービス
 - お支払い情報の設定
 - Googleアカウント以外のメールアドレスの追加
 - スマートフォンの保護
 - アプリとデータを取得
 - Google Nowの設定

アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイントを設定します。

■ 利用中のアクセスポイントを確認

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]

■ アクセスポイントを追加で設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名] ▶ [⊕]

2 [名前] ▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶ [OK]

3 [APN] ▶ アクセスポイント名を入力 ▶ [OK]

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力 ▶ [⋮] ▶ [保存]

アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]

2 [⋮] ▶ [初期設定にリセット]

● 圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

Wi-Fiの設定

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

● 無線LAN (IEEE802.11b/g/n) とBluetooth機器は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。

- [Wi-Fi] をONにしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にパケット通信での接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]

2 ONにする

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]を選択してください。
- アクセスポイントを手動で登録:[⋮] ▶ [ネットワークを追加] ▶ ネットワーク名を入力 ▶ セキュリティを設定 ▶ [保存]
- WPSに対応しているアクセスポイントは簡単登録ができます。ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi] ▶ [⋮] ▶ [簡単設定] ▶ [WPSボタン] / [WPS PIN入力] でアクセスポイントを登録してください。

- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード(セキュリティキー)を入力した場合、[IP設定エラー]、[Wi-Fi接続エラー]、[認証に問題]または[接続(制限)]と表示されます。パスワード(セキュリティキー)をご確認ください。なお、正しいパスワード(セキュリティキー)を入力しても[IP設定エラー]または[接続(制限)]と表示される場合は、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- WPS簡単登録の登録処理には、数分かかります。アクセスポイントの登録処理後、アクセスポイントに適切に接続されていることをご確認ください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定としてWEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x/EAPに対応しています。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、[⊗]が表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。このようなアクセスポイントでWi-Fi通信を行うには、アクセスポイントに接続するときに詳細設定項目の[インターネット非接続時も有効]を有効にしてください。

■ 詳細設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]

2 [⋮] ▶ [詳細設定]

3 項目を選ぶ

- **ネットワークの通知**: オープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
 - ・ [Wi-Fi] をONにしてから設定してください。
- **Wi-Fiのスリープ設定**: ディスプレイの表示が消えたときにWi-Fiを切断するか設定します。
- **Wi-Fi周波数帯域**: 使用する周波数帯を設定します。
- **ハンドオーバー**: 場所を移動しながら端末を利用している場合に、利用するアクセスポイントを自動的に切り替えるか設定します。
- **証明書**: インストール: 証明書をインストールします。
- **Wi-Fi Direct**: Wi-Fi Directについて設定します。
- **MACアドレス**: MACアドレスを確認できます。
- **IPアドレス**: IPアドレスを確認できます。

[ハンドオーバー]について

- Wi-Fi周波数帯域が[5 GHzのみ]か[2.4 GHzのみ]のときに利用できます。

■ 切断

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]

2 接続しているアクセスポイントを選ぶ ▶ [切断]

- パスワードを保持したまま切断します。ディスプレイを表示させた場合など、自動で再接続する場合があります。

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器やmicroUSBケーブル(別売)またはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、microUSBケーブルで接続したパソコン 1台、Wi-Fi対応機器 10台、Bluetooth機器 5台の計 16台です。
- 本端末は、DUNプロファイルを使ったダイヤルアップ接続に対応してあります。
- Bluetoothテザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください(※P.68「Bluetooth機能の利用」)。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る] ▶ [テザリング]

2 項目を選ぶ

- **USBテザリング**: USBテザリングを利用するか設定します。
- **Wi-Fiテザリング**: Wi-Fiテザリングを利用するか設定します。
- **Wi-Fiテザリングを設定**: ネットワーク名やセキュリティなどWi-Fiテザリングについて設定します。
- **Wi-Fiテザリング簡単接続**: WPSに対応しているアクセスポイントを利用してテザリングを利用するか設定します。
- **Bluetoothテザリング**: Bluetoothテザリングを利用するか設定します。

[USBテザリング]について

- テザリング機能は、パソコンのOSがWindows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、Linuxの場合にご利用いただけます。
- USBテザリング中は、本端末に取り付けられたmicroSDカードをパソコンでマウントすることはできません。
- USBテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#usb>

[Wi-Fiテザリング]について

- 本端末がアクセスポイントとして機能している場合、本端末はWi-Fi接続でインターネットにアクセスすることはできません。
- Wi-Fiアクセスポイントの設定は[Wifiテザリングを設定]で行ってください。
- Wi-Fiテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#wifi>

[Wi-Fiテザリングを設定]について

- お買い上げ時は、ネットワーク名は[SH-M03_AP]、セキュリティは[WPA2_PSK]、パスワードはランダムな値が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

メールのアカウントの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メール]

- アカウントが設定されていない場合のみ、アカウント設定画面が表示されます。

2 メールアドレスを入力 ▶ [▶]

3 パスワードを入力 ▶ [▶]

- いくつかのメールアカウントについてプロバイダ情報がプリセットされており、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定が自動で行われます。
- プロバイダ情報がプリセットされていないアカウントの場合は、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定を手動で行う必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

4 アカウントを設定する ▶ [▶]

5 アカウントの名前、あなたの名前を入力 ▶ [▶]

Googleなどのアカウントの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アカウント] ▶ [アカウントを追加]

2 アカウントの種類を選ぶ

3 アカウントを設定する

- ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アカウント] で表示されるメニューに、追加したアカウントが表示されます。

- アカウントが必要となるアプリを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

■ アカウントの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アカウント]

2 アカウントを選ぶ ▶ [⋮] ▶ [アカウントを削除] ▶ [アカウントを削除]

- アカウントにより操作方法が異なります。

■ Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [Chrome]

2 URL入力欄に「<https://www.google.co.jp>」を入力 ▶ [実行] ▶ [ログイン] ▶ [お困りの場合] ▶ 画面の指示に従って操作

■ データの同期

端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。

自動同期するとき

各アカウントで設定された項目を自動的に同期するか設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アカウント]

- 同期する項目の設定: アカウントの種類を選ぶ ▶ アカウントを選ぶ ▶ 項目を選ぶ

2 [⋮] ▶ [データの自動同期] ▶ [OK]

- 本体メモリの電話帳とオンラインサービス上の連絡先を同期する場合、Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。

手動同期するとき

- データの自動同期が無効のときは、選択した項目を手動で同期できます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アカウント]
- 2 アカウントの種類を選ぶ ▶ アカウントを選ぶ
- 3 同期する項目を選ぶ

電話帳のインポート／エクスポート

■ microSDカードからのインポート

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]
- 2 [⋮] ▶ [設定・管理] ▶ [ストレージからインポート]
- 3 暗証番号を入力 ▶ [OK]
- 4 インポートする電話帳データを選ぶ
- 5 [一括登録] / [選択登録]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

■ microSDカードへのエクスポート

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]
 - 2 [⋮] ▶ [設定・管理] ▶ [ストレージへエクスポート]
 - 3 暗証番号を入力 ▶ [OK]
 - 4 [保存する(無画像)] / [保存する(画像付)]
- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

着信／充電ランプ

不在着信がある場合や充電中などに着信／充電ランプを点灯／点滅してお知らせします。

表示状態	色	端末の状態
点灯	赤色	充電中(電池残量約94%以下)
点灯	緑色	充電中(電池残量約95%以上)
点滅	赤色	充電ができない状態
点滅	緑色	着信中
点滅	水色	不在着信あり
点滅	白色	新着メールあり

- ディスプレイが表示されている場合、不在着信や新着メールをお知らせする着信ランプが点滅しません。お知らせアイコンで確認してください。お知らせアイコンが表示されないアプリを使用しているときはステータスバーが表示される画面で確認してください。

画面表示／アイコン

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

アイコンの見かた

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン: 不在着信や新着メールなどをお知らせします。
 - ステータスアイコン: 電池残量や電波状態など端末の状態を表します。



■ 主なお知らせアイコン一覧

- お知らせアイコンには件数が重なって表示されるものもあります。

☎	: 不在着信あり
✉	: 新着SMSあり
✉	: 新着メールあり
✉	: 新着Gmailあり
📧	: ハングアウト™の新着メッセージあり
⚠	: エラー表示
●	: 何らかのエラーが発生したときに表示されます。
📶	: データ通信が無効
●	: データ通信の制限を超えた場合に表示されます。
🔔	: アラーム情報あり
📅	: カレンダーのスケジュール通知あり
📶	: ワンセグ情報あり
👁	: 視聴中 / 受信中
📹	: 録画中
📺	: 録画予約あり (5分前から表示)
🎵	: ミュージックで音楽再生中
📞	: 発信中 / 着信中 / 通話中
🔒	: 保留中
📄	: 簡易留守録情報あり
📄	: microSDカード表示
📶	: 本体メモリの空き容量低下
📶	: Bluetooth表示
📶	: Bluetooth機器からの登録要求 / 接続要求あり
📶	: データ受信要求あり
📶	: DUN接続要求あり / DUN接続中
📶	: データ送受信表示
📶	: 送信表示
📶	: 受信表示
📶	: アプリ表示
📶	: アップデートあり
📶	: アプリのインストール完了
📶	: Wi-Fi表示
📶	: オープンネットワークあり
📶	: Wi-Fi接続制限あり
📶	: [USBテザリング]が有効
📶	: [Wi-Fiテザリング]が有効
📶	: [Bluetoothテザリング]が有効
📶	: 複数のテザリングが有効
📶	: Bright Keepが[ON(通知あり)]のとき

ホームネットワーク表示

🛑: 停止中

🔄: 動作中

🟡: 準備中

🔌: VPN接続

🔄: ソフトウェア更新あり

🔒: Smart Lock表示

👤: [グループモード]が有効

📄: 表示されていないお知らせアイコンあり

■ 主なステータスアイコン一覧

🔔: アラーム設定中

- マナーモードを[サイレント]に設定中はアイコンの色が薄くなります。

🔋: 電池残量表示

🔋: ~🔋: 約100%~約6%

🔋: 約5%以下

- 充電中は電池マークに[🔌]が重なって表示されます。
- 電池マークの左に電池残量がパーセントで表示されます。パーセントの表示/非表示は[電池残量%表示]で切り替えられます(🔌P.54「壁紙とディスプレイ」)。

📶: 電波状態表示

📶: レベル4

📶: レベル3

📶: レベル2

📶: レベル1

📶: レベル0

📶: 圏外

📶: nanoSIMカードが未挿入

📶: 機内モード中

📶: 3Gデータ通信状態表示

📶: 3G使用可能

📶: 3Gデータ受信中

📶: 3Gデータ送信中

📶: 3Gデータ送受信中

📶: GSMデータ通信状態表示

📶: GSM使用可能

📶: GSMデータ受信中

📶: GSMデータ送信中

📶: GSMデータ送受信中

📶: 4Gデータ通信状態表示

📶: LTE使用可能

📶: LTEデータ受信中

📶: LTEデータ送信中

📶: LTEデータ送受信中

📶: HSPAデータ通信状態表示

📶: HSPA使用可能

📶: HSPAデータ受信中

📶: HSPAデータ送信中

📶: HSPAデータ送受信中

🌐: 国際ローミング中

📶: NFC/おサイフケータイ ロック中

📶: [Reader/Writer, P2P]が有効

📶: 文字入力モード表示

📶: ひらがな漢字

📶: 半角英字

📶: 半角数字

📶: 全角英字

📶: 全角数字

📶: 区点コード

マナーモード表示

🔔: 通常マナー

🔔: サイレント

🔔: アラームのみ

🔔: 優先する通知のみ

🔔: スピーカーで通話中

🔔: 消音に設定中

Wi-Fi電波状態表示

📶: レベル4

📶: レベル3

📶: レベル2

📶: レベル1

📶: レベル0

- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中は、[📶]のようにWi-Fi電波状態表示に[📶]が重なって表示されます。

Bluetooth表示

📶: 待機中

📶: 接続中

📶: 位置情報を高頻度で測位中

簡易留守録表示

📶: 簡易留守録設定中で簡易留守録が0件

📶: 簡易留守録設定中で簡易留守録が1~9件

📶: 簡易留守録設定中で簡易留守録が10件

ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグ

- [📶]をロングタッチしてもステータスパネルを表示することができません。

2 ステータスパネルを利用する



1 明るさ調整バー

- ドラッグすると画面の明るさを調整できます。

ホーム画面

ホーム画面の見かた

目的のアプリがすぐに見つかる直感的なホームアプリです。左右にフリックするだけでデスクトップシートやアプリシートから使いかたに合ったシートを選んで利用できます。

- 新しいアプリをインストールすると、アプリアイコンとショートカットが追加されます。
- アプリをアンインストールすると、ホーム画面からアイコンが削除されます。



デスクトップシート



アプリシート

1 ガイドタブ

- 表示中のシートを示します。シートを切り替えたときはシート名が表示されます。

2 ウィジェット

- カレンダーや歩数計など、簡単な機能を利用できます。

3 ショートカット

- よく使うアプリをすばやく起動できます。

4 フォルダ

- アプリ/ショートカットを格納できます。

5 ドック

- ホーム画面のどのページからすばやくアプリを起動できます。

6 インジケータ

- タッチしたページに移動できます。表示しているページを [○] で表します。

7 アプリ

2 機能ボタン

- マナーモード、Wi-Fi機能、位置情報の使用などについて設定できます。
- Wi-FiやBluetoothのように、アイコン下の表示に [▽] がある場合は、アイコン下の表示をタッチすると詳細な設定を行うことができます。
- [位置情報] をタッチすると、位置情報の利用についての確認画面が表示されます。[同意しない] / [同意する] によって、設定されるモードが異なります (P.59 「位置情報」)。モードが [高精度] / [端末のみ] の場合は [📍] が、[バッテリー節約] の場合は [🔋] が表示されます。
- 画面を上下にスライド、または画面上部をタッチすると、機能ボタンの表示 / 非表示を切り替えられます。

3 通知詳細情報

- 端末の状態やお知らせの内容を確認できます。
- 詳細情報の種類によっては、次の操作ができます。
- 対応するアプリの起動や操作: 詳細情報や機能をタッチ
- 詳細表示 / 簡易表示の切替: 詳細情報を 2本の指で同時に上下にスライド、またはピンチアウト / ピンチイン
- 詳細情報の消去: 詳細情報を左右にフリック
- [アプリの通知] を設定: 詳細情報をロングタッチ ▶ [🔔]

4 通信事業者名

- 接続している通信事業者名が表示されます。

5 すべて消去

- 通知詳細情報とお知らせアイコンを消去します。通知詳細情報の内容によっては消去されない場合があります。

6 電池残量

- 機能ボタンを表示しているときにタッチすると、電池の利用状況などを確認できます。

7 機能ボタンのカスタマイズ

- 機能ボタンの並べ替えや追加、削除ができます。

8 設定

- 「設定」アプリを起動します。


- 不在着信の通知が 1件ある場合、通知詳細情報を詳細表示にすると [発信]、[SMS] が表示されます。タッチして電話をかけたり SMS を送信したりできます。

ホーム画面の管理

■ ホーム画面の設定

1 ホーム画面でデスクトップシート／アプリシートをロングタッチ▶[ホーム設定]

2 項目を選ぶ

- **ドック表示設定**:ドックを表示するか設定します。
- **ガイドタブ表示設定**:ガイドタブを表示するか設定します。
- **ホームポジション設定**:ホーム画面で[]をタッチしたときに表示するシートを設定します。
- **レイアウト設定**:表示レイアウトを設定します。
- **テーマ設定**:ホーム画面のテーマや壁紙を設定します。

[レイアウト設定]について

- [Simple]に設定すると、アプリシートのみ表示され、アイコンと文字が大きくなります。

■ ショートカット／ウィジェットの貼付

1 ホーム画面でデスクトップシートをロングタッチ▶[ショートカットを貼付け]／[ウィジェットを貼付け]

2 ショートカット／ウィジェットを選ぶ

■ フォルダの作成

1 ホーム画面でデスクトップシート／アプリシートをロングタッチ▶[フォルダ作成]

2 アプリ／ショートカットをフォルダまでドラッグ

■ アプリ／ウィジェット／ショートカット／フォルダの移動

1 ホーム画面でアプリ／ウィジェット／ショートカット／フォルダをロングタッチ

2 移動先までドラッグ

- [≡]までドラッグすると、新しいページを追加できます。
- アプリを[≡]までドラッグするとアンインストールできます。ウィジェット／ショートカット／フォルダを[≡]までドラッグすると削除できます。
- ドックに配置されたショートカット／フォルダも同様の操作で移動できます。また、アプリ／ショートカット／フォルダをドックにドラッグすると、ショートカット／フォルダが配置されます。

■ アプリ／ウィジェット／ショートカット／フォルダの管理

1 ホーム画面でアプリ／ウィジェット／ショートカット／フォルダをロングタッチ

2 項目を選ぶ

- **ショートカットを貼付け**:アプリのショートカットをデスクトップシートに貼り付けます。
- **アプリを削除**:アプリをアンインストールします。
- **アプリ非表示**:アプリをアプリシートに表示しないようにします。
 - ・ホーム画面でアプリシートをロングタッチ▶[アプリ表示設定]から、各アプリの表示／非表示を設定できます。
- **新規フォルダに入れる**:アプリ／ショートカットを格納したフォルダを作成します。
- **はがす**:ウィジェット／ショートカット／フォルダを削除します。

- **サイズ変更**:ウィジェットのサイズを変更します。
- **ホーム設定**:ホーム画面について設定します。ホーム設定についてはP.27「ホーム画面の設定」

[はがす]について

- ショートカットを削除しても、アプリはアンインストールされません。

■ フォルダ名の変更

1 ホーム画面でフォルダを選ぶ

2 フォルダ名をタッチ

3 フォルダ名を入力

■ ページの並べ替え













1 ホーム画面でデスクトップシート／アプリシートをロングタッチ▶[ページ並替え]



















- ホーム画面でピンチインしてもページを並べ替えられます。






2 上下にスライドして移動先を選ぶ▶[移動する]

アプリ一覧

- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み(有料)が必要となるものがあります。
- インストールされているアプリは次のとおりです。

アイコン	アプリ	概要
	アラーム・時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用します(P.49「アラーム・時計」)。
	アルバム	画像や動画をイベントや場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます(P.46「アルバム」)。
	おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます(P.40「おサイフケータイ対応サービスの利用」)。
	音声検索	音声検索を利用してサイトの情報を検索します(P.18「端末内やサイトの情報の検索」)。
	カレンダー	スケジュールを管理します(P.50「カレンダー」)。
	コンテンツマネージャー	本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたデータを管理します(P.66「コンテンツマネージャー」)。
	設定	端末の各種設定をします(P.53「設定メニュー」)。
	ダウンロード	サイトからダウンロードした画像などのデータを管理することができます。
	テレビ	テレビ(ワンセグ)を利用します(P.41「テレビ(ワンセグ)」)。
	電卓	電卓を利用します(P.51「電卓」)。
	電話	電話を利用します(P.31「電話」)。
	電話帳	電話帳を利用します(P.33「電話帳」)。

アイコン	アプリ	概要
	ドライブ	画像や動画などをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
	ハンクアウト	チャット(文字によるおしゃべり)やボイスチャットなどができます。
	フォト	画像や動画を管理します。
	マップ	現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます(☞P.48「マップ」)。
	ミュージック	音楽を再生します。本端末はハイレゾオーディオ※1の再生に対応しています(☞P.47「ミュージック」)。
	メール	メールを利用します(☞P.36「Eメール」)。
	メッセージ	SMSを利用します(☞P.35「SMS」)。
	メモ帳	メモを登録します(☞P.50「メモ帳」)。
	AV家電リンク	本端末とDLNA対応機器をWi-Fi機能で接続して利用することができます(☞P.71「AV家電リンクのご利用にあたって」)。
	Chrome	パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示します(☞P.39「Chrome」)。
	Clip Now	Clip Nowで撮影した画像(保存用スクリーンショット)やURLを確認します(☞P.57「Clip Now」)。
	Gmail	Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます(☞P.37「Gmail」)。
	Google	クイック検索ボックスを利用します(☞P.18「端末内やサイトの情報の検索」)。
	Google Nowランチャー※2	Google Nowを利用している場合、ホーム画面でGoogle Nowを確認できるホームアプリです。また、ホーム画面表示中に「Ok Google」と発声するだけで、音声検索を利用することができます。
	OfficeSuite	OfficeSuiteを利用します。 ●対応しているファイルについては、ホーム画面にアプリシートを表示▶ [OfficeSuite]▶[≡]▶[ヘルプとフィードバック]▶[ヘルプ]と操作して、ヘルプを参照してください。
	Play ストア	Google Playを利用します(☞P.40「Play ストア」)。
	Playムービー&TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。
	Play Music	音楽を再生します。

アイコン	アプリ	概要
	PrintSmash※3	Wi-Fi通信を利用して、本端末の画像やPDFデータをコンビニエンスストアに設置されているシャープのマルチコピー機で印刷することができるアプリです。
	SHカメラ	SHカメラで撮影します(☞P.44「SHカメラ」)。
	SHツール	歩数計や辞書など、便利な機能を利用することができます(☞P.51「SHツール」)。
	SHSHOW	AQUOSスマートフォン/タブレットを使用しこなすための各種情報やコンテンツを紹介するアプリです。
	YouTube	YouTubeを利用します(☞P.49「YouTube」)。

- ※1 ハイレゾに対応した市販のヘッドホンやスピーカーが必要で
す。
再生できる音楽データのファイル形式はWAV/FLAC形式で
192kHz/24bit以下のコンテンツとなります。
- ※2 ホームアプリがGoogle Nowランチャー以外の場合に表示さ
れます。
- ※3 はじめてご利用される際にはアプリをダウンロードする必要
があります。アプリのダウンロードには別途パケット通信料
がかかります。
- インストールされているアプリの中には、アンインストールでき
るものもあります。アンインストールしたアプリはPlay ストア
(☞P.40「Play ストア」)などから再度ダウンロードできる場合
があります。次のサイトをご確認ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm03/prein/index.html>
 - アプリで[高速液晶表示]をONにしている場合、画面表示をなめ
らかにすることができます(☞P.58「アプリ」)。

アプリ使用履歴

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。また、どこでもコピー、「書」メモなどのアプリや画面縮小モード、ミニアプリ/ミニウィジェットなどを利用することもできます。

1 [] 2 履歴を利用する



1 検索

- タッチするとクイック検索ボックスを利用できます (P.18「端末内やサイトの情報の検索」)。

2 アプリの使用履歴

- タッチするとアプリを起動できます。
- 左右にフリックすると履歴を削除できます。

3 画面の固定

- [画面の固定]がONの場合、最新の履歴に表示されます。画面の固定についてはP.59「ロックとセキュリティ」
- タッチすると選択したアプリ以外を使用できないようになります。
 - ・ 画面の固定を解除: [] + [] をロングタッチ

4 ツール

- 次の機能を利用できます。
 - どこでもコピー: 表示中の画面の文字をコピーすることができます。
 - 「書」メモ: 表示中の画面に手書きでメモを書き込んで、画像として保存することができます。
 - チャイルドロック: チャイルドロックを設定すると、タッチ操作やナビゲーションキーでの操作を無効にすることができます。[] を押すか、ディスプレイの表示が消えるとチャイルドロックが解除されます。

5 履歴消去

- タッチするとアプリの使用履歴を削除できます。

6 すべて消去

- タッチするとアプリの使用履歴をすべて削除できます。

7 ミニアプリ

- ミニアプリ/ミニウィジェットを利用できます (P.29「ミニアプリ/ミニウィジェット」)。

8 画面縮小

- タッチすると画面を縮小し、片手で操作しやすくなります。
- 縮小表示中に [] をタッチすると、縮小した画面を移動したりサイズを変更したりできます。
- [] ▶ [元に戻す] と操作して、画面のサイズを元に戻すことができます。

- アプリによっては履歴に表示されない場合があります。
- 起動中のアプリの履歴を消去すると、アプリを終了することができます。

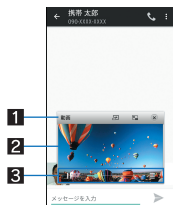
画面縮小について

- 表示中の画面によっては、縮小することができない場合があります。
- 画面縮小モード中に横表示にしたり、ディスプレイの表示が消えたりすると、画面縮小モードは解除されます。

ミニアプリ/ミニウィジェット

他のアプリを使用しながらテレビや動画、YouTubeの視聴などができるミニアプリやミニウィジェットを利用することができます。

1 [] ▶ [ミニアプリ] 2 ミニアプリ/ミニウィジェットを選ぶ 3 ミニアプリ/ミニウィジェットを利用する



1 タイトルバー

- 移動先までドラッグするとミニアプリ/ミニウィジェットを移動することができます。
 - 表示されるキーで次の操作ができます。
 - ・ 通常のアプリの起動: [] ※
 - ・ ミニアプリの最小化/元のサイズに戻す: [] / []
 - ・ ミニアプリ/ミニウィジェットの終了: []
- ※ ミニテレビ、ミニ動画の場合、ミニアプリに戻すには、[] / [] をタッチします。

2 ミニアプリ/ミニウィジェット表示

- タイトルバー/コントローラーが表示されていない場合、タッチするとタイトルバー/コントローラーを表示することができます。
- 「メール」アプリなど他のアプリを起動中に、ロングタッチして他のアプリまでドラッグすると、文字や画像などをコピーし、貼り付けることができます。

3 コントローラー

- 表示されるキーで次の操作ができます。
 - ・ ミニアプリ/ミニウィジェットのサイズ変更: [] をドラッグ
- ミニテレビの操作**
- ・ UP/DOWN選局: [CH] / [←CH]
- ミニ動画の操作**
- ・ 一時停止/再生: [] / []
 - ・ データ一覧画面の表示: []

- ミニアプリ利用中に他のアプリを使用して動画を再生した場合、動画が正しく表示されないことがあります。

ミニアプリ/ミニウィジェットの追加

1 [] ▶ [ミニアプリ] 2 [ウィジェット追加] / [ミニアプリ追加] 3 追加したいミニアプリ/ミニウィジェットを選ぶ

- [Playストアから追加] をタッチするとアンインストールしたミニアプリを再度ダウンロードできます。

ミニアプリ/ミニウィジェットの並べ替え

1 [] ▶ [ミニアプリ] 2 ミニアプリ/ミニウィジェットをロングタッチ▶ 並べ替える位置までドラッグ

■ ミニアプリ/ミニウィジェットの管理

1 [🔄] ▶ [ミニアプリ]

2 ミニアプリ/ミニウィジェットをロングタッチ

- 指を離すとメニューが表示されます。

3 項目を選ぶ

- **アプリ削除**: アプリをアンインストールします。
- **はがす**: ミニアプリやミニウィジェットを非表示にします。
- **名前を変更**: ミニウィジェットの名前を変更します。

ホーム切替

ホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は、端末に次のホームアプリが登録されています。

■ Feel Home

目的のアプリがすぐに見つかる直感的なホームアプリです。左右にフリックするだけでデスクトップシートやアプリシートから使いがたに合ったシートを選んで利用できます。

■ Google Nowランチャー

Google Nowを利用している場合、ホーム画面でGoogle Nowを確認できます。また、ホーム画面表示中に「Ok Google」と発声するだけで、音声検索を利用することができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ホーム切替]

2 ホームを選ぶ

アプリ初回起動時の確認画面について

それぞれのアプリをはじめて起動したときは、「アプリに必要な許可」や「電池の最適化」の確認画面が表示され、アプリの動作について設定を行います。

- アプリによって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。ここでは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の2種類の確認画面について説明します。

アプリに必要な許可

アプリが端末のデータやカメラなどを利用することを許可します。

- 機能の利用を許可しなかった場合、アプリが正常に動作しないことがあります。

例: アルバムを起動したとき

1 「アプリに必要な許可」の確認画面で[次へ]



2 [許可しない] / [許可]



- 通常は[許可]を選択し、機能の利用を許可してください。
- 利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能について設定

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

アプリごとに利用する機能を設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アプリ]

2 アプリを選ぶ ▶ [許可]

3 機能を選ぶ

機能ごとに利用を許可するアプリを設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アプリ] ▶ [🔒] ▶ [アプリの権限]

2 機能を選ぶ

3 アプリを選ぶ

電池の最適化

電池の最適化を行うと、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。

- 電池の最適化を行った場合、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しません。アプリ/機能が利用できないなど、意図しない現象が発生することがあります。

例: テレビを起動したとき

1 「電池の最適化」の確認画面で[次へ]



2 [いいえ] / [はい]



- 通常は[はい]を選択し、電池の最適化は行わないでください。[いいえ]を選択するとテレビアプリが終了します。

■ 電池の最適化の設定

電池の最適化について、次の手順で設定することもできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アプリ] ▶ [🔒] ▶ [電池の最適化]

- ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [省エネ & バッテリー] ▶ [電池] ▶ [🔒] ▶ [電池の最適化] でも電池の最適化を行うことができます。
- 最適化していないアプリの一覧が表示されます。

2 [最適化していないアプリ] ▶ [すべてのアプリ]

3 アプリを選ぶ ▶ [最適化する] / [最適化しない] ▶ [完了]

電話や電話帳を利用したり、通話や着信時の動作などについて設定できます。

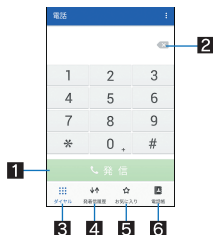
電話をかける

● 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話] ▶ [ダイヤル]

2 電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」/「184」を付けると、その発信に限り番号通知/番号非通知に設定して発信できます。



1 発信

- 電話を発信します。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタッチすると最新の発信履歴が入力されます。

2 削除

- 入力した番号を1文字削除します。
- ロングタッチすると、入力した番号をすべて削除します。

3 ダイヤル

- ダイヤル画面を表示します。

4 発信履歴

5 お気に入り

- お気に入りに設定されている連絡先を表示します。

6 電話帳

- 電話帳を表示します。

3 [発信]

4 通話が終わったら [通話終了]

- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが正常に動作しないことがあります。画面が点灯したままとり、誤って画面に触れることによって、通話が切れる場合があります。

VoLTEについて

- VoLTEは、通話を高品質で利用することができます。
 - VoLTEのご利用には、本端末と通話相手の端末が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - ご契約の通信事業者がVoLTEに対応していること
 - VoLTE対応サービスエリア内であること*
 - [4Gを利用する]が有効であること (P.73「海外で利用するための設定」)
 - 通話モード設定が[VoLTE ON]であること (P.33「通話設定」)
- ※ VoLTE対応サービスエリア外は、VoLTEを利用できません。

プッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止(P)を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話] ▶ [ダイヤル]

2 電話番号を入力 ▶ [⋮] ▶ [特番付加] ▶ [P付加]

3 送信する番号を入力 ▶ [発信]

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。

なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。

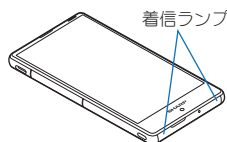
また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 日本国内では通話可能なnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

電話を受ける

● 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する



2 電話を受ける

- 各アイコンを下にドラッグしてください。



1 応答

- 電話を受けることができます。

2 保留

- 応答を保留にすることができます。

3 クイック返信

- 着信を拒否し、選択したメッセージをSMSとして相手に送信することができます。

4 メニュー

- 利用できる機能(メニュー)を表示します。

3 通話が終わったら[通話終了]

■ ディスプレイを表示中に電話を受ける

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中に電話がかかってくると、着信通知が表示されます。通知を利用して電話を受けることができます。

1 電話がかかってくると、画面上部に着信通知が表示される

2 [応答]

- 着信通知をタッチすると、着信画面を表示できます。各アイコンをタッチしてください。

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



1 消音

- 通話中の電話を消音/消音解除にします。

2 音量

- 通話音量を調整します。

3 音声メモ

- 通話中の相手の音声と自分の音声を録音します。

4 通話終了

- 通話を終了します。

5 数字キー

- プッシュ信号の入力ができます。

6 メニュー

- 「保留」や「通話を追加」など利用できる機能(メニュー)を表示します。

7 スピーカー

- ハンズフリーで通話ができます。

- ハンズフリーで通話するには次の内容にご注意ください。

- 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が届かないなど良好な通話ができないことがあります。
- 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
- ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。

- イヤホンマイク/Bluetooth機器を接続している場合、スピーカーを利用できません。

- 「保留」と「通話を追加」をお使いになる場合、あらかじめご利用の通信事業者との契約が必要となります。詳しくは、通信事業者にお問い合わせください。

なお、通信事業者によっては、これらの機能を提供していない場合もあります。

■ 通話音量調節

1 通話中に[+] / [-]

発着信履歴

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話] ▶ [発着信履歴]

2 履歴を選ぶ

- 履歴を選択すると、着信の状態などの詳細が表示されます。



1 発信日時

2 着信状態アイコン

	不在着信
	通話着信
	発信履歴

3 電話帳に登録している顔写真

4 高音質アイコン

- VoLTE(高音質)で通話を行った履歴の場合に表示されません。

5 相手の名前/電話番号

6 発信アイコン

- タッチすると発信します。

7 グループ数

- 同じ相手の発信履歴が連続した場合に表示されます。タッチすると、グループ内の履歴の表示/非表示を切り替えられます。

8 不在着信時間

3 [発信]

- SMSの作成・送信: [SMS] ▶ SMSを作成・送信
- 電話帳に登録: [登録] ▶ 登録先を選ぶ ▶ 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [はい]

発着信履歴の削除

■ 全件削除

1 発着信履歴一覧画面で[⋮] ▶ [全件削除] ▶ [はい]

■ 1件削除

1 発着信履歴一覧画面で履歴を選ぶ ▶ [削除] ▶ [はい]

通話設定

簡易留守録や発信制限など、通話について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話]

2 [:] ▶ [設定]

- ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [通話] でも通話設定を行うことができます。

3 項目を選ぶ

- 通話モード設定:** VoLTEを利用するか設定します。
- クイック返信:** クイック返信に使用する文章を編集します。
- 簡易留守録設定:** 簡易留守録や音声メモについて設定します。
- 国際発信設定:** 国際電話をかける場合に利用する国番号のリストを表示します。
- 発信制限:** 発信や着信の制限について設定します。

[発信制限]について

- 発信制限を設定中でも、緊急通報番号(110番、119番、118番)へは発信できます。

電話帳

連絡先の管理やプロフィールの確認を行うことができます。

電話帳の登録

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]

2 [新規]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

3 各項目を設定

- 登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。



1 アカウント

- 登録するアカウントを設定します。

2 姓、名

3 姓のふりがな、名のふりがな

4 電話番号

5 メールアドレス

6 削除

- 電話番号／メールアドレスなどを削除します。

7 画像

- 発信時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

8 着信音設定

- 着信音を設定します。

9 グループ設定

10 誕生日

11 住所

12 その他

- ニックネームや所属などの情報を登録します。

13 追加

- 登録する電話番号／メールアドレスなどを追加します。

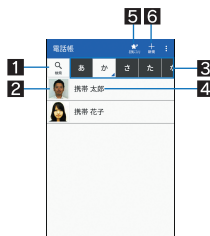
4 [保存] ▶ [はい]

電話帳の確認／利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]

2 名前を選ぶ



1 検索

2 画像

3 インデックスタブ

- タッチした見出しの連絡先を表示します。

4 連絡先

5 お気に入り

- お気に入り設定されている連絡先を表示します。

6 新規

3 登録情報を確認／利用する



1 登録内容

- 登録内容を確認／利用できます。
- 表示されているアイコンをタッチすると、登録内容を利用して電話やメールなどをすることができます。

2 画像

3 お気に入り登録

4 編集

表示するアカウントを選択

- アカウントを設定している場合に利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]

2 [:] ▶ [設定・管理] ▶ [表示するアカウント]

3 項目を選ぶ

電話帳の削除

■ 全件削除

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]
- 2 [⋮] ▶ [削除] ▶ [全選択] ▶ [削除] ▶ [はい] ▶ 暗証番号を入力 ▶ [OK]

■ 1件削除

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]
- 2 名前を選ぶ ▶ [⋮] ▶ [削除] ▶ [はい]

電話帳の編集

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]
- 2 名前を選ぶ ▶ [編集]
- 3 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [はい]
 - 設定できる各項目の詳細についてはP.33「電話帳の登録」

グループの利用

表示方法をグループにすると、グループごとに連絡先を表示することができます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]
- 2 [⋮] ▶ [表示方法切替] ▶ [グループ]
- 3 グループを利用する



- 1 連絡先の検索
- 2 アカウント
 - タッチするとグループ名を表示できます。
- 3 グループ名
 - タッチするとグループに登録されている連絡先が表示されます。
- 4 お気に入り
 - お気に入りに設定されている連絡先を表示します。
- 5 新規
 - 連絡先を新規作成します。

■ グループの追加／編集

- 1 グループ一覧画面で[⋮] ▶ [グループ追加・編集]
 - アカウントが複数ある場合は追加／編集するアカウントの選択画面が表示されます。
- 2 [追加] ▶ 各項目を設定 ▶ [保存]
 - グループの削除: [削除] ▶ グループを選ぶ ▶ [削除] ▶ [はい]
 - グループの並べ替え: [並べ替え] ▶ グループをロングタッチ ▶ 移動先までドラッグ ▶ [完了]

■ グループへの登録／解除

- 1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ ▶ [メンバー登録]
- 2 連絡先を選ぶ ▶ [登録] ▶ [はい]
 - 連絡先の選択を解除すると、登録を解除できます。

プロフィール

nanoSIMカードをご使用の場合は、お客様の電話番号を表示できません。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]
- 2 [⋮] ▶ [プロフィール]

■ プロフィールの編集

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話帳]
- 2 [⋮] ▶ [プロフィール] ▶ [編集]
- 3 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [はい]

メール／ウェブブラウザ

SMSやGmailなどを利用して、メッセージを送受信したり、Chromeを利用してサイトを表示したりできます。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

- SMSが利用可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。
- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メッセージ]

2 [📧]

3 宛先、メッセージを入力 ▶ [➤]

- ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アプリ] ▶ [📧] ▶ [既定のアプリ] ▶ [SMSアプリ] ▶ [ハングアウト]と操作すると、デフォルトのSMSアプリをハングアウトに切り替えることができます。
- 宛先が海外通信事業者のときは、「+」、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まるときは先頭の「0」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。
- SMSのメッセージに半角カタカナや特殊記号を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- 「186」/「184」を付けての送信はできません。

メッセージの表示

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

- 宛先／送信元ごとにメッセージをスレッドにまとめて表示します。



1 画像

- 相手の画像を電話帳に登録していると表示されます。タッチすると電話帳の登録内容を表示します。電話帳に登録されていない相手の場合は、タッチすると電話帳に登録できます。

2 宛先／送信元

3 未読メッセージのあるスレッド数

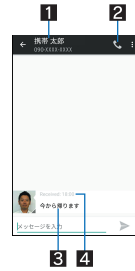
4 メッセージ新規作成

5 メッセージ検索

6 スレッド内のメッセージ件数

7 送受信日時

3 メッセージを確認する



1 宛先／送信元

2 電話発信

3 メッセージ

4 送受信日時

メッセージの返信

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージを入力 ▶ [➤]

メッセージの転送

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージをロングタッチ ▶ [転送]

4 宛先、メッセージを入力 ▶ [➤]

メッセージの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メッセージ]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージをロングタッチ ▶ [削除] ▶ [削除]

スレッドの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メッセージ]

- スレッドの全件削除: [🗑️] ▶ [すべてのスレッドを削除] ▶ [削除]

2 スレッドをロングタッチ ▶ [🗑️] ▶ [削除]

メッセージの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メッセージ]

2 [⋮] ▶ [設定]

3 項目を選ぶ

- **SMSが有効**:SMSを送受信するアプリを設定します。
- **古いメッセージを削除**:保存件数が上限に達したとき、古いメッセージを自動的に削除します。
- **テキストメッセージの制限件数**:スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。
- **受取確認通知**:送信するメッセージの受取確認を毎回通知します。
- **SIMカードのメッセージ**:nanoSIMカードに保存したメッセージを管理します。
- **通知**:メッセージ受信時にステータスバーで通知します。
- **着信音**:メッセージ受信時の着信音を設定します。
- **バイブレーション**:メッセージ受信時にバイブレータを動作させるか設定します。

[受取確認通知]について

- 他社の携帯電話にメッセージを送信した場合、受取確認通知が届かないことがあります。

Eメール

サービスプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。

- あらかじめ、アカウント設定をしておいてください(▶P.23「メールのアカウントの設定」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メール]

2 [⊙]

3 メールを作成



1 アカウント

- 複数のアカウントを設定している場合、アカウントを切り替えられます。

2 宛先

- 電話帳に登録してあるメールアドレスや名前的一部分を入力すると、宛先の候補が表示されます。

3 件名

4 本文

5 ファイル添付

6 宛先の追加

- タッチすると、CcやBccを追加できます。

4 [≡]

- 受信側の機種によっては件名をすべて受信できないことがあります。
- Gmailのアカウントで送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信側の機種がパソコンからのメール受信拒否を設定している場合、メールを送信できません。
- 何らかの原因で送信できなかったメールは、未送信メールとして送信失敗フォルダに保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されないときがあります。

ファイルの添付について

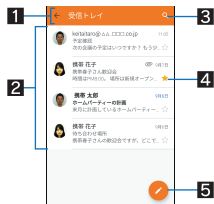
- 最大約5M/バイトまでのファイルを添付できます。添付できる個数に制限はありません。
- 受信側の端末によっては、受信できなかったり、正しく表示・再生できなかったりすることがあります。また、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されたりすることがあります。

メールの表示

- 利用するアカウントによっては、表示される画面が異なる場合があります。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メール]

2 メールを選ぶ



1 表示中のトレイ名/フォルダ名

- [←]をタッチするとフォルダ/アカウントの切り替えや設定ができます。

2 メール

- 既読メールのときは、送信元や件名が細字の表示になります。
- 画像をタッチするとメールにチェックが付き、一括で削除/未読/既読などに設定できます。

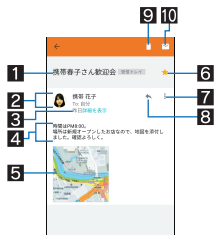
3 メール検索

4 スターアイコン

- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

5 メール新規作成

3 メールを確認する



1 件名

2 送信元/宛先

- 電話帳に登録されている相手の場合は、画像をタッチすると電話帳の登録情報が表示されます。電話帳に登録されていない相手の場合は、タッチすると電話帳に登録できます。

3 受信日時

- タッチすると、送信元や宛先、受信日時の詳細の表示/非表示を切り替えられます。

4 本文

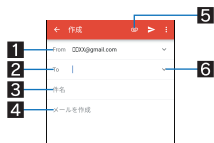
5 添付ファイル

Gmail

Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ 「Google」フォルダを選ぶ ▶ [Gmail]
- 2 [🔍]
- 3 メールを作成

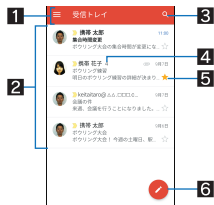


- 1 アカウント
 - 複数のアカウントを設定している場合、アカウントを切り替えられます。
- 2 宛先
 - [連絡先の提案を許可]をタッチして電話帳の利用を許可すると、電話帳に登録してあるメールアドレスや名前の一部を入力したときに、宛先の候補が表示されます。
- 3 件名
- 4 本文
- 5 ファイル添付
- 6 宛先の追加
 - タッチすると、CcやBccを追加できます。

- 4 [➤]

メールの表示

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ 「Google」フォルダを選ぶ ▶ [Gmail]
- 2 スレッドを選ぶ
 - Gmailでは、返信ごとにメールをスレッドにまとめて表示します。新着メールが既存のメールへの返信メールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。新規のメールや件名を変更したメールについては、新しいスレッドが作成されます。



- 1 表示中のトレイ名/ラベル名
 - [☰]をタッチすると表示種別/アカウントの切り替えや設定ができます。
- 2 スレッド
 - スレッド内がすべて既読メールのときは、送信元や件名が細字の表示になります。
 - 画像をタッチするとスレッドにチェックが付き、一括でアーカイブ/削除/未読/既読などに設定できます。
- 3 メール検索
- 4 スレッド内のメール件数

- 6 スターアイコン
 - 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
 - スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。
- 7 各メールのメニュー
 - タッチするとメールごとに全員に返信や転送、印刷することができます。
- 8 返信
- 9 削除
- 10 未読にする

メールの返信/転送

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メール]
- 2 メールを選ぶ
- 3 [↶]
 - 全員に返信:各メールの[::] ▶ [全員に返信]
 - 転送:各メールの[::] ▶ [転送]
- 4 メールを作成



- 1 返信種別
 - タッチすると返信/全員に返信/転送を切り替えられます。
- 2 宛先
- 3 本文
- 4 元のメッセージ
 - タッチすると、送信元のメールの表示/非表示を切り替えられます。
 - 転送のときは操作できません。
- 5 送信元のメール
- 6 件名
- 7 引用返信
 - 送信元のメールを本文に入力します。

- 5 [➤]

メールの削除

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メール]
 - メールを選択削除:メールの画像をタッチ ▶ [☐] ▶ [OK]
- 2 メールを選ぶ
- 3 [☐] ▶ [OK]

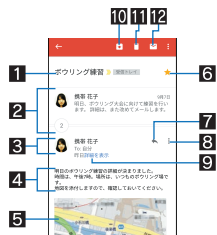
メールの設定

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メール]
- 2 [←] ▶ [設定]
- 3 項目を選ぶ
 - 全般設定:メール全般について設定します。
 - アカウントを追加:アカウントの追加ができます。
 - プライバシーポリシー:プライバシーポリシーを確認できます。
 - アカウントを選ぶと、署名やメール着信通知など、各アカウントの詳細について設定できます。

- 5 スターアイコン
- 特別なスレッドやあとで対応する必要があるスレッドの目印として利用できます。
 - スターを付けたスレッドは、スター付きフォルダで確認することができます。

6 メール新規作成

3 メールを確認する



1 件名

2 まとめられたメッセージ

- タッチするとまとめられたメールを表示します。

3 送信元/宛先

- 電話帳に登録されている相手の場合は、画像をタッチすると電話帳の登録内容に合わせて利用できるアプリが表示されます。
- 送信元をタッチすると詳細表示/簡易表示を切り替えられます。

4 本文

5 添付ファイル

6 スターアイコン

- 特別なスレッドやあとで対応する必要があるスレッドの目印として利用できます。
- スターを付けたスレッドは、スター付きフォルダで確認することができます。

7 返信

8 各メールのメニュー

- タッチするとメールごとに全員に返信や転送、スターを付ける/スターを外す、印刷、送信元からのメールのブロック/ブロック解除をすることができます。

9 受信日時

- タッチすると、送信元や宛先、受信日時の詳細の表示/非表示を切り替えられます。

10 アークイブ

11 削除

12 未読にする

メールの返信/転送

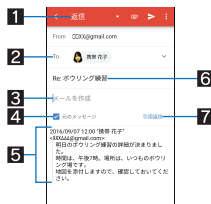
1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[Gmail]

2 スレッドを選ぶ

3 [↩]

- 全員に返信:各メールの[::]▶[全員に返信]
- 転送:各メールの[::]▶[転送]

4 メールを作成



1 返信種別

- タッチすると返信/全員に返信/転送を切り替えられます。

2 宛先

3 本文

4 元のメッセージ

- タッチすると、送信元のメールの表示/非表示を切り替えられます。
- 転送のときは操作できません。

5 送信元のメール

6 件名

7 引用返信

- 送信元のメールを本文に入力します。

5 [➤]

スレッドの削除

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[Gmail]

- スレッドの選択削除:スレッドの画像をタッチ▶[☐]

2 スレッドを選ぶ

3 [☐]

Gmailの設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[Gmail]

2 [☰]▶[設定]

3 項目を選ぶ

- **全般設定:**Gmail全般について設定します。
- **アカウントを追加:**アカウントの追加ができます。
- アカウントを選べると、通知や署名など、各アカウントの詳細について設定できます。

Chrome

パケット通信やWiFi機能による接続でサイトを表示できます。

サイトの表示

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [Chrome]

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

■ サイトの検索

1 URL入力欄をタッチ



2 キーワードを入力 ▶ キーワードを選ぶ

- 入力した文字を含むキーワードを一覧表示します。
- キーワードを最後まで入力して[実行]でも検索できます。
- ページの再読み込み: Chrome画面で[:] ▶ [C]

■ 新しいタブを開く

1 Chrome画面で[:] ▶ [新しいタブ]

■ タブの切替

1 Chrome画面で[②]

2 タブを選ぶ

■ タブを閉じる

1 Chrome画面で[②] ▶ [X]

■ シークレットタブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずにサイトを表示できます。

1 Chrome画面で[:] ▶ [新しいシークレットタブ]

- シークレットタブで表示中はURL入力欄の周囲が灰色で表示されます。

2 URL入力欄をタッチ ▶ キーワードを入力 ▶ [実行]

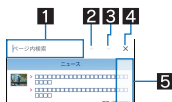
- シークレットタブを閉じる: Chrome画面で[①] ▶ [X]

- シークレットタブで表示したサイトはChromeの履歴には残りません(※P.39「履歴からのサイト表示」)。また、シークレットタブをすべて閉じると、Cookieなどの記録も削除されます。なお、ダウンロードしたファイルやブックマークしたサイトは、シークレットタブでも保存できます。

■ ページ内の文字の検索

1 Chrome画面で[:] ▶ [ページ内検索]

2 検索する



1 キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。

2 前へ

3 次へ

4 検索終了

5 検索結果バー

- タッチした検索結果に移動できます。

■ 文字のコピー

1 Chrome画面でコピーする文字をロングタッチ

2 始点から終点までドラッグ

- コピー範囲の変更: [O] / [O]をドラッグ

3 [コピー]

■ 便利な機能

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 Chrome画面でリンク／画像をロングタッチ ▶ 利用する機能を選ぶ

Chromeの設定

1 Chrome画面で[:] ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- **Chromeにログイン**: GoogleアカウントでChromeにログインします。同じアカウントでChromeを利用していた際のタブやブックマーク、履歴などの情報を同期できます。
- **検索エンジン**: URL入力欄から検索するときに利用する検索エンジンを設定します。
- **タブとアプリの統合**: Chromeのタブを「」で切り替えるか設定します。[オン]に設定すると、Chromeはタブごとにアプリ使用履歴に表示されます。タブの切り替えや削除はアプリ使用履歴から行います(※P.29「アプリ使用履歴」)。
- **フォームに自動入力する**: 自動入力をするときに利用する住所やクレジットカードの情報を設定します。
- **パスワードを保存する**: パスワードの保存について設定します。
- **ホームページ**: ホームページを設定します。
- **プライバシー**: 利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
- **ユーザー補助機能**: 文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。
- **サイトの設定**: サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。
- **データセーバー**: データ通信量を抑えるようにするか設定します。
- **Chromeについて**: Chromeの情報を確認できます。

ブックマークや履歴の利用

■ ブックマークの登録

1 Chrome画面で[:] ▶ [☆]

■ ブックマークからのサイト表示

1 Chrome画面で[:] ▶ [ブックマーク]

2 ブックマークを選ぶ

■ 履歴からのサイト表示

1 Chrome画面で[:] ▶ [履歴]

2 履歴を選ぶ

Play ストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを端末にダウンロード、インストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウントを設定しておいてください
([P.23](#)「Googleなどのアカウントの設定」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [Play ストア]

- ヘルプの表示: [≡] ▶ [ヘルプとフィードバック]

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する場合があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アプリの購入

1 Google Play画面で購入するアプリを選ぶ

2 価格をタッチ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 無料のアプリのとき: [インストール]
- アプリの初回購入時は、支払い方法を選択してください。支払い方法によっては、Googleウォレット アカウントにログインする必要があります。
- アプリの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金要求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリ購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Play画面で [≡] ▶ [ヘルプとフィードバック] をご覧ください。

- アプリのインストールに承諾すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリをインストールするときは、特にご注意ください。
- ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroid™デバイスが複数ある場合、購入したアプリは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- Google Playからのアプリの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

■ アプリのアンインストール

1 Google Play画面で [≡] ▶ [マイアプリ & ゲーム]

2 アンインストールするアプリを選ぶ

3 [アンインストール] ▶ [OK]

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使ったり、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる機能です。

電子マネーやポイントなどをICカード内に保存することができます。

また、電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができますし、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時の対策になります。

※おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

- 本端末は、PayPass、payWave、J/Speedyの各サービスには対応していません。

おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ*が消失・変化してしまう場合があります(修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態で預かりすることができますので、原則データをお客様自身で消去していただきます)。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
 - 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
 - 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。
- ※おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」の利用

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトより、おサイフケータイ対応アプリをダウンロードし、設定を行ってください。なお、サービスによってはおサイフケータイ対応アプリのダウンロードが不要なものもあります。

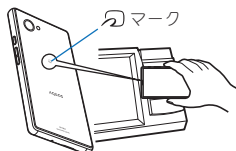
1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [おサイフケータイ]

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選ぶ

- サービスのサイト、またはサービスに対応したアプリをダウンロードしてから設定してください。

3 端末のマークを読み取り機にかざす



- 次の場合は、おサイフケータイ対応サービスを利用できません。ただし、読み取り機に本端末をかざしてのお支払いは利用できます。
 - 機内モード中
 - 充電中、またはmicroUSBケーブル(別売)接続中、またはイヤホンマイク接続中で、nanoSIMカードが挿入されていない場合／一度も電波を受信していない場合
- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機と通信できます。
- 読み取り機との通信は、電源を切っても利用できます。ただし、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなる場合があります。
- インストールしているおサイフケータイ対応アプリやアプリの設定によっては、画面ロック設定中や画面消灯中、本端末の電源を切っている状態では、読み取り機にかざして利用できない場合があります。

対向機にかざす際の注意事項

- 読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことに注意してください。
 - ㊄マークを対向機にかざす際には、強くぶつかけせず、ゆっくりと近づけてください。
 - ㊄マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
 - ㊄マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響をおよぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

NFC／おサイフケータイ ロック

NFC／おサイフケータイ ロックを設定すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

- NFC／おサイフケータイ ロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロック設定とは異なります。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る] ▶ [NFC／おサイフケータイ 設定] ▶ [NFC／おサイフケータイ ロック]

- ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [おサイフケータイ] ▶ [ロック設定] でもNFC／おサイフケータイ ロックの設定を行うことができます。

2 画面の指示に従って、アプリケーションロックのセキュリティキーを入力

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーに [] が表示されます。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、NFC／おサイフケータイ ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後にNFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、NFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。

NFC／おサイフケータイ 設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る] ▶ [NFC／おサイフケータイ 設定]

2 項目を選ぶ

- **NFC／おサイフケータイ ロック**: NFC／おサイフケータイ ロックについては P.41「NFC／おサイフケータイ ロック」
- **Reader / Writer, P2P**: Reader / Writer, P2P機能を利用するか設定します。
- **Androidビーム**: Androidビームを利用したデータ通信ができます。
 - ・ Androidビームについては P.69「Androidビーム」

テレビ(ワンセグ)

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。「ワンセグ」サービスの詳細については、以下のホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会: <http://www.apab.or.jp/>

■ ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。

データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。

「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者(放送局)などが用意したサイトに接続して表示します。

「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。

サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要な場合があります。

■ 放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、携帯電話サービスとは異なる電波(放送波)を受信しています。そのため、携帯電話サービスの圏外/圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、以下のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビル影など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

■ 受信状態をよくするには

端末の向きを変えたり、人体から離したり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

また、市販のイヤホンマイクを接続してご利用になると、より良い受信状態でワンセグの視聴/録画をお楽しみいただけます。

チャンネルリスト作成

テレビを利用するには、あらかじめチャンネルリストを作成し、チャンネルリストを1つ選択しておく必要があります。

- チャンネルリストは3件まで登録できます。また、1つのチャンネルリストには放送局を12件まで登録できます。
- チャンネルリスト作成は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で行ってください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [テレビ]

- チャンネルが設定されていない場合のみ、チャンネルリスト作成画面が表示されます。
- チャンネルリストを追加するとき: ワンセグ視聴画面で [:] ▶ [チャンネル設定] ▶ [チャンネルリスト編集] ▶ [作成]

2 項目を選ぶ

- **地域を選んで作成:** 地域ごとに割り当てられている放送局を検索します。
- **チャンネルを探して作成:** 現在地で受信できるチャンネルを検索します。

3 [完了]

- 海外では、放送形式や放送の周波数が異なるためワンセグを利用できません。

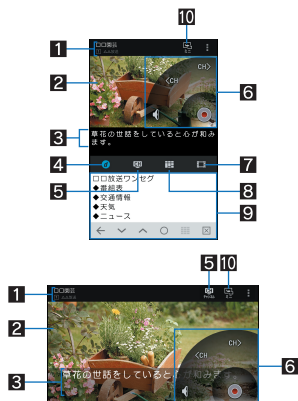
テレビ視聴

ワンセグを視聴します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [テレビ]

2 ワンセグを視聴する

- 音量調節: [(+) / (-)]



1 番組情報

- 番組名や放送局名が表示されます。

2 映像

- タッチするとコントローラーなどの表示/非表示を切り替えます。
- 左右にフリックするとUP/DOWN選局ができます。

3 字幕

4 データ放送キー

- データ放送を表示します。

5 チャンネル切替キー

- チャンネル切替画面を表示します。

6 コントローラー

- 表示されるキーで次の操作ができます。
 - ・UP/DOWN選局: [↑] / [↓] ※1
 - ・消音/消音解除: [🔇] / [🔊] ※2
 - ・録画開始/停止: [📺] / [📺]
- ※1 ロングタッチするとサーチ選局になります。
- ※2 ロングタッチすると音量バーを表示します。ドラッグすると音量調節ができます。

7 録画ファイル一覧キー

- 録画ファイル一覧を表示します。

8 番組一覧キー

- 視聴放送局の番組一覧を表示します。
 - ・番組をタッチすると番組詳細画面が表示されます。番組詳細画面から、視聴/録画予約することもできます。

9 情報表示エリア

- データ放送/サイト表示中は操作キーが表示されます。

10 ミニテレビ

- ミニテレビに切り替えます。他のアプリを使用しながらワンセグの視聴ができます (P.29「ミニアプリ/ミニウィジェット」)。

- ワンセグ視聴時には、通常時に比べて画面の色が変わることがあります。
- ワンセグ起動中にホーム画面を表示してもワンセグは起動状態となるため、データ放送/データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。
- 視聴中に着信があった場合は、通話終了後に視聴を再開します。録画中の場合は、録画はバックグラウンドで継続されます。
- ミニテレビ利用中に他のアプリを使用して動画を再生した場合、動画が正しく表示されないことがあります。

録画

ワンセグを録画し、本体メモリに保存することができます。

- 受信状態の良い場所で録画してください。

ビデオの保存件数と録画時間の目安

保存先	保存件数	録画時間
本体メモリ	最大99件	最長約2100分

- microSDカードには録画できません。
- 1回あたりの録画サイズ/録画時間は最大約2GB/最長約600分です。本体メモリに空き容量があっても、最大録画サイズ/最長録画時間になると、それまで録画したビデオを保存して録画を終了します。
- 本体メモリの空き容量がなくなったときは、自動的に録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

1 ワンセグ視聴画面で [📺]

2 録画時間を選ぶ

- 設定した録画時間が経過すると、録画を終了し自動的に映像が保存されます。
- 録画の終了: [📺] ▶ [OK]
 - ・自動的に映像が保存されます。

- 番組によっては、録画が禁止されていることがあります。

- ワンセグ録画中に録画予約を設定した時刻になると、録画予約が優先されます。それまでのワンセグ録画は終了し、映像が保存されます。

録画再生

本体メモリに保存されたビデオを再生します。

- ビデオ再生画面の操作は、ワンセグ視聴画面の操作と基本的な部分は同様です。ここでは、異なる部分を説明します。

1 ワンセグ視聴画面で[録画]

2 ビデオを選ぶ

- 録画したビデオの削除:ビデオをロングタッチ▶[🗑️]▶[OK]

3 ビデオを視聴する



1 コントローラー

- 表示されるキーで次の操作ができます。
 - ・一時停止/再生: [⏸️] / [▶️]
 - ・早戻し/早送り: [⏮️] / [⏭️] ※1
 - ・約5秒前の位置にバック/約15秒先の位置にスキップ: [⏪️] / [⏩️]
 - ・消音/消音解除: [🔇] / [🔊] ※2
 - ・先頭から再生: [🔁] ※3
- ※1 タッチするたびに、再生速度が切り替わります。
※2 ロングタッチすると音量バーを表示します。ドラッグすると音量調節ができます。
※3 再生完了時に表示されます。

- ビデオ再生時は録画されたデータ放送も表示することができます。

テレビリンク

データ放送によっては、メモ情報や関連するサイトのURLをテレビリンクとして登録できます。テレビリンクに登録すると、テレビリンク画面からメモ情報やサイトを表示できます。

- テレビリンクは50件まで登録できます。
- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

1 ワンセグ視聴画面で[録画]▶[TVリンク]

- 登録したテレビリンクを表示します。

2 テレビリンクを選ぶ

■ テレビリンクの削除

1 ワンセグ視聴画面で[録画]▶[TVリンク]

2 テレビリンクをロングタッチ▶[🗑️]▶[OK]

視聴／録画予約

ワンセグの視聴や録画を予約できます。また、予約の状態や結果などを確認できます。

- 受信状態の良い場所で録画してください。
- 視聴予約・録画予約合わせて30件まで登録できます。
- 複数の番組を同時に視聴・録画することはできないため、予約の日時が重複すると、登録確認画面が表示されます。内容を確認し、登録を行ってください。

1 ワンセグ視聴画面で[録画]▶[予約一覧]

- 予約の削除:予約を選ぶ▶[🗑️]▶[OK]
- 予約結果一覧の表示:[視聴／録画予約]▶[録画予約結果]

2 [予約]

3 各項目を設定



1 予約の種類

- 予約の種類を切り替えます。

2 タイトル

- タイトルを入力します。

3 放送局名

- 放送局を設定します。

4 開始日

- 開始日を設定します。

5 開始時刻

- 開始時刻を設定します。

6 繰り返し

- 予約の繰り返しについて設定します。

7 終了時刻

- 終了時刻を設定します。

4 [完了]

- 端末の使用状況や本体メモリの空き容量、番組の種類などにより、視聴・録画ができなかったり、途中で録画を終了したりする場合があります。

ワンセグの設定

データ放送やワンセグの自動終了時間などについて設定できます。

1 ワンセグ視聴画面で[ⓘ]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- **コントローラー表示位置**: コントローラーを左右どちらに表示するか設定します。
- **サウンド設定**: 音質について設定します。
- **データ放送設定**: データ放送について設定します。
- **アラーム設定**: 予約番組の開始時のアラームについて設定します。
- **オフタイマー設定**: ワンセグを自動的に終了するまでの時間を設定します。
- **製品情報**: アプリのバージョンやプライバシーポリシーを確認できます。

[データ放送設定]について

- [通信接続時の確認]を無効にすると、データ放送の確認画面が表示されなくなり、データ放送/データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。

[オフタイマー設定]について

- ワンセグ録画中に設定した時刻になると、録画終了の確認画面が表示されます。

■ 音声/字幕の設定

ワンセグ視聴中に字幕を表示させたり、音声言語を変更したりすることができます。

- 番組によって、各機能の有無は異なります。

1 ワンセグ視聴画面で[ⓘ]▶[音声/字幕設定]

2 項目を選ぶ

- **音声切替**: 音声言語を設定します。
- **音声多重切替**: 主音声/副音声について設定します。
- **字幕切替**: 表示する字幕について設定します。

SHカメラ

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- 電池残量が少ないときは、撮影できません。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとする、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうことがありますので、ご注意ください。
- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。
- [フォーカス設定]を切り替えるとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なることがあります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがつかないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるとことがあります。
- 撮影した静止画は、DCF 1.0準拠(Exif Ver.2.3、JPEG準拠)の形式で保存されます。
- ワンセグ動作中はカメラをご利用になれません。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■ カメラを使用中の動作について

- 起動中に約3分間何も操作しないと自動的に終了します。
- シャッター音の音量は変更できません。

■ カメラの撮影サイズ

- 設定できる撮影サイズは次のとおりです。

撮影モード	撮影サイズ
静止画撮影	4K2K:3840×2160※ ¹
	FULL HD:1920×1080※ ¹
	13M:4128×3096※ ¹
	3.7M:2560×1440※ ²
	5M:2592×1944※ ²
	3M:2048×1536※ ¹
	VGA:640×480
動画撮影	4K2K:3840×2160※ ¹
	FULL HD:1920×1080
	HD:1280×720
	VGA:640×480
	QVGA:320×240

※¹ アウトカメラのみ設定できます。

※² インカメラのみ設定できます。

■ 撮影画面の見かた



1 設定アイコン表示エリア

- 表示されるアイコンをタッチすると設定を変更できます。

2 撮影可能枚数

- 撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。
- 撮影をしても表示が変わらない場合があります。

3 イン/アウトカメラ切替

- インカメラ/アウトカメラを切り替えます。
- インカメラ利用時は、一部の機能の利用や設定の変更ができません。

4 モバイルライト

- モバイルライトの設定を切り替えます。

5 撮影モード

- 撮影モードを切り替えます(「P.46「撮影モードの切替」)。

6 動画撮影

7 静止画撮影

8 アルバム/サムネイル

- アルバムの起動、または直前に撮影した静止画や動画が表示されます。

静止画の撮影

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]

2 本端末のカメラ(アウトカメラ)を被写体に向ける

- 明るさの調整:上下にスライド
- ズーム:左右にスライドまたはピンチアウト/ピンチイン
・最大倍率(ズームの段階)は約8.0倍(90段階)です。
- フォーカスロック:被写体をタッチ
・フォーカスマーク以外をタッチすると解除されます。
・フォーカス設定が[AF OFF]に設定されている場合は、フォーカスロックできません。

3 [⊕]/[+] / [⇐] / [⇨]

- フォーカスロックをしている場合、フォーカスマークをタッチしても撮影できます。
- [⊕]をロングタッチ、または[+] / [⇐]を1秒以上押すと、静止画を連続撮影することができます。

- フォーカスロックは、主に被写体の色をもとに移動を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

動画の撮影

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]

2 本端末のカメラ(アウトカメラ)を被写体に向ける

- 明るさの調整:上下にスライド
- ズーム:左右にスライドまたはピンチアウト/ピンチイン
・最大倍率(ズームの段階)は約8.0倍(90段階)です。

3 [□]

- フォーカスロック:被写体をタッチ
・フォーカスマーク以外をタッチすると解除されます。
・フォーカスマークをタッチすると静止画が撮影されます。
・フォーカス設定が[AF OFF]に設定されている場合は、フォーカスロックできません。

4 [⊕]

- フォーカスロックは、主に被写体の色をもとに移動を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

カメラの設定

- 利用中の撮影モードなどによって、各機能の有無は異なります。

■ 静止画撮影の設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[SHカメラ]

2 [⋮]

3 [写真]

4 項目を選ぶ

- **写真サイズ**:静止画の撮影サイズを切り替えます。
- **フレーミングアドバイザー**:撮影時のシーンに応じて、構図の分割線やガイドの種類を切り替えます。
- **HDR**:逆光などコントラストが強いシーンで、白とびを軽減して撮影するか設定します。
- **Night Catch**:暗いシーンを明るく撮影するか設定します。
- **ISO感度**:撮影場所の明るさに合わせて、光を取り込む感度を設定します。
- **シャッターモード**:フォーカス設定を[顔優先AF]に設定している場合、被写体が笑ったときや、振り向いたときに自動で撮影するか設定します。

- **ワンタッチシャッター**:画面をタッチして撮影するか設定します。

【ISO感度】について

- 高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、静止画は粗くなります。

■ 動画撮影の設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHカメラ]

2 [⋮]

3 [動画]

4 項目を選ぶ

- **動画サイズ**:動画の撮影サイズを切り替えます。
- **NightCatch**:暗いシーンを明るく撮影するか設定します。
- **マイク設定**:マイクを利用するか設定します。

■ 静止画撮影／動画撮影の共通設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHカメラ]

2 [⋮]

3 [共通]

4 項目を選ぶ

- **ホワイトバランス**:撮影場所の光源に合わせて色調補正を設定できます。
- **フォーカス設定**:被写体に合わせてフォーカスを設定します。
 - ・ [顔優先AF] を設定している場合は、人の顔を検出します。
- **タイマー**:タイマーをセットし自動で撮影するか設定します。
 - ・ インカメラ利用時に [⏱] / [⏱] / [⏱] をタッチすると、タイマーをセット／解除できます。
- **ちらつき防止**:蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にしま模様が出にくくなるように設定します。
- **保存先設定**:保存先を設定します。
- **位置情報付加**:位置情報を付加するか設定します。
- **ヘルプ**:撮影画面に表示されるアイコンの機能やタッチパネルの操作、機能の使いかたについて確認することができます。
- **機能紹介**:「体験しよう!」で使いかたの動画を確認することができます。
- **設定リセット**:設定をリセットします。

■ 撮影モードの切替

撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHカメラ]

2 [⊖]

3 項目を選ぶ

- **おまかせオート**:被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
- **マニュアル**:被写体に合わせて撮影の設定を調整できるモードです。
- **ハイスピード録画**:ハイスピード録画で動画を撮影するモードです。撮影した動画は、アルバムで確認することができます(※P.47「ハイスピード動画の再生」)。
- **タイムラプス**:一定の間隔をあけて撮影した静止画をつなげて動画を作成します。
- **モノクロ**:モノクロ撮影するモードです。
- **銀残し**:暗部を暗く、コントラストを強調して撮影するモードです。

- **背景ぼかし**:近くの被写体にピントを合わせ、背景をぼかした写真を撮影します。

- **読取カメラ**:読取カメラを起動します。

- ・ 利用するにはアプリをダウンロードする必要があります。

- **手鏡**:インカメラを利用して、手鏡のように自分を映します(撮影はできません)。

- ・ 手鏡を利用中に画面をタッチすると、画面が一時停止します。再度画面をタッチすると、一時停止は解除されます。

- **SH-SHOW**:シャープのサイトに接続し、カメラを活用するためのアプリをダウンロードできます。

- ・ 画面上部には、最近使用した撮影モードのアイコンが表示されます。アイコンをタッチして撮影モードを切り替えることもできます。

アルバム

画像や動画をイベントや場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [アルバム]

2 [≡] ▶ カテゴリを選ぶ

3 データを選ぶ

- ・ データの削除:データをロングタッチ ▶ [削除] ▶ [はい]

4 データを確認する

- ファイルが表示されない場合は、アルバムのデータベースファイルを削除することで正常に動作する可能性があります。端末とパソコンをmicroUSBケーブル(別売)で接続して、本体メモリまたはmicroSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥PM¥DATABASEフォルダを削除してから使用してください。データベースファイルを削除した場合、作成されたイベントや場所などの情報も削除されます。十分に確認の上、操作してください。

データの振り分け

画像や動画を作成したグループごとに整理できます。

■ イベントごとに振り分け

1 アルバム画面で [≡] ▶ [イベント]

2 [未設定]

3 [📁] ▶ [イベントを新規作成]

4 分類するデータを選ぶ ▶ [作成]

5 [イベント名を入力する] ▶ イベント名を入力 ▶ [OK] ▶ [作成]

■ 場所ごとに振り分け

- 位置情報の付加されているデータは、自動的に地図上に振り分けられます。

1 アルバム画面で [≡] ▶ [場所]

2 [📍] ▶ [場所設定]

3 分類するデータをロングタッチ ▶ 登録する位置までドラッグ ▶ [OK]

ハイスピード動画の再生

ハイスピード録画で撮影した動画を、なめらかに再生したりスローで再生することができます。ハイスピード録画で撮影した動画のサムネイルには「120fps」/「210fps」が表示されています。

■ハイスピード動画のなめらか再生

- ハイスピード録画で撮影した動画は、本端末にあらかじめインストールされているプレーヤーで再生してください。他のプレーヤーやパソコンなどでは、正しく再生できない場合があります。
- あらかじめ利用するアプリの[高速液晶表示]をONにしておいてください(「P.58」アプリ)。

1 アルバム画面でデータを選ぶ

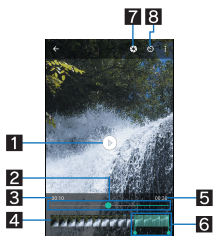
2 [⏪]

- アプリ選択画面が表示された場合は、本端末にあらかじめインストールされているプレーヤーの中から、利用するアプリを選択してください。

■ハイスピード動画のスロー再生

1 アルバム画面でデータを選ぶ

2 [SLOW]



1 再生/一時停止

2 シークバー

- スロー再生範囲に設定した部分が緑色で表示されます。

3 再生時間

4 サムネイル

5 総再生時間

6 スロー再生範囲

- 一時停止中に表示されます。
- サムネイルをタッチするとスロー再生範囲を追加できます。
- [△]をドラッグするとスロー再生する範囲を変更できます。

7 静止画キャプチャー

- タッチすると表示中の映像を静止画として保存します。

8 スロー速度変更

エキスポート

スロー再生範囲がスローになる動画として保存します。保存した動画は、他のプレーヤーで再生できます。

1 スロー再生画面で[⋮]▶[エキスポート]

2 項目を選ぶ

- 動画全体をエキスポート**:動画全体をエキスポートします。
- スロー範囲をエキスポート**:スロー再生範囲をエキスポートします。
- スロー再生範囲が複数ある場合、最初のスロー再生範囲から最後のスロー再生範囲までが、通常の再生部分も含めてエキスポートされます。

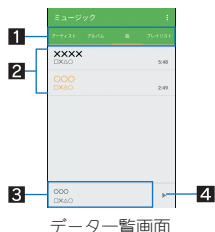
ミュージック

本体メモリまたはmicroSDカードに保存された音楽データやプレイリストを再生します。

- 再生できる音楽データのファイル形式は次のとおりです。
AAC LC、AAC+、enhanced AAC+、enhanced low delay AAC、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM/WAVE、Opus

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[ミュージック]

2 音楽データを選ぶ



1 カテゴリ

- 選択したカテゴリのデータが表示されます。

2 音楽データ表示エリア

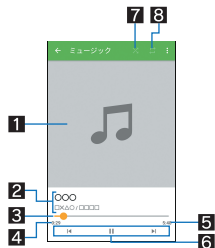
- 音楽データをロングタッチ▶[着信音に設定]で着信音に設定できます。

3 再生/一時停止中の音楽

4 再生/一時停止中アイコン

3 音楽を聴く

- 音量調節: [(+)]/[(-)]



1 ジャケット画像

2 曲名/アーティスト名/アルバム名

3 シークバー

- シークバーをドラッグすると再生位置を変更できます。

4 再生時間

5 総再生時間

6 操作パネル

- 表示されるキーで次の操作ができます。
- 前/次のデータを再生: [◀]*/[▶]
- 再生/一時停止: [▶]/[⏸]
- ※再生経過時間が約2秒未満:前のデータを再生
再生経過時間が約2秒以上:頭出し

7 シャッフル

8 リピート

- [1]が重なって表示されている場合は、1曲のみをリピート再生します。

プレイリストの管理

■プレイリストの作成

1 データー一覧画面で音楽データをロングタッチ▶[プレイリストに追加]▶[新規]

2 プレイリスト名を入力▶[保存]

■プレイリスト名の変更

1 データー一覧画面で[プレイリスト]▶プレイリストをロングタッチ▶[名前を変更]

2 プレイリスト名を入力▶[保存]

■プレイリストに音楽データを追加

1 データー一覧画面で音楽データをロングタッチ▶[プレイリストに追加]

2 プレイリストを選択

■プレイリスト内の音楽データの削除

1 データー一覧画面で[プレイリスト]▶プレイリストを選ぶ

2 音楽データをロングタッチ▶[プレイリストから削除]

■プレイリストの削除

1 データー一覧画面で[プレイリスト]▶プレイリストをロングタッチ▶[削除]

GPS／ナビ

マップを利用して、ストリートビューを表示したり、ルートの検索をしたりできます。また、表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することもできます。

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります(☞P.59「位置情報」)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
 - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
 - 建物の中や直下
 - 地下やトンネル、地中、水中
 - 高圧線の近く
 - 自動車や電車などの室内

- 大雨や雪などの悪天候
- かばんや箱の中
- 端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
- GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得し、パケット通信料がかかる場合があります。
- 位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。

マップ

現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります(☞P.59「位置情報」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示▶「Google」フォルダを選ぶ▶[マップ]

2 マップを利用する

- 地図を回転: 1本の指でタッチパネルに触れたまま、別の指で回転したい方向に地図を動かす
- 立体的に表示: 2本の指で同時に上にスライド
- 現在地の測位: [○]

■ストリートビュー

1 マップ画面で任意の場所をロングタッチ

2 表示される画像をタッチ

- 表示する方角の変更: 画面を上下左右にスライド
- 表示する場所の移動: 矢印をタッチ
- コンパスモード: [⊗]

- ストリートビューは対応していない地域もあります。
- コンパスモードを利用すると、端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。

■ルートの検索

出発地から目的地までのルートを検索することができます。

1 マップ画面で[📍]

2 移動手段を選ぶ▶上の検索ボックスをタッチ

- 現在地を測位している場合は、現在地が入力されています。

3 出発地を入力

4 下の検索ボックスをタッチ

5 目的地を入力

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■周辺施設の検索

表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することができます。

1 マップ画面で検索ボックスをタッチ

2 検索したい施設のジャンルを選ぶ

- 検索ボックスに検索する場所を入力しても検索できます。

3 検索結果を利用する

- 詳細情報の表示: 住所/地名/施設名などを選ぶ

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ 「Google」フォルダを選ぶ ▶ [YouTube]

2 動画を選ぶ

- 検索ボックスの表示: [🔍]

アラーム・時計

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。

アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

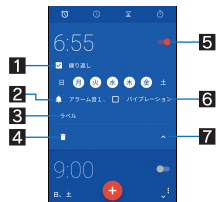
1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [アラーム・時計] ▶ [🕒]

2 登録先の時刻をタッチ

- 登録先の追加: [➕]

3 時刻を選ぶ ▶ [OK]

4 各項目を設定



1 繰り返し

- 繰り返しを設定します。

2 アラーム音

- アラーム音を設定します。

3 ラベル

- ラベルを入力します。

4 削除

- アラームを削除します。

5 アラームON/OFF

- アラームの有効/無効を切り替えます。

6 バイブレータ設定

- バイブレータを利用するか設定します。

7 表示切替

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。

- 通話中にアラーム設定時刻になると、相手の声と一緒に通知音が聞こえます。

■アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に[🔕]を[🔕]までスライド

- スヌーズの利用: [🔕]を[🔕]までスライド

ディスプレイの表示中に止める

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にアラーム設定時刻になると、アラーム通知が表示されます。通知を利用してアラームを止めることができます。

1 アラーム鳴動中に[解除]

- スヌーズの利用: [スヌーズ]

■アラーム音量の設定

1 アラーム画面で[🔊] ▶ [設定]

2 [アラームの音量] ▶ 音量を調節

世界時計

世界各地の都市の時刻を表示できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [アラーム・時計] ▶ [🌐]

2 [🌐]

3 都市を選ぶ

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [アラーム・時計] ▶ [⌚]

2 時間を入力 ▶ [🕒]

- 時間を1分追加: [+1']
- カウントダウンの停止: [🛑]
- カウントダウンのリセット: [🔄]
- 設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。
 - アラーム音の停止: [🔕]

■名称の変更

1 タイマー画面で[ラベル]

2 名称を入力 ▶ [OK]

■タイマーの追加

1 タイマー画面で[⊕]

■タイマーの削除

1 タイマー画面で[🗑️]

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用して時間を計測します。ラップタイム(経過時間)/スプリットタイム(合計経過時間)も計測できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [アラーム・時計] ▶ [🕒]

2 [🕒]

- ラップタイム/スプリットタイムの計測: [🕒]

3 [🕒]

- 計測結果のリセット: [🔄]

- ラップタイム/スプリットタイムの履歴を98件まで記憶できます。

カレンダー

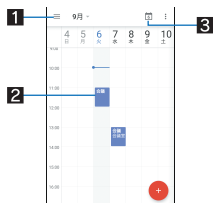
カレンダーを利用してスケジュールの管理ができます。

- あらかじめ、アカウント設定をしておいてください(P.23「Googleなどのアカウントの設定」)。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [カレンダー]

- 初回起動時には説明画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 スケジュールを確認する



1 表示切替

- カレンダーの表示方法を切り替えます。

2 登録されているスケジュール

- 今日を表示

スケジュールの作成

1 カレンダー画面で[+] ▶ [予定]

2 各項目を設定



1 タイトル、参加者、場所など

2 カレンダー

- カレンダーのオーナーを設定します。

3 終日

- 終日設定を切り替えます。

4 開始日時

5 終了日時

6 詳細オプション

- 予定のタイムゾーンや、繰り返しを設定します。

7 場所

8 通知

- 開始日時のどのくらい前に通知するかを設定します。
- [別の通知を追加] をタッチすると、通知の設定を追加できます。

9 ユーザーを招待

- 招待する相手のメールアドレスを入力します。

10 予定の色

- 予定の色を設定します。

11 メモを追加

12 添付ファイルを追加

3 [保存]

カレンダーの設定

1 カレンダー画面で[≡] ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- 全般: カレンダー全般について設定します。
- Gmailから予定を作成: Gmailで予定に関するメールを受信すると、自動的にスケジュールを追加するか設定します。
- カレンダーを選ぶと、予定の色や通知のデフォルトについて設定できます。

スケジュールの削除

1 カレンダー画面でスケジュールを選ぶ

2 [⋮] ▶ [削除] ▶ [OK]

メモ帳

メモ帳に登録する

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メモ帳]

2 [新規作成]

3 内容を入力 ▶ [保存]

メモ帳を確認する

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [メモ帳]

2 メモを選ぶ

■ メモを編集する

1 メモ帳表示画面で[編集]

2 内容を編集 ▶ [保存]

■ メモを削除する

1 メモ帳表示画面で[削除] ▶ [はい]

■ メモを選んで削除する

1 メモ帳一覧画面で[選択削除]

2 メモを選ぶ ▶ [削除] ▶ [はい]

■ メモを送信する

1 メモ帳一覧画面で[送信] ▶ 送信方法を選ぶ

2 メモを選ぶ ▶ [送信] ▶ [はい]

- アプリが起動します。

- メモ帳表示画面で[送信] ▶ 送信方法を選ぶ ▶ 画面の指示に従って操作しても送信できます。

■ メモを検索する

1 メモ帳一覧画面で[:] ▶ [メモ検索] ▶ キーワードを入力 ▶ [検索]

2 メモを選ぶ

■文字サイズを変更する

- 1 メモ内容入力画面／メモ帳一覧画面／メモ帳表示画面で[:] ▶ [文字サイズ設定] ▶ 文字サイズを選ぶ

■メモをメール本文へ挿入する

- 1 メモ帳表示画面で[送信] ▶ [メール本文へ挿入]
- 2 画面の指示に従って操作

■メモをテキストデータに変換する

- 1 メモ帳表示画面で[:] ▶ [txtに変換] ▶ [OK]
 - 変換したテキストデータは、コンテンツマネージャーの「Doc.」から確認することができます。

■電卓

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電卓]
- 2 計算する
 - 計算結果のコピー：計算結果をロングタッチ ▶ [コピー]

● 電卓がバックグラウンドで動作している場合、計算結果や履歴情報が削除されることがあります。

■SHツール

歩数計や辞書など、便利な機能を利用することができます。

- AV家電リンクについては、P.71「AV家電リンクのご利用にあたって」
- コンテンツマネージャーについては、P.66「コンテンツマネージャー」
- ボイスレコーダーや読取カメラをはじめご利用される際には、アプリをダウンロードする必要があります。
- 読取カメラはダウンロードしても、アプリシートにアイコンは表示されません。SHツールやSHカメラから起動してください。

■歩数計

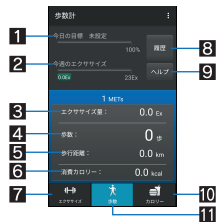
歩数や歩行距離、消費カロリーなどを記録することができます。歩数の履歴をグラフで表示して、時間別などで比較することもできます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHツール] ▶ [おすすめ] ▶ [歩数・消費カロリー計]
- 2 [はい]
- 3 [ユーザー情報]
 - お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。
- 4 暗証番号を入力 ▶ [OK]
- 5 各項目を設定 ▶ [OK]
- 6 [歩数計ON] ▶ [OK]
 - 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
 - 歩数計の表示は、1日に一度リセットされます。

■歩数測定時のご注意

- 次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。
 - 端末が不規則に動く場合
 - 端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
 - 端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
 - 不規則な歩行をした場合
 - すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
 - 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
 - 上下運動や振動の多いところで使用した場合
 - 立ったり座ったりしたとき
 - スポーツを行ったとき
 - 階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
 - 乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れしているとき
 - スピーカーから音が出ているとき
 - パイプレータが振動しているとき
 - 極端にゆっくり歩いた場合
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。
- 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

■歩数計画面の見かた



- 1 目標達成率(目標設定時のみ有効)
- 2 今週のエクササイズ(身体活動)量
- 3 今日のエクササイズ(身体活動)量
- 4 今日の歩数
- 5 今日の歩行距離
- 6 今日の消費カロリー
- 7 エクササイズモード
- 8 歩数履歴
 - タッチしたあと、画面下部の[時間別]／[日別]／[週別]／[月表示]をタッチすると、表示が切り替わります。
- 9 ヘルプ
- 10 カロリーモード
- 11 歩数モード

■歩数計の停止

- 1 歩数計画面で[:] ▶ [歩数計設定]
- 2 [歩数計ON]

■ユーザー情報の変更

- 1 歩数計画面で[:] ▶ [歩数計設定]
- 2 [ユーザー情報]
- 3 暗証番号を入力 ▶ [OK]
- 4 各項目を設定

■ 歩数計リセット時刻設定

- 1 歩数計画面で[⋮] ▶ [歩数計設定]
- 2 [歩数計リセット時刻設定]
- 3 時刻を入力 ▶ [設定]

■ 目標設定

- 1 歩数計画面で[⋮] ▶ [目標設定]
- 2 各項目を設定

■ データリセット

- 1 歩数計画面で[⋮] ▶ [データリセット] ▶ [はい]

■ 累積データの確認

- 1 歩数計画面で[⋮] ▶ [累積データ]

辞書

■ 内蔵辞書

内蔵されている辞書を利用して、単語の意味を調べることができます。

- お買い上げ時は、次の電子辞書が内蔵されています(電子化の都合上、書籍とは一部異なる場合があります)。

■ 「明鏡国語辞典MX 第二版」

©KITAHARA Yasuo and Taishukan, 2012

■ 「ジーニアス英和辞典MX 増補版」

©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012

■ 「ジーニアス和英辞典MX 第2版」

©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHツール] ▶ [辞書]

- 2 [国語辞典] / [英和辞典] / [和英辞典]

- 3 語句を入力 ▶ 単語を選ぶ

- 文字を入力するたびに、該当する単語の候補が表示されます。
- 別の単語を検索:[ひきなおす]
 - ・ このあと、語句を入力して調べ直してください。
- 履歴の確認:[履歴] ▶ 履歴を選ぶ
- 単語カードに追加:[単語カード追加]
- 単語カードの確認:[単語カード] ▶ 単語カードを選ぶ

■ 単語テスト

- 1 内蔵辞書画面で[単語テスト]

- 2 件数を選んで、テスト開始

- 3 [解答へ] / [次へ]

- テストを途中で終了:[終了]

- 4 テストが終了したら、[終了する] / [もう一度]

■ ネット辞書

サイト上の辞書を利用して、単語の意味などを調べることができます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHツール] ▶ [辞書]

- 2 [ネット辞書]

- 3 語句を入力 ▶ [検索] ▶ 検索結果を選ぶ

- 別の単語を検索:[ひきなおす]
 - ・ このあと、語句を入力して調べ直してください。
- 履歴の確認:[履歴] ▶ 履歴を選ぶ

設定メニュー

ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] で表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

- 端末設定を表示中に [Q] ▶ 検索するキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。

プロフィール	nanoSIMカードをご使用の場合は、お客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。
音と通知	マナーモードや着信音・お知らせ音などについて設定します。
ヒカリエモーション	着信／充電ランプが点滅するタイミングを設定します。
壁紙とディスプレイ	画面表示などについて設定します。
省エネ&バッテリー	エコ技設定の起動や電池の利用状況の確認などを行います。
ホーム切替	ホームアプリを切り替えます。
通話	簡易留守録や発信制限など、通話について設定します。
ストレージとUSB	本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。
便利機能	エモバーやClip Now、クリップマジック、モーションでON/OFF、フリップカバー使用時の表示に関する設定、セルフチェックを行います。
アプリ	アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどができます。
メモリ	メモリの使用状況を確認します。
タップ&ペイ	おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効／無効の設定ができます。
Wi-Fi	Wi-Fi機能について設定します。
Bluetooth	端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。
データ使用量	モバイルネットワーク経由のデータ通信量を測定し、グラフで表示します。
もっと見る	無線とネットワークについて、その他の機能の設定を行います。
位置情報	位置情報の測位について設定します。
ロックとセキュリティ	セキュリティロックについて設定します。
言語と入力	画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。
バックアップとリセット	Googleアカウントによるデータのバックアップや端末間のデータ引き継ぎ、オールリセットなどを行います。
アカウント	アカウントの追加や設定、データの同期について設定します。
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。
日付と時刻	日時の設定や表示形式について設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
印刷	印刷用アプリ(プラグイン)をインストールすると、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。

プロフィール

nanoSIMカードをご使用の場合は、お客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [プロフィール]
- 2 [編集]
- 3 各項目を設定 ▶ [保存] ▶ [はい]

音と通知

マナーモードや着信音・お知らせ音などについて設定します。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [音と通知]
- 2 項目を選ぶ
 - マナーモード設定: マナーモード設定についてはP.54「マナーモード設定」
 - メディアの音量: メディア音(音楽や動画、ワンセグなど)の音量を設定します。
 - アラームの音量: アラームの音量を設定します。
 - 着信音の音量: 着信音の音量を設定します。
 - エモバーの音量: エモバーの音量を設定します。
 - 着信音: 着信音を設定します。
 - 着信時のバイブ: 着信時にバイブレータを動作させるか設定します。
 - 通知を非表示: 優先する通知や、特定の時間帯などの通知動作について設定します。
 - 通知音: お知らせ音を設定します。
 - 通知音の鳴動時間: お知らせ音の鳴動時間を設定します。
 - その他の音: 特定のキー操作時などのバイブレータ動作や、メニューなどをタッチしたときの操作音の有無などを設定します。
 - 端末がロックされているとき: タッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。
 - アプリの通知: 通知の表示/非表示や優先度を、アプリごとに設定します。
 - 通知へのアクセス: 通知にアクセスできるアプリを確認できます。
 - [通知を非表示]へのアクセス: [通知を非表示]にアクセスできるアプリを確認できます。

[通知を非表示]について

- 設定項目は次のとおりです。
 - 優先する通知のみを許可: 優先する通知を設定します。
 - ・ マナーモードの[優先する通知のみ]を設定した場合などは、本設定に従って着信音やお知らせ音を鳴らします。
 - ・ アラームは常に優先する通知となり、設定の変更はできません。
 - 自動ルール: 特定の時間帯や予定期間の通知動作について設定します。

[端末がロックされているとき]について

- 設定項目は次のとおりです。
 - すべての通知内容を表示する: ロック画面に通知を表示します。
 - プライベートな通知内容を非表示にする: ロック画面に表示する通知で、相手の電話番号や通知の件数など、詳細を表示しないようにします。
 - ・ 画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しているときに利用できます。
 - 通知をすべて表示しない: ロック画面に通知を表示しないようにします。

マナーモード設定

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [音と通知] ▶ [マナーモード設定]

2 マナーモードの種類を選ぶ

- **通常マナー**: 着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレーションが動作します。アラーム音の鳴動については、「アラーム・時計」アプリの設定に従います。メディア音は鳴ります。
- **サイレント**: 着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレーションも動作しません。アラーム音、メディア音も鳴りません。
- **アラームのみ**: 着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレーションも動作しません。アラーム音、メディア音は鳴ります。
- **優先する通知のみ**: [通知を非表示]の優先する通知の設定に従って、着信音やお知らせ音が鳴ります。その他の動作については、マナーモードを設定していないときと同様です。
- **OFF**: マナーモードを解除します。

- マナーモード設定中も、次の音は鳴ります。
 - 静止画撮影時のシャッター音
 - 静止画撮影時のフォーカスロック音
 - 動画撮影時の開始音/停止音
- 簡易留守録設定が[マナーモード連動]に設定されている場合、マナーモードが設定されているときは簡易留守録が有効になり、簡易留守録の設定に従って動作します。
- 通常マナー設定中に着信音量を上げると、マナーモードは解除されます。マナーモードを設定していないときに着信音量を「0」にすると、通常マナーが設定されます。
- 通常マナーを設定中に[(+) / (-)]を押して音量バーを表示させ、[(←)]を押すとサイレントに設定されます。
- サイレント、アラームのみを設定中に[(+) / (-)]を押して音量バーを表示させ、[(+) を押すと通常マナーに設定されます。

■ 一定時間経過後にマナーモードを自動で解除

ステータスパネルの機能ボタンからマナーモードを設定する場合、一定時間経過後にマナーモードが自動で解除されるように設定することができます。

1 ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグ

2 [マナーモード]

3 マナーモードの種類を選ぶ

4 [-] / [+]

- 解除までの時間を設定します。

5 [完了]

ヒカリエモーション

着信/充電ランプが点滅するタイミングを設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ヒカリエモーション]

2 項目を選ぶ

- **お知らせ通知**: お知らせ受信時に光を点滅させて通知するか設定します。
- **充電開始時**: 充電開始時に光を点滅させるか設定します。
- **ロック解除時**: タッチパネルのロック解除時に光を点滅させるか設定します。

壁紙とディスプレイ

画面表示などについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [壁紙とディスプレイ]

2 項目を選ぶ

- **壁紙**: ホーム画面の画像を設定します。
- **ロック画面のショートカット**: タッチパネルのロック画面から起動するショートカットを設定します。
- **EDGEストエフェクト**: ディスプレイを表示させたときなどに画面の縁に現れる効果について設定します。
- **明るさのレベル**: 明るさのレベルについては P.55「明るさのレベル」
- **バックライト点灯時間**: バックライトの点灯時間を設定します。
- **電源ボタンを2回押してカメラを起動**: (📷) を2回押してカメラアプリを起動するか設定します。
- **画質モード**: 画質について設定します。
- **グローブモード**: 手袋をしたままで画面をタッチして操作できるようにするか設定します。
- **端末が回転したとき**: 端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。
- **文字フォント設定**: 文字サイズやフォントについて設定します。
- **のぞき見ブロック**: のぞき見ブロックについては P.55「のぞき見ブロック」
- **スクリーンセーバー**: スクリーンセーバーを利用するか設定します。
- **電池残量%表示**: ステータスバーに電池残量をパーセントで表示するか設定します。

[バックライト点灯時間]について

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[グローブモード]について

- 手袋の素材によってはタッチ操作ができない場合があります。
- Sweep ON (📱 P.57「ヒカリエモーション」でON/OFF)は、[グローブモード]をONにしても、手袋をしていると利用できません。
- 手袋をしていないときは、[グローブモード]をOFFにしてご利用ください。

[端末が回転したとき]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

[文字フォント設定]について

- Google Playなどでダウンロードしたアプリを起動したときに、正しく表示されない場合があります。

明るさのレベル

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [壁紙とディスプレイ] ▶ [明るさのレベル]

2 項目を選ぶ

- **明るさを自動調整**:バックライトの明るさを自動で調整するか設定します。自動で調整を行わない場合は、手動で明るさを設定してください。
- **充電時は明るくする**:充電中はディスプレイの表示を明るくするか設定します。

3 [OK]

[明るさを自動調整]について

- ディスプレイの明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

のぞき見ブロック

周りの人からディスプレイを見えにくくします。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [壁紙とディスプレイ] ▶ [のぞき見ブロック]

2 項目を選ぶ

- **のぞき見ブロック**:のぞき見ブロックを有効にするか設定します。
- **モーションによる切替え**:ディスプレイ面の上部に約2秒手をかざしてのぞき見ブロックの有効/無効を切り替えられるようにするか設定します。
- **表示パターン**:表示パターンを設定します。
- **強弱設定**:周りの人から見えにくくする効果(濃淡)を調整します。

[のぞき見ブロック]について

- 電源を切ると[のぞき見ブロック]が無効になります。

[モーションによる切替え]について

- 次のような場合に動作することがありますので、ご注意ください。
 - かばんやポケットなどに入れているときにディスプレイ面の上部が覆われた場合
 - ディスプレイ面を伏せて端末を置いた場合
 - ディスプレイ面の上部に物を置いた場合
- 横表示中や通話中など、動作しない場合があります。
- モーションでON/OFFの[ポケットに入れて消灯]が有効の場合、[モーションによる切替え]を有効にすると[ポケットに入れて消灯]は無効になります。

[表示パターン]について

- 周りの人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

省エネ&バッテリー

エコ技設定の起動や電池の利用状況の確認などを行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [省エネ&バッテリー]

2 項目を選ぶ

- **エコ技設定**:エコ技設定についてはP.55「エコ技設定」
- **電池**:電池の利用状況などを確認できます。

- 電池の最適化を行うと、各アプリの電池消費を抑えるため、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。電池の最適化の設定についてはP.30「電池の最適化の設定」

エコ技設定

エコ技を有効にした場合の省エネ効果(ecoレベル)を確認しながら、各種機能の設定を登録します。

エコ技を有効にすると登録した設定が反映され、電池の消費を抑えることができます。また、電池残量や時刻でエコ技に切り替えるよう設定することもできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [省エネ&バッテリー] ▶ [エコ技設定]

2 設定する



1 エコ技

- エコ技に切り替えます。

2 詳細設定

- 省エネさせる機能を個別に設定します。

3 電池残量で切替

- 指定した電池残量になったとき、エコ技に切り替えるか設定します。

4 切替電池残量

- エコ技に切り替える電池残量を設定します。

5 切替時刻

- 指定した時刻になったとき、エコ技に切り替えるか設定します。

- 充電中は省エネに関する設定が一部解除されます。

電池残量で切替によって[エコ技]が有効になったとき

- 切替時刻で設定した時刻になっても[エコ技]は無効になりません。
- 電池残量が切替電池残量以上になったときに[エコ技]は無効になります。
- [電池残量で切替]を無効にしても[エコ技]は無効になりません。

ストレージとUSB

本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量/合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ストレージとUSB]

- 本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量/合計容量が表示されます。
- microSDカードやUSBメモリを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。

2 ストレージを選ぶ

- [内部ストレージ]を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で[フォルダー一覧]を選択すると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードやUSBメモリを選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードやUSBメモリのマウント解除:microSDカード/USBメモリの[▲]

- microSDカードやUSBメモリをマウント: microSDカード/USBメモリを選ぶ ▶ [マウント]

- microSDカードやUSBメモリの取り外しは、マウント解除してから行ってください。

microSDカード/USBメモリのフォーマット

microSDカードやUSBメモリを初期化します。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ストレージとUSB]
- 2 microSDカード/USBメモリを選ぶ ▶ [] ▶ [設定] ▶ [フォーマット] ▶ [消去してフォーマット]
- 3 暗証番号を入力 ▶ [OK]
- 4 [完了]

- 初期化を行うと、microSDカードやUSBメモリの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

microSDカードの暗号化/暗号化解除

microSDカードを暗号化すると、microSDカード内のデータは、暗号化を実施した端末以外では利用できなくなります。

通常のmicroSDカードとして使用するには、暗号化を解除する必要があります。

- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。
- あらかじめ画面ロックを [ロックNo.] または [パスワード] に設定しておいてください。
 - ・ 画面ロックについては P.59 [ロックとセキュリティ]

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ストレージとUSB]
- 2 microSDカードを選ぶ ▶ [] ▶ [設定] ▶ [暗号化]/[暗号化解除] ▶ [確認]
- 3 暗証番号を入力 ▶ [OK]
- 4 [開始]

- microSDカードの空き容量が不足していると、暗号化/暗号化解除を実行できません。
- microSDカードを暗号化した状態でオールリセットを行った場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。オールリセットを行う前に、暗号化解除を行ってください。
- microSDカードを暗号化した端末に、別のmicroSDカードを取り付けた場合、microSDカードは読み取り専用となります。
- 読み取り専用のmicroSDカードは、暗号化することで書き込みが可能となります。
- microSDカードの暗号化/暗号化解除には時間がかかる場合があります。暗号化を実行中は充電を中止したり、microSDカードを取り外したりしないでください。暗号化が中断された場合、microSDカード内のデータが失われる可能性があります。

便利機能

エモバーやClip Now、グループマジック、モーションでON/OFF、フリップカバー使用時の表示に関する設定、セルフチェックを行います。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [便利機能]
- 2 項目を選ぶ
 - エモバー: エモバーについては P.56 [エモバー]
 - Clip Now: Clip Nowについては P.57 [Clip Now]
 - グループマジック: グループマジックについては P.18 [グループマジック]
 - モーションでON/OFF: モーションでON/OFFについては P.57 [モーションでON/OFF]
 - フリップカバー使用時の表示: 小窓付きのフリップカバーを装着している場合、小窓用の画面を表示するか設定します。
 - セルフチェック: セルフチェックについては P.58 [セルフチェック]

[フリップカバー使用時の表示]について

- 画面ロックを [なし] 以外に設定しているときに、小窓用の画面を表示できます。
- 小窓用の画面を使用するときは、[グループモード] をOFFにしてください (P.54 [壁紙とディスプレイ])。

エモバー

あらかじめ登録したお客様の情報やエモバーの設定に基づき、タッチパネルのロック画面でさまざまな情報を音声や画面表示でお伝えします。エモバーの音声にお客様が声で応答すると、エモバーが音声や画面表示で反応します。

また、エモバーに予定などメモしたい内容を話しかけるとエモバーが記憶し、予定にあわせてお伝えします (エモバーメモ)。

お客様の端末使用状況を理解し、より適切なタイミングで情報をお伝えするようになっていきます。

- エモバーをご利用になる場合は、パケット通信料がかかります。
- 自宅や周辺の施設情報などを認識するために、現在地を測位する場合があります。現在地を測位するためには、[位置情報] をONに設定する必要があります。位置情報のモードは [高精度] に設定してください。[位置情報] がOFFのときや、モードが [バッテリー節約] のときは、現在地測位が必要な情報をお伝えできません (P.59 [位置情報])。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [便利機能] ▶ [エモバー]

- ホーム画面にデスクトップシートを表示 ▶ [エモバー] でもエモバーを設定できます。
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定完了後に [] ▶ [あなたについて] で職場・学校や誕生日などを設定することをおすすめします。エモバーがお話する機会や内容のバリエーションが増えることがあります。
- 初期設定が完了している場合はエモバー画面が表示され、エモバーの状態やお客様についての情報が確認できます。

エモパーの設定

1 エモパー画面で[設定]

- エモパーのON/OFFを切り替えることができます。

2 項目を選ぶ

- エモパー選択**:エモパーやエモパーの名前を設定します。また、サイトからエモパーを追加できます。
- 基本動作について**:エモパーの音量やマナーモード中の動作など、基本動作について設定します。
- あなたについて**:ニックネームや自宅、職場・学校など、お客様の情報を設定します。
- エモパーの話題**:エモパーがお伝えする情報を設定します。
- エモパーメモ**:エモパーメモの利用について設定します。
- エモパーの記憶**:エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータの保存や削除、復元ができます。
 - データはmicroSDカードに保存されます。
- 初期設定**:エモパーの初期設定を行います。
- 注意事項**:エモパーバージョンや利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。
- FAQ**:公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「よくある質問(FAQ)」に接続します。

エモパーがお話するタイミング

- あなたについての「自宅」や「自宅のほかにお話できる場所」に設定した場所で、ロック画面表示中や画面消灯中に端末を水平に置いたときなどに話します。
- イヤホンを接続中は、場所や時間帯にかかわらず話します。
- ロック画面表示中に端末を数回(2秒程度)振ると話します。

エモパーメモを利用

エモパーに予定などメモしたい内容を話しかけるとエモパーが記憶し、予定にあわせてお伝えします。

- ロック画面を2回タッチしてから話しかけてください。
 - エモパーメモの「画面消灯時でもメモを起動」を有効にすると、消灯中の画面を2回タッチしてもエモパーメモを利用できます。
- ロック画面では、時計やアイコン、情報などが表示されていないところをタッチしてください。
- 外出先で話しかける場合は、電話をかけるように受話口を耳に当ててください。
- エモパーが記憶したメモは、カレンダーに登録されます。「明日」「今週」、「そろそろ」のような時期を表す単語を含めて話しかけると、メモに合わせたタイミングでエモパーがお伝えします。

- エモパーの初期設定を行うと「歩数計ON」が有効になります(「P.51」歩数計)。
- エモパーが話しているときに「(+)/(-)」を押すと音量を調節できます。
- 午前2:00~午前5:00の間は話しません。
- エモパーは日本語にのみ対応しています。
- エモパーがお伝えする情報は、お客様の端末使用状況と正確には合っていない場合があります。
- イヤホンを接続していない場合、ディスプレイを下にして端末を置いておくと、エモパーは話しません。
- 海外で利用するときは、エモパーのお伝えする情報が制限されます。

公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)について

- エモパーは、使いかたの改善や変更、お話しするバリエーションの増加などを目的に、Playストアからアップデートすることがあります。本書の内容から変更されることがありますので、エモパーに関する情報については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/dash/emopa/sp/index.html>

Clip Now

画面の縁を指でなぞることで表示中の画面を画像(保存用スクリーンショット)として撮影できます。Chrome画面を撮影した場合は、保存用スクリーンショットとあわせてURLも保存することができます。

また、画面を一時的に保存できる一時メモ用スクリーンショットを利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [便利機能] ▶ [Clip Now]

2 項目を選ぶ

- Clip Now ON/OFF設定**:Clip Nowを利用するか設定します。
- 使い方ガイド**:Clip Nowについての説明を表示します。
- なぞり動作設定**:なぞりかたの動作を設定します。
- 全件削除**:撮影した保存用スクリーンショットを全件削除します。

- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

保存用スクリーンショットの利用

1 保存したい画面をディスプレイに表示 ▶ 画面の左上または右上から、画面の縁を横になぞる

- Chrome画面を撮影した場合は、URLも保存されます。保存されたURLは、ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [Clip Now]で確認できます。

一時メモ用スクリーンショットの利用

1 一時的に保存したい画面をディスプレイに表示 ▶ 画面の左上または右上から、画面の縁を下になぞる

- 一時メモの確認:画面の左端または右端に表示される一時メモの一部を画面の中央にドラッグ
- 一時メモの削除:一時メモを「□」までドラッグ

モーションでON/OFF

端末を手を持っているときやポケットに入れたとき、タッチパネルを指でスライドしたときなど、動作によってディスプレイを表示/非表示にする機能について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [便利機能] ▶ [モーションでON/OFF]

2 項目を選ぶ

- Bright Keep**:端末を手を持っているときにディスプレイの表示が消えないようにするか設定します。
- 水平に置いて消灯**:端末を地面に対して水平に近い状態で置いたときに、バックライト点灯時間にかかわらずディスプレイの表示を消すか設定します。
- ポケットに入れて消灯**:端末をポケットに入れたときにディスプレイの表示を消すか設定します。
- Sweep ON**:ディスプレイの表示が消えているときに、タッチパネルを指でスライドしてディスプレイを表示させるか設定します。
- 体験しよう!**:「体験しよう!」で機能を体験したり、使いかたを動画で確認することができます。

[Bright Keep]について

- Bright Keepを設定し、端末を手を持っている、端末の静止状態が続いた場合や、一定時間何も操作していない場合はディスプレイの表示が消える場合があります。
- Bright Keepを「ON(通知あり)」に設定すると、ステータスバーに「☀」が表示されます。

【水平に置いて消灯】について

- Bright Keepが[ON(通知あり)]/[ON(通知なし)]のときに利用できます。
- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

【ポケットに入れて消灯】について

- タッチパネルのロック画面表示中やホームアプリ利用中に動作します。
- のぞき見ブロックの[モーションによる切替え]が有効の場合、[ポケットに入れて消灯]を有効にすると[モーションによる切替え]は無効になります。

【Sweep ON】について

- 手や物などによって近接センサーが覆われている場合、ディスプレイは表示されません。ディスプレイが表示されたあとに近接センサー(ディスプレイ上部)が覆われた場合は、誤動作防止のためタッチ操作ができません。また、端末の設定にかかわらずディスプレイの表示が消える場合があります。

セルフチェック

症状や機能を選択して、端末の診断を行います。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [便利機能] ▶ [セルフチェック]
 - セーフモードで再起動:[セーフモードで再起動] ▶ [OK]
- 2 [チェックスタート]
- 3 [端末の症状から選択]/[端末の機能から選択]
- 4 項目を選ぶ
 - [端末の機能から選択]の場合は、項目を選んで[次へ]をタッチします。また、項目の[●]をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。
- 5 [次へ]
- 6 [診断開始]
 - 診断の中止:[キャンセル] ▶ [次の項目]/[はい]
 - 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

アプリ

アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効/無効の設定、アンインストールなどができます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アプリ]
- 2 アプリを選ぶ

【高速液晶表示】について

- [高速液晶表示]をONにすると、画面表示をなめらかにすることができます。
- アプリによっては効果が得られないことがあります。その場合は、[高速液晶表示]をOFFにしてください。また、電池残量や端末温度によっても、効果が得られない場合があります。
- アプリを起動したまま[高速液晶表示]の設定を変更すると、正常に動作しなくなることがあります。その場合は、一度アプリを終了してください。

■ アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずにアプリシートに表示しないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アプリ]
- 2 アプリを選ぶ
- 3 [無効にする] ▶ [アプリを無効にする]

- アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

■ アプリの有効

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アプリ]
- 2 アプリを選ぶ
- 3 [有効にする]

アプリの設定

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [アプリ] ▶ [⚙️]
- 2 項目を選ぶ
 - **アプリの権限**:アプリの権限についてはP.30「利用する機能について設定」
 - **アプリリンク**:他のアプリなどからの連携について設定します。
 - **既定のアプリ**:電話やSMSなどを行う際に使用するアプリについて設定します。
 - **他のアプリの上に重ねて表示**:使用中の他のアプリの上に重ねて表示することを許可するか設定します。
 - **システム設定の変更**:端末の設定を変更することを許可するか設定します。
 - **電池の最適化**:電池の最適化についてはP.30「電池の最適化の設定」

メモリ

メモリ(RAM)の使用状況を確認します。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [メモリ]
 - 計測時間の変更:時間をタッチ ▶ 時間を選ぶ
 - アプリのメモリ使用状況を表示:[アプリのメモリ使用状況]

タップ & ペイ

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効/無効の設定ができます。

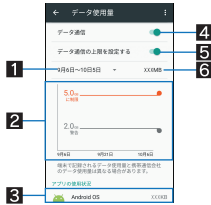
- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [タップ & ペイ]
- 2 サービスを選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

データ使用量

モバイルネットワーク経由のデータ通信量を測定し、グラフで表示します。また、設定した通信量に達したときに警告を表示したり、それ以上データ通信を行わないように設定したりすることができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [データ使用量]

2 データ通信量を確認する



1 データ使用サイクル

- データ通信量の表示をリセットする日を設定します。

2 グラフ

- データ通信量を表示します。
- 警告ラインや制限ラインを設定することができます。

3 データ通信を使用したアプリ

4 データ通信

- データ通信を利用するか設定します。

5 データ通信の上限を設定する

- データ通信量に制限を設け、制限値に達した場合にデータ通信を停止します。
- データ使用量画面で[?] ▶ [バックグラウンドデータを制限する] ▶ [OK]でバックグラウンドで動作しているアプリのデータ通信も制限できます。

6 指定期間内のデータ通信量

もっと見る

無線とネットワークについて、その他の機能の設定を行います。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る]

2 項目を選ぶ

- **機内モード**: 電話やメールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。
- **テザリング**: テザリングについては P.23「テザリング」
- **NFC/おサイフケータイ 設定**: NFC/おサイフケータイ 設定については P.41「NFC/おサイフケータイ 設定」
- **ワイヤレス出力**: ワイヤレス出力については P.71「ワイヤレス出力」
- **ホームネットワーク設定**: ホームネットワーク設定については P.70「ホームネットワーク設定」
- **VPN**: VPNについて設定します。VPNについては P.72「VPNの追加」
- **モバイルネットワーク**: 海外で利用するための設定をします。モバイルネットワークについては P.73「海外で利用するための設定」
- **プロキシ設定**: プロキシ経由でネットワークに接続するように設定します。
- **緊急警報**: 緊急警報について設定します。

[機内モード]について

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合でも、[SIMカードをロック]が有効のときは、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。[SIMカードをロック]が無効のときは、機内モード中でも緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、[機内モード]がOFFになり、発信を行います。
- [機内モード]がONの場合でも、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をONにすることができます。

位置情報

位置情報の測位について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [位置情報]

2 ONにする

- 位置情報の利用についての確認画面が表示された場合は、[同意しない] / [同意する]を選択してください。

3 項目を選ぶ

- **モード**: GPS衛星やWi-Fiのアクセスポイント、携帯電話の基地局を利用して位置情報を測位するモードを設定します。
- **Googleロケーション履歴**: 端末にGoogleアカウントを登録している場合は、ロケーション履歴を表示します。
- 最近の位置情報リクエストがある場合は、タッチするとアプリの情報を確認できます。
- [?] ▶ [スキャン] ▶ [Wi-Fiのスキャン] / [Bluetoothのスキャン]と操作すると、位置情報サービスやアプリが、位置情報の精度向上のためにWi-FiネットワークやBluetooth機器をスキャンするか設定できます。
- ONにすると、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をOFFにしている場合もスキャンします。

- 現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

[モード]について

- 設定したモードによっては、端末の消費電力が増加しますので、あらかじめご了承ください。
- [位置情報]をONに設定すると、位置情報の利用についての確認画面が表示されます。[同意しない] / [同意する]によって、設定されるモードが異なります。

ロックとセキュリティ

セキュリティロックについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ロックとセキュリティ]

2 項目を選ぶ

- **画面ロック**: 電源を入れたときやディスプレイを表示させたときのタッチパネルのロック解除方法やタッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。
- **ロック画面メッセージ**: タッチパネルのロック画面に表示するメッセージについて設定します。
- **Smart Lock**: 画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しているとき、信頼できる端末や信頼できる場所、認識済みの顔などを確認した場合は、タッチパネルのロックをスワイプまたはタッチで解除するように設定します。
- **アプリケーションロック**: アプリケーションロックについては P.60「アプリケーションロック」

- **シークレット設定:**シークレット設定についてはP.60「シークレット設定」
- **SIMカードロック設定:**SIMカードロック設定についてはP.61「SIMカードロック設定」
- **スマートフォンの暗号化:**スマートフォンが暗号化されていることを確認できます。
- **パスワードを表示:**PINコードなどを入力する際、[・]が表示される前に入力した文字を表示させることができます。
- **端末管理アプリ:**アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。
- **提供元不明のアプリ:**Google Play以外のサイトやメールなどから入手したアプリのインストールを許可します。
- **ストレージのタイプ:**ストレージのタイプを表示します。
- **安全な認証情報の使用:**安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。
- **証明書をインストール:**暗号化された証明書をインストールします。
- **認証ストレージの消去:**すべての認証情報を削除します。
- **信頼できるエージェント:**タッチパネルのロックを解除するアプリ(エージェント)について設定します。
- **画面の固定:**選択したアプリ以外を使用できないようにします。操作方法についてはP.29「アプリ使用履歴」
- **使用履歴にアクセスできるアプリ:**アプリ使用履歴データにアクセスできるアプリを設定します。

【画面ロック】について

- 設定項目は次のとおりです。
 - なし:タッチパネルのロック画面を表示しません。
 - スワイプまたはタッチ:[**合**]を上スライドしてロックを解除するように設定します。
 - パターン:4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。
 - ロックNo.:4~16桁の数字を設定します。
 - パスワード:英字1文字以上を含んだ、4~16桁の英数字と半角記号を設定します。
 - ・一部の半角記号は利用できません。
- パターンの入力を間違えると、間違えた回数に応じて一定時間ロック解除ができなくなります。
 - 5回連続:30秒間
 - 10回連続:30秒間
 - 10回連続して間違えた場合、それに降に間違えるごとに30秒間入力ができません。正しいパターンを入力すると、カウントはリセットされます。
- 画面ロックの設定によって、ロックとセキュリティの次の項目が表示/非表示になります。
 - **パターンを表示する:**パターンの入力時の軌跡を線で表示します。
 - **自動ロック:**タッチパネルがロックされるまでの時間を設定します。
 - **電源キーですぐにロックする:**[**⏻**]を押してディスプレイの表示を消したときに、自動ロックで設定した時間にかかわらずタッチパネルをロックするが設定します。
- 画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]に設定している場合、本端末にGoogleアカウントを設定していると、パソコンやタブレットなどからパスワードによるロックを設定することができます。

端末紛失時などは次のサイトへ接続し、本端末に設定されているGoogleアカウントでログインしてください。
<https://www.google.com/android/devicemanager>

端末起動時のロック解除について

- 画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定するときは、端末を起動する際にロック解除を行うようにするかを設定できます。

- 端末起動時のロック解除の際、パターン/ロックNo./パスワードの入力を10回および20回連続して間違えると、電源を入れ直すまで入力ができません。30回連続して間違えると、端末が初期化されますので、ご注意ください。

【Smart Lock】について

- Smart Lock利用中、タッチパネルのロック画面で[**合**]などの解除アイコンをタッチすると、Smart Lockを一時無効にできます。

【提供元不明のアプリ】について

- サイトからダウンロードするアプリは情報源が不明な場合もあります。端末と個人データを保護するため、Google Playなど信頼できる情報源からのアプリのみ
- ダウンロードしてください。

【安全な認証情報の使用】について

- 証明書を削除した場合、【安全な認証情報の使用】からは証明書の参照ができなくなりますが、他の機能からは証明書の参照が可能なままとなります。証明書を完全に削除する場合は認証ストレージの消去を行ってください。

【認証ストレージの消去】について

- VPNの設定も削除されます。

アプリケーションロック

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ロックとセキュリティ] ▶ [アプリケーションロック]
- 2 暗証番号を入力 ▶ [OK]
- 3 項目を選ぶ
 - **パターンを表示する:**パターンの入力時の軌跡を線で表示します。
 - **入力時バイブ:**パターン、暗証番号、パスワードの入力時にバイブレータを動作させます。
 - **セキュリティキー変更:**セキュリティキー変更についてはP.61「セキュリティキー変更」

シークレット設定

電話帳の連絡先にシークレット属性を設定し、電話帳や発信履歴などに表示させないようにすることができます。

- シークレットモードを一時解除すると、通常の連絡先とシークレット属性設定した連絡先の両方が表示されます。
- シークレットモード一時解除中にディスプレイの表示が消えると、シークレットモードになります。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ロックとセキュリティ] ▶ [シークレット設定]
- 2 暗証番号を入力 ▶ [OK]
 - ・シークレットモードが一時解除されます。
- 3 項目を選ぶ
 - **連絡先シークレット設定:**電話帳の連絡先にシークレット属性を設定します。
 - **シークレットモード一時解除の設定:**シークレットモード一時解除について設定します。
 - **使い方がガイド:**シークレットモード一時解除の方法やシークレット設定した電話帳の連絡先についての説明を表示します。

シークレットモードの一時解除

- 1 ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグ
- 2 [**🔒**]をロングタッチ
- 3 暗証番号を入力 ▶ [OK]

本端末で利用する暗証番号

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

■セキュリティキー(各種機能用の暗証番号)

各制限を設定している場合、一時解除するにはセキュリティキーの入力が必要になります。お買い上げ時のセキュリティキーは[暗証番号]([0000])に設定されていますが、お客様ご自身で変更できません(P.6「セキュリティキー変更」)。

- セキュリティキーの入力を5回連続して間違えると30秒間入力ができま~~せ~~ん。

■PINコード

PINコードは、第三者によるnanoSIMカードの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとnanoSIMカードが完全にロックされます。その場合は、nanoSIMカードの販売元までお問い合わせください。

セキュリティキー変更

セキュリティキーを変更します。

- セキュリティキーについてはP.6「セキュリティキー(各種機能用の暗証番号)」

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ロックとセキュリティ] ▶ [アプリケーションロック]

2 暗証番号を入力 ▶ [OK]

3 [セキュリティキー変更]

4 項目を選ぶ

- **パターン**: 4つ以上の点を結びパターンを設定します。
- **暗証番号**: 4～16桁の数字を設定します。
- **パスワード**: 英字1文字以上を含んだ、4～16桁の英数字と半角記号を設定します。

SIMカードロック設定

PINコードについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ロックとセキュリティ] ▶ [SIMカードロック設定]

2 項目を選ぶ

- **SIMカードをロック**: 電源を入れたときにPINコードを入力するか設定します。
- **SIM PINの変更**: PINコードを変更します。

- 日本国内では通話可能なnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 設定は通話可能なnanoSIMカードに保存されます。

PINロックの解除

1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力

2 新しいPINコードを入力

3 もう一度、新しいPINコードを入力

言語と入力

画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [言語と入力]

2 項目を選ぶ

- **言語**: 日本語表示/英語表示を選択します。
- **現在のキーボード**: 文字入力時に使用する入力ソフトを設定します。
 - ・[キーボードの選択]をタッチすると、端末で使用する入力ソフトのON/OFFを切り替えることができます。
- **Googleキーボード**: Googleキーボードについて設定します。
- **S-Shoin**: S-Shoinについて設定します。設定できる各項目の詳細についてはP.19「文字入力の設定」
- **Google音声入力**: Google音声入力について設定します。
- **テキスト読み上げの出力**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- **スペルチェック**: スペルチェックについて設定します。
- **単語リスト**: 任意の単語を単語リストに登録します。
- **ポインタの速度**: ポインタの速度を設定します。

キーボードについて

- 日本語を入力するときはS-Shoinを利用してください。
- [Googleキーボード]、[S-Shoin]、[Google音声入力]について**
- 現在のキーボードの[キーボードの選択]の設定によって、表示/非表示になります。
- [スペルチェック]について**
- 日本語には対応していません。

バックアップとリセット

Googleアカウントによるデータのバックアップや端末間のデータ引き継ぎ、オールリセットなどを行います。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [バックアップとリセット]
- 2 項目を選ぶ
 - **データのバックアップ**: Googleアカウントを利用して、アプリのデータやWi-Fiパスワードなどを自動的にバックアップするか設定します。
 - **バックアップアカウント**: バックアップに利用するGoogleアカウントを設定します。
 - **自動復元**: アプリを再インストールするときに、バックアップされたデータや設定などを復元するか設定します。
 - **データ引継**: データ引継についてはP.62「データ引継」
 - **ネットワーク設定のリセット**: ネットワークに関する設定をすべてリセットします。
 - **オールリセット**: オールリセットについてはP.63「オールリセット」

データ引継

microSDカードを利用してデータを取り込んだり、本端末のデータをバックアップ/復元することができます。また、別の端末の電話帳データをBluetooth機能を利用して取り込むこともできます。

- microSDカードにバックアップ/復元できるデータは次のとおりです。
 - 電話帳
 - SMS
 - スケジュール
 - メモ帳
 - ユーザー辞書/学習辞書(S-Shoin)
 - エモパー
- microSDカードにバックアップ中は[機内モード]がONになります。
- 本体メモリの空き容量が11Mバイト未満のときは、microSDカードにバックアップできません。
- microSDカードを利用する場合は、あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [バックアップとリセット] ▶ [データ引継]
 - ホーム画面にデスクトップシートを表示 ▶ [データ引継]でも起動できます。
- 2 項目を選ぶ
 - **データ取り込み**: microSDカードやBluetooth機能を利用してデータを取り込みます。
 - **microSDにデータ保存**: microSDカードにデータを保存します。

バックアップファイルの保存

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [バックアップとリセット] ▶ [データ引継]
- 2 [microSDにデータ保存]
- 3 暗証番号を入力 ▶ [OK]
- 4 保存するデータカテゴリを選ぶ
 - [電話帳]を選択した場合は保存するアカウントの選択画面が表示されます。
- 5 [保存] ▶ [はい]
- 6 [完了]

- 電池残量が少ないときは保存できません。

バックアップファイルの読み込み

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [バックアップとリセット] ▶ [データ引継]
- 2 [データ取り込み]
- 3 [取り込む]
- 4 暗証番号を入力 ▶ [OK]
- 5 読み込むバックアップファイルを選ぶ ▶ [追加登録]/[削除して登録]
 - 確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。

- 電池残量が少ないときは読み込みできません。
- ユーザー辞書/学習辞書(S-Shoin)を読み込む場合、[追加登録]を選択しても、本体メモリに保存されているユーザー辞書/学習辞書(S-Shoin)のデータが削除されますので、ご注意ください。

バックアップファイルの設定・管理

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [バックアップとリセット] ▶ [データ引継]
- 2 [:] ▶ [設定]
- 3 項目を選ぶ
 - **バックアップファイルの整理**: 保存されているバックアップデータを削除できます。
 - **電話帳画像バックアップ**: 電話帳のバックアップ時に電話帳に登録された画像もバックアップするか設定します。
 - **結果画面閲覧**: 最新のバックアップファイルの保存/読み込みの結果を表示します。

Bluetooth機能を利用して電話帳データを取り込む

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [バックアップとリセット] ▶ [データ引継]

2 [データ取り込み]

3 取り込み元の端末の種類を選ぶ

- microSDカードのバックアップデータを利用するかの画面が表示された場合は、[スマートフォンから電話帳データを取り込む]を選択してください。

4 [次へ]

5 取り込み元の端末でBluetooth機能をONにする ▶ [次へ]

- 取り込み元の端末がAndroidの場合は、取り込み元の端末が本端末に表示されるように、取り込み元の端末を設定してください。

6 取り込み元の端末を選ぶ

7 [開始]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は[ペア設定する]を選択してください。

8 [次へ]

9 [追加登録] / [削除して登録] ▶ [OK]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

10 [OK]

オールリセット

本体メモリ内のすべてのデータを消去します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [バックアップとリセット] ▶ [オールリセット]

2 [携帯端末をリセット]

- [microSD内データも消去する]を有効にすると、microSDカード内のデータも同時に消去されます。

3 暗証番号を入力 ▶ [OK]

4 [すべて消去]

- 消去されるデータは次のとおりです。

- 作成、保存、登録したデータ
- 「設定」アプリで設定した内容
- ダウンロードしたアプリ

Google

Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [Google]

2 項目を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- **日付と時刻の自動設定**: 日時を自動的に補正するか設定します。
- **タイムゾーンの自動設定**: ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
- **日付設定**: 日付を手動で設定します。
- **時刻設定**: 時刻を手動で設定します。
- **タイムゾーンの選択**: タイムゾーンを手動で設定します。
- **24時間表示**: 12時間制 / 24時間制を切り替えます。

[日付と時刻の自動設定]を有効にしたとき

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- **字幕**: 字幕の表示について設定します。
- **拡大操作**: ディスプレイを3回タッチして拡大 / 縮小するか設定します。
- **大きい文字サイズ**: 端末に表示される文字のサイズを大きくするか設定します。
- **高コントラストテキスト**: 端末に表示される文字色のコントラストを高くして表示するか設定します。
- **電源キーで通話を終了**: (Ⓜ)を押して通話を終了するか設定します。
- **画面の自動回転**: 端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。
- **パスワードの音声出力**: パスワードの音声出力を利用するか設定します。
- **ユーザー補助のショートカット**: ユーザー補助機能をすばやく有効にできるようにするか設定します。
- **テキスト読み上げの出力**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- **押し続ける時間**: ロングタッチする時間を設定します。
- **色反転**: ディスプレイに表示されている色を反転するか設定します。
- **色補正**: ディスプレイに表示されている色の補正について設定します。
- その他のユーザー補助サービスの利用については、画面の指示に従ってください。

[電源キーで通話を終了]について

- [バックライト点灯時間]の設定に従ってディスプレイの表示が消えた場合は、(Ⓜ)を押すとディスプレイが表示されます。ディスプレイ表示中に(Ⓜ)を押すと、通話が終了します。

印刷

印刷用アプリ(プラグイン)をインストールすると、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。インストールした印刷用アプリ(プラグイン)の設定を変更する場合は、次の操作を行ってください。

- あらかじめ利用するプリンターに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておいてください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [印刷]

2 印刷サービスを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

端末情報

端末情報の確認ができます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [端末情報]

2 項目を選ぶ

- **ビルド番号**:ビルド番号を確認できます。
- **端末の状態**:電池残量や利用中のネットワークなどを確認できます。
- **センサー感度補正**:モーションセンサー、地磁気センサーの取得精度を補正します。
- **ソフトウェア更新**:ソフトウェア更新についてはP.77「ソフトウェア更新」
- **法的情報**:著作権情報や利用規約などを確認できます。
- **認証**:技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- **モデル番号**:モデル番号を確認できます。
- **Androidバージョン**:Androidバージョンを確認できます。
- **Androidセキュリティパッチレベル**:搭載されているセキュリティパッチがいつ配信されたものかを確認できます。
- **ベースバンドバージョン**:ベースバンドバージョンを確認できます。
- **カーネルバージョン**:カーネルバージョンを確認できます。

[センサー感度補正]について

- 補正画面が表示され、約10秒経過してから補正を行ってください。
- 補正を行う環境や同時に起動しているアプリによっては、補正に失敗することがあります。補正を行う場所を変えるか、起動中のアプリを終了させるなどしてください。

ストレージ構成

本体メモリ (内部ストレージ)

お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	端末で撮影した静止画や動画が保存されます。
Download	Chromeでダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
PRIVATE	静止画や動画、音楽データなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

microSDカード (外部ストレージ)

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- SH-M03では市販の2G/バイトまでのmicroSDカード、32G/バイトまでのmicroSDHCカード、200G/バイトまでのmicroSDXCカードに対応しています。また、スピードクラス*は最大Class10まで使用できます(2016年6月現在)。

※ スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

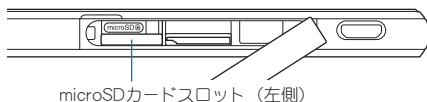
microSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm03/peripherals/microsd.html>

- 端末にmicroSDカードを挿入した直後(端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集時に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります(☞P.56「microSDカード/USBメモリのフォーマット」)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります(データはすべて削除されます)。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先/コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。

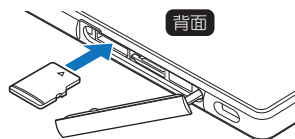
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いいたします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードの取り付け/取り外しは、端末を手でしっかり持って行ってください。

■ 取り付けかた

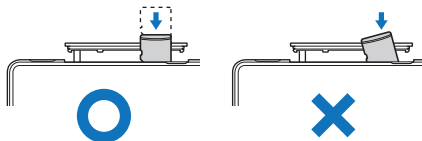
- 1 nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーを開く(☞P.14「取り付けかた」)
- 2 microSDカードの金属端子面を下に向けて、microSDカードスロットにゆっくりと挿入する



- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。



- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。



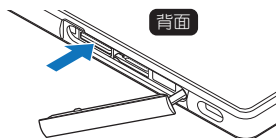
- 3 nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーを閉じる(☞P.14「取り付けかた」)

■ 取り外しかた

- あらかじめmicroSDカードをマウント解除しておいてください(☞P.55「ストレージとUSB」)。マウント解除していない場合、データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

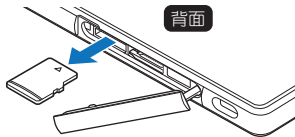
- 1 nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーを開く(☞P.14「取り付けかた」)
- 2 microSDカードを軽く押し込む

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、端末やmicroSDカードを破損させる恐れがあります。



3 microSDカードを取り外す

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。



4 nanoSIMカード／microSDカードスロットカバーを閉じる (P.14「取り付けかた」)

コンテンツマネージャー

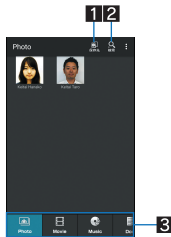
本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたデータを管理し、種類ごとに分類して表示します。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [コンテンツマネージャー]

- ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHツール] ▶ [おすすめ] ▶ [コンテンツマネージャー] でも起動できます。

2 データを選ぶ

- 対応するアプリがインストールされている場合、データを選択すると表示することができます。
- 対応するアプリが複数インストールされている場合、アプリ選択画面が表示されることがあります。アプリを選択すると表示します。



1 保存先

- 選択した保存先にあるデータを表示できます。

2 データ検索

- 検索条件を選んで、本体メモリまたはmicroSDカード内のデータを検索できます。

3 カテゴリ

- 選択したカテゴリのデータが表示されます。

カテゴリ	表示されるデータ
Photo	端末で撮影した静止画やダウンロードした画像
Movie	端末で撮影した動画やダウンロードした動画
Music	メロディファイル
Doc.	Office系データ (.doc, .xls, .ppt, .docx, .xlsx, .pptx, .csv)、PDFデータ、Textファイル
Others	その他のデータ

- 左右にスライドするとカテゴリの表示を切り替えることができます。

Bluetooth機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

仕様

■ 対応バージョン

Bluetooth標準規格 Ver.4.1※1

■ 出力

Bluetooth標準規格 Power Class 1

■ 対応プロファイル※2 (対応サービス)

HSP: Headset Profile (ヘッドセットプロファイル)※3

HFP: Hands Free Profile (ハンズフリープロファイル)※4

A2DP: Advanced Audio Distribution Profile (アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)※5

AVRCP: Audio/Video Remote Control Profile (オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)※5

HID: Human Interface Device Profile (ヒューマンインターフェイスデバイスプロファイル)※6

DUN: Dial-up Networking Profile (ダイヤルアップネットワークングプロファイル)※7

OPP: Object Push Profile (オブジェクトプッシュプロファイル)※8

SPP: Serial Port Profile (シリアルポートプロファイル)※9

PBAP: Phone Book Access Profile (フオンブックアクセスプロファイル)※10

PAN: Personal Area Networking Profile (パーソナルエリアネットワークプロファイル)※11

HOGP: HID Over GATT Profile (エイチアイディーオーバーガットプロファイル)※12

- ※1 端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※2 Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- ※3 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
- ※4 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
- ※5 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽やワンセグの音声などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
- ※6 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
- ※7 端末にBluetooth対応パソコンなどをBluetooth接続すると、端末をモデム代わりにしてデータ通信を行うことができます。パケット通信料がかかりますのでご注意ください。DUN接続をしている場合、本端末はモバイルネットワークを利用することができません。
- ※8 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。

- ※9 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
- ※10 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
- ※11 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetoothデザリングを行うこともできます。
- ※12 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

- DUNプロファイルで利用するアクセスポイントの設定は、パソコンやカーナビなどのBluetooth機器から変更することができます。DUNプロファイルでの接続ができなくなった場合は、アクセスポイントを初期化することをおすすめします(※P.22「アクセスポイントの初期化」)。

- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、ワンセグなどの音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱ひ上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。

- 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電波が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。

- 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。

- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知機から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [Bluetooth]

2 ONにする

3 Bluetooth機器を選ぶ ▶ [ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
- Bluetooth機器を検索: [🔍] ▶ [更新]
- ペア設定済みのBluetooth機器の [⚙️] をタッチして相手のBluetooth機器の名前や使用目的を設定できます。

- 最大7台まで同時に接続できます。プロフィールによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- [Bluetooth] をONにすると、他のBluetooth機器からの登録要求/接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索できるようにするには、あらかじめ他のBluetooth機器に表示されるよう設定しておいてください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください(ご覧になる取扱説明書によっては、「更新」の代わりに「検索」または「サーチ」、「ペア設定」の代わりに「ペアリング」または「機器登録」などと表記されています)。

Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求/接続要求

2 ステータスバーを下にドラッグ ▶ [ペア設定リクエスト] ▶ [ペア設定する]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は [ペア設定する] を選択してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

Bluetooth機器の登録解除

1 Bluetooth画面で登録を解除するBluetooth機器の [⚙️] ▶ [削除]

Bluetooth機器の接続解除

1 Bluetooth画面で接続を解除するBluetooth機器を選ぶ ▶ [OK]

Bluetoothの設定

- [Bluetooth] をONしてから設定してください。

1 Bluetooth画面で [🔍]

2 項目を選ぶ

- **更新**: Bluetooth機器を検索します。
- **この端末の名前を変更**: 本端末の名称を変更します。
- **Qualcomm® aptX™**: Qualcomm aptX audio を利用するかどうか設定します。
- **受信済みファイルを表示**: Bluetooth通信のデータ受信履歴を表示します。

[Qualcomm® aptX™] について

- [aptX] を有効にすると、Bluetooth機器によっては音声が出られないことがあります。その場合は [aptX] を無効にしてください。

Bluetooth通信送受信

データを送信

例: 静止画のとき

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [コンテンツマネージャー] ▶ [Photo]

2 静止画をロングタッチ ▶ [共有] ▶ [Bluetooth]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

3 接続するBluetooth機器を選ぶ

データを受信

1 送信側のBluetooth機器からデータ送信

2 ステータスバーを下にドラッグ ▶ 着信通知を選ぶ ▶ [承諾]

3 ステータスバーを下にドラッグ ▶ 受信したデータを選ぶ

- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

NFC通信

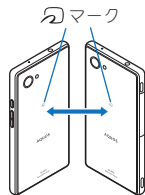
NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader/Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。

Androidビーム

Reader/Writer、P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- あらかじめ[Reader/Writer、P2P]を有効にし、[Androidビーム]をONしておいてください(☞P.41「NFC/おサイフケータイ設定」)。
- 機内モードやNFC/おサイフケータイ ロックを設定している場合は、Androidビームを利用できません。
- 次の場合はAndroidビームによるデータの送信ができないことがあります。
 - 充電中
 - イヤホンマイク接続中
 - microUSBケーブル(別売)でパソコンに接続中
- 電話帳、静止画、動画などを受信できます。
- アプリによってはAndroidビームをご利用になれません。
- すべてのReader/Writer、P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

■ Androidビームのご利用にあたって



- 図のように受信側と送信側の端末のマークを重ね合わせてご利用ください。
- データの送受信が終わるまでは、端末を動かさないでください。
- 相手の端末によっては、データを送受信しにくいことや端末を近づけた際にディスプレイの表示が消えてしまうことがあります。そのときは、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- その他の注意事項は対向機にかざす際の注意事項と同様です(☞P.41「対向機にかざす際の注意事項」)。

■ データを送信

例: 電話帳のとき

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示▶[電話帳]
- 2 名前を選ぶ
- 3 相手の端末とマークを重ね合わせる
 - [タップしてビーム]が表示されます。
- 4 画面をタッチ

■ データを受信

- 1 相手の端末とマークを重ね合わせる

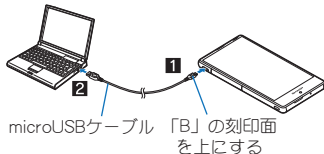
パソコンとの接続

端末とパソコンを接続することで、端末を充電したり、パソコンと本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送したりできます。

- microUSBケーブル(別売)で接続します。

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを、「B」の刻印面を上にして端末の外部接続端子に水平に差し込む(1)

2 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む(2)



- USBの使用についての確認画面が表示されます。表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグして、USBの使用についての通知を選んでください。

3 USBの使用法を選ぶ

- 充電: 端末の充電のみを行います。
- ファイル転送: MTP対応のパソコンと本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送します。
- 写真の転送(PTP): PTP対応のパソコンと本体メモリの間で静止画を転送します。
- テザリング設定についてはP.23「テザリング」

4 利用が終わったら、microUSBケーブルを端末とパソコンから取り外す

- USBケーブルはmicroUSBケーブルをご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはプラグ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 一度に大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、microUSBケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10(いずれも日本語版)です。

プリントサービスによる印刷／保存

印刷用アプリ(プラグイン)を利用して画像を印刷したり、Googleドライブなどに画像を保存したりできます。

例: アルバムを利用するとき

1 アルバムの画像表示画面で[] ▶ [プリントサービスで印刷]

2 各項目を設定

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

Wi-Fi通信を利用して、microSDカードの静止画や動画、音楽データを、ホームネットワーク対応のテレビなどで視聴することができます。

- コンテンツマネージャーで管理されている次のデータを公開できます。

データの種別	ファイル形式
静止画※1	JPEG
動画	MP4、3GP(映像コーデック:H.264、音声コーデック:aac)
音楽データ※2	MP3、LPCM(44.1kHz/2ch)、WAV(44.1kHz/2ch)

※1 画像サイズが「4096×4096」より大きい静止画は、表示できません。

※2 WAVファイルはデータ形式がLPCMの場合のみ再生できます。また、LPCMは端末には表示されません。

- それぞれ1000件を超えるデータは公開できない場合があります。

- 公開するデータは、あらかじめmicroSDカードの次のフォルダに格納しておいてください。

データの種別	フォルダ階層
静止画	¥DCIM、¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥PICTURE
動画	¥DCIM、¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥MOVIE
音楽データ	¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥MUSIC、¥PRIVATE¥SHARP¥CM¥SOUND

- ホームネットワークサーバーを利用するにはあらかじめWi-Fi接続について設定されている必要があります。Wi-Fiの設定についてはP.22「Wi-Fiの設定」

- 本端末が接続可能なテレビの機種については、次のサイトをご覧ください。

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm03/peripherals/dlna.html>

- ホームネットワーク対応のテレビから端末に接続する操作方は、ホームネットワーク対応のテレビの取扱説明書をご覧ください。

- 無線LANアクセスポイントやご使用の環境により、正常に接続できない場合や、使用中に接続が解除される場合があります。その場合は、一度ホームネットワーク設定の[サーバー]を無効にし、再度有効にしてください。

- 正常に接続できない場合は、次のことを確認してください。

- アクセスポイントの設定
- Wi-Fi接続の状態
- 接続するホームネットワーク対応機器のネットワークの設定
- ホームネットワーク対応機器のセキュリティソフト/ファイアウォールの設定
- 端末のホームネットワーク設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る] ▶ [ホームネットワーク設定]

2 項目を選ぶ

- サーバー: ホームネットワークサーバーを利用するか設定します。
- 公開ネットワーク: Wi-Fi接続で設定したアクセスポイントから利用するネットワークを設定します。
- サーバー名: ホームネットワーク対応のテレビで表示するホームネットワークサーバー名を登録します。

USBホスト機能

本端末にはUSBホスト機能が搭載されています。市販の周辺機器接続用USBケーブルを外部接続端子に接続することでマウスなどのUSB機器を利用できます。

- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブルやUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

- すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- 電池残量が少なくなったり、端末の温度が低下したりするとUSB機器の接続を解除します。
- USBホスト機能の利用中は端末の動作が遅くなる場合があります。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、端末の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に端末の電源が切れることがあります。

USBメモリの取り外しについて

- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください(☞P.55「ストレージとUSB」)。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

ワイヤレス出力

端末とワイヤレス接続機能付きテレビを接続すると、端末と同じ画面をテレビに表示することができます。

- Miracast対応テレビやアダプタなど、その他のMiracast対応機器と接続することもできます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る] ▶ [ワイヤレス出力]

2 ONにする

3 接続する機器を選ぶ

- 接続する機器によっては、設定画面が表示される場合があります。設定内容についてはご利用のMiracast対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- 起動しているアプリや表示しているコンテンツによっては、ワイヤレス出力ができない場合があります。
- 起動しているアプリによっては、途中で終了する場合があります。
- ワイヤレス出力中は、著作権保護コンテンツを再生できないことがあります。
- 電池残量が少なくなった場合は、自動的にワイヤレス出力を停止します。
- 通話中、着信中はワイヤレス出力ができません。ワイヤレス出力中に着信があった場合は、ワイヤレス出力を停止します。
- 周囲の環境によっては、無線の干渉を受けて映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。また、接続に失敗したり、出力が切れてしまう場合があります。端末とテレビなどが障害物やその他の無線機器のない見通しの良い環境でご利用ください。

ブルーレイディスクレコーダー連携

AV家電リンクのご利用にあたって

端末とDLNA対応のレコーダーをWi-Fiネットワークにつなぐことで、レコーダーで受信/録画したテレビ番組を端末で視聴/再生することができず。

また、DLNA対応のテレビをWi-Fiネットワークにつなぐことで、端末内の動画・静止画・音楽などをテレビで表示/再生することができます。

- 接続については、DLNA対応機器の取扱説明書をご参照ください。
- あらかじめ[Wi-Fi]をONに設定しておいてください。
- 本アプリはDIXiM SDKを利用しています。
「DIXiM」は株式会社デジオンがライセンスを提供しています。詳細については、株式会社デジオンのホームページをご覧ください。
<http://www.digion.com/>

レコーダーに録画した番組を本端末で視聴

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [AV家電リンク]

- ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHツール] ▶ [おすすりめ] ▶ [AV家電リンク]でも起動できます。

2 [このアプリを使う]

- AV家電リンク画面が表示されます。

3 [レコーダーに録画した番組を見る]

4 [2.接続するレコーダーを選択してください]

- 次回からはAV家電リンク画面で[レコーダーに録画した番組を見る]をタッチすると、自動的に接続されます。

5 接続する機器を選ぶ ▶ [OK] ▶ 画面の指示に従って操作

- Wi-Fiやホームネットワークなどの設定: [?] ▶ [設定]
- 本端末にデータをダビング: [ダビング] ▶ データを選ぶ

レコーダーからダビングしたデータを本端末で視聴

1 AV家電リンク画面で[端末にダビングした番組を見る]

2 番組を選ぶ

レコーダーのチューナーを利用して、本端末でテレビを視聴

1 AV家電リンク画面で[その他の機能を使う]

2 [>] ▶ [レコーダー経由でテレビ放送を見る]の[使う] ▶ 画面の指示に従って操作

本端末の静止画／動画や音楽をテレビで視聴

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [SHツール] ▶ [おすすめ] ▶ [AV家電リンク]
- 2 [このアプリを使う]
 - AV家電リンク画面が表示されます。
- 3 [その他の機能を使う]
- 4 「撮影した写真をテレビで見る」の[使う]
- 5 [2.この端末をホームネットワーク内にサーバーとして公開する]
 - ホームネットワークの設定についてはP.70「ホームネットワーク設定」
- 6 [3.接続するテレビを選択してください] ▶ 画面の指示に従って操作
 - 次回からは「撮影した写真をテレビで見る」の[使う]をタッチすると、自動的に接続されます。
 - WiFiやホームネットワークなどの設定: [設定] ▶ [設定]

- カメラで撮影したFULL HDなどの高ビットレート動画は、ホームネットワークを経由すると、端末でなめらかに再生できないことがあります。

VPN(仮想プライベートネットワーク)

VPNの追加

VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプまたはタッチ]以外に設定しておいてください(P.59「ロックとセキュリティ」)。

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る] ▶ [VPN] ▶ [+]
- 2 各項目を設定 ▶ [保存]

VPNの接続

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る] ▶ [VPN]
- 2 接続するVPNを選ぶ
- 3 VPNの接続情報を入力 ▶ [接続]

VPNの切断

- 1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る] ▶ [VPN]
- 2 切断するVPNを選ぶ ▶ [切断]

海外でご利用になる前に

■ ご出発前の確認

ご利用の通信事業者によって、提供サービスが異なります。詳しくは、通信事業者にお問い合わせください。

海外で利用するための設定

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る] ▶ [モバイルネットワーク]

2 項目を選ぶ

- データローミング: データローミングについては P.73「データローミング」
- 4Gを利用する: 4Gを利用するか設定します。
- アクセスポイント名: アクセスポイント名については P.22「アクセスポイントの設定」
- 通信事業者: 通信事業者については P.73「通信事業者」

データローミング

海外でパケット通信を行うためには、[データローミング]を有効にする必要があります。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [データローミング]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。

通信事業者

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [もっと見る] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [通信事業者]

- データ通信の確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。
- ネットワークの検索が行われ、通信事業者の一覧が表示されます。

2 通信事業者を選ぶ

- 通信事業者の再検索: [ネットワークを検索]
- 通信事業者を自動的に選択: [自動的に選択]

日付と時刻

日付と時刻の[日付と時刻の自動設定]、[タイムゾーンの自動設定]を有効にしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻については P.63「日付と時刻」

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [電話] ▶ [ダイヤル]

2 「+」「0」をロングタッチ ▶ 国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号を入力 ▶ [☎]

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります)。
- 電話番号を入力 ▶ [☎] ▶ [特番付加] ▶ [国際電話] ▶ 国番号を選んで国番号を入力できます。
 - ・ 地域番号(市外局番)の最初の「0」は削除されます。

- 発信者番号を通知しても、通信事業者によっては[通知不可能]や[非通知設定]など正しく番号表示されないことがあります。

滞在国内に電話をかける

滞在国内で国内電話をかけるときは、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。
- 同一市内でも、必ず地域番号(市外局番)から入力してください。

海外で電話を受ける

海外でも、日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

■ 相手からの電話のかけかた

日本から滞在先に電話をかけてもらうときは、日本国内にいるときと同様にお客様の電話番号を入力してもらいます。

日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらうときは、滞在先にかかわらず日本への国際電話として、国際電話アクセス番号と日本の国番号「81」を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力してもらいます。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90(または80、70)-XXXX-XXXX

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(☞P.77「ソフトウェア更新」)。
- 端末のセルフチェックを行ってください(☞P.58「セルフチェック」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」にご相談ください。

■ 電源

- 本端末の電源が入らない
 - ・ 電池切れになっていませんか。(☞P.15「充電」)
- 画面が動かない、電源が切れない
 - ・ Ⓛ(Ⓧ)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。(☞P.16「強制的に電源を切る」)
 - ・ 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

- 充電ができない
 - 充電ランプが点灯しない、または点滅する
 - ・ ACアダプター(別売)の電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。(☞P.15「ACアダプターで充電」)
 - ・ ACアダプターをご使用の場合、ACアダプターとmicroUSBケーブル、本端末がしっかりと接続されていますか。(☞P.15「ACアダプターで充電」)
 - ・ 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(☞P.15「充電時のご注意」)
 - ・ 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
 - ・ 充電中に充電ランプが赤色で点灯している場合、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。

■ 端末操作

- アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)
 - ・ 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。(☞P.58「アプリの有効」)
 - ・ アプリの動作に必要な機能の利用を許可していますか。(☞P.30「アプリに必要な許可」)
 - ・ 電池の最適化を行っていませんか。(☞P.30「電池の最適化」)
- 操作中・充電中に熱くなる
 - ・ 操作中や充電中、また、充電しながらフセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、ACアダプター、microUSBケーブルが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。(☞P.15「充電時のご注意」)

- 電池の使用時間が短い
 - ・ 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
 - ・ 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。(☞P.77「主な仕様」)
 - ・ 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。(☞P.10「内蔵電池の交換について」)
- タッチしたり、キーを押したりしても動作しない
 - ・ 端末の電源が切れていませんか。(☞P.16「電源を入れる」)
- タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い
 - ・ 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。(☞P.55「ストレージとUSB」)
- nanoSIMカードが認識しない
 - ・ nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか。(☞P.13「nanoSIMカード」)
- 時計がずれる
 - ・ 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日付と時刻の自動設定]が有効になっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。(☞P.63「日付と時刻」)
- 端末動作が不安定
 - ・ ご購入後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
 - ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。
 - ・ セーフモードの起動方法
 - 電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でホーム画面が表示されるまでⓁ(←)を押し続けてください。
 - ※ 電源を入れた状態でⓁ(Ⓧ)(1秒以上)▶[電源を切る]をロングタッチ▶[OK]でも、セーフモードで再起動ができます。また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができます。(☞P.58「セルフチェック」)
 - ※ セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]と表示されます。
 - ※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
 - ・ 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
 - ・ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
 - ・ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
- グリップセンサーが反応しない
 - ・ 手袋をしていませんか。
 - ・ グリップセンサーに対応していないカバーなどを装着していませんか。
 - ・ 端末が濡れていませんか。(☞P.11「水に濡れたときの水抜きについて」)
 - ・ 金属製のものにセンサーに触れていませんか。
 - ・ [グリップマジック]をOFFにし、再度ONにしてください。(☞P.18「グリップマジック」)

■ 通話

- 発信ができない
 - ・ 発信制限の[発信先限定]を設定していません。**☞**P.33「通話設定」
 - ・ 機内モードを設定していません。**☞**P.59「もっと見る」
- 着信音が鳴らない
 - ・ 着信音量を「0」にしています。**☞**P.53「音と通知」
 - ・ マナーモード、機内モードを起動していません。**☞**P.54「マナーモード設定」、P.59「もっと見る」
 - ・ 発信制限の[着信拒否]を設定していません。**☞**P.33「通話設定」
- 通話ができない(場所を移動しても[📶]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)
 - ・ 電源を入れ直すか、通話可能なnanoSIMカードを入れ直してください。**☞**P.13「nanoSIMカード」、P.16「電源を入れる／切る」
 - ・ 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[📶]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
 - ・ 発信制限の[着信拒否]を設定していません。**☞**P.33「通話設定」
 - ・ 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

- ディスプレイが暗い
 - ・ バックライト点灯時間を短く設定していません。**☞**P.54「壁紙とディスプレイ」
 - ・ ディスプレイの明るさを変更していません。**☞**P.55「明るさのレベル」
 - ・ 明るさのレベルの[明るさを自動調整]を有効にしていますか。有効にしている場合は、周囲の明るさによって変わります。**☞**P.55「明るさのレベル」
 - ・ [のぞき見ブロック]を有効にしていますか。**☞**P.55「のぞき見ブロック」

■ 音声

- 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
 - ・ 通話音量を変更していません。**☞**P.32「通話音量調節」

■ メール

- メールを自動で受信しない
 - ・ メールのアカウントの設定で同期頻度を[自動確認しない]に設定していません。

■ カメラ

- カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
 - ・ SHカメラで近くの小写体を撮影するときは、フォーカス設定を[接写AF]に切り替えてください。**☞**P.46「静止画撮影／動画撮影の共通設定」
 - ・ カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。**☞**P.44「カメラをご利用になる前」
- モバイルライト点灯時に撮影した静止画や動画が白っぽくなる
 - ・ カメラのレンズ周辺にケースやカバー、指などがあると、モバイルライトの光が反射して撮影した静止画や動画に悪影響を与える場合があります。

■ ワンセグ

- ワンセグの視聴ができない
 - ・ 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいます。**☞**P.41「放送波について」
 - ・ チャンネルリストを作成していますか。**☞**P.42「チャンネルリスト作成」

■ おサイフケータイ

- おサイフケータイが使えない
 - ・ NFC／おサイフケータイ ロックを設定していません。**☞**P.41「NFC／おサイフケータイ ロック」
 - ・ 本端末の🔄マークがある位置を読み取り機にかざしていません。**☞**P.41「対向機にかざす際の注意事項」

■ 海外利用

- 海外で本端末が使えない([📶]が表示されている場合)
 - ・ nanoSIMカードの販売元までお問い合わせください。
 - ・ ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。通信事業者を[自動的に選択]に設定してください。**☞**P.73「通信事業者」
 - ・ 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。**☞**P.16「電源を入れる／切る」
- 海外でデータ通信ができない
 - ・ [データローミング]を有効にしてください。**☞**P.73「データローミング」
 - ・ ご利用の通信事業者がサービスを提供しているかご確認ください。
- 相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない
 - ・ 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

- データ転送が行われない
 - ・ USB HUBを使用していない。**☞**P.70「パソコンとの接続」
 - ・ USBの使用方法が[充電]に設定していません。**☞**P.70「パソコンとの接続」
- microSDカードに保存したデータが表示されない
 - ・ microSDカードを取り付け直してください。**☞**P.65「microSDカード(外部ストレージ)」
- 画像が正しく表示されない
 - ・ 画像データが壊れている場合は黒色の画像が表示されます。

■ Bluetooth機能

- Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない
 - ・ Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。**☞**P.68「Bluetooth機能の利用」
 - ・ カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない
 - ・ 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。**☞**P.16「電源を入れる／切る」

エラーメッセージ

- [SIMカードが挿入されていません-緊急通報のみ]
 - ・ nanoSIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。
P.13「nanoSIMカード」
- [空き容量低下]
 - ・ 本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動/削除を行ってください。
- [暗証番号を入力してください]
 - ・ 制限されている機能の操作をしようとした場合に表示されます。暗証番号を入力すると、端末のロックが一時的に解除され、操作できます。
 - ・ 暗証番号の入力が必要な機能を利用しようとした場合に表示されます。
- [緊急サービスがブロックされています。]
[音声サービスがブロックされています。]
[すべての音声サービスがブロックされています。]
 - ・ 音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。
- [データサービスがブロックされています。]
 - ・ パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。
- [製造番号情報を利用します。よろしいですか?]
 - ・ フォンセグ視聴中表示されることがあります。[はい]を選択すると、端末とnanoSIMカードの製造番号が送信されます。
- [接続できません。]
 - ・ 何らかの原因でデータ放送に接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。
- [モバイルネットワークが利用できません。]
 - ・ 有効なネットワークに設定されているかご確認ください。

保証とアフターサービス

保証について

保証書は本端末に付属されております。

- お買い上げ年月日、販売店名をご確認ください。
保証書の記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間
お買い上げの日から1年間です(ただし電池、消耗部品は除きます)。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが消失・変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 補修用性能部品の保有期間

シャープ株式会社は、この製品の補修用性能部品を、製品の製造打ち切り後4年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも異常があるときは、使用を止めて、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

■ お願ひ

- 本端末の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・ 液晶部やキー部にシールなどを貼る
 - ・ 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - ・ 外装などを純正品以外のものに交換するなど - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に、磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけずとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
 - 使用箇所: スピーカー、受話口部
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

ソフトウェア更新

SH-M03のソフトウェア更新が必要なかをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。

●ソフトウェア更新が必要な場合には、端末上あるいはシャープ株式会社ホームページにてご案内いたします。

●ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態(故障、破損、水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

●ソフトウェア更新には大量の packets 通信が発生することがあります。Wi-Fi通信を利用できる場合は、Wi-Fi通信を利用し更新することをおすすめします。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときはソフトウェアを更新できません。ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電しながら操作することをおすすめします。
- ソフトウェア更新(ダウンロード、書き換え)には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のSH-M03固有の情報(機種や製造番号など)が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本端末が使用できなくなる場合があります。本端末が使用できなくなった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリを起動しないでください。

ソフトウェアの更新

1 ホーム画面にアプリシートを表示 ▶ [設定] ▶ [端末情報] ▶ [ソフトウェア更新]

2 [ソフトウェア更新] ▶ [はい]

- ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードすることができます。
- すぐに更新する場合は、[今すぐ更新]を選択し、画面の指示に従って操作してください。
- すぐに更新しない場合は、[後で更新]を選択するとアプリが終了し、ステータスバーに[🔄]が表示されます。ソフトウェア更新を行う場合は、ステータスバーを下にドラッグし、[ソフトウェア更新]を選択後、画面の指示に従って操作してください。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかかり、ホーム画面が表示されます。

●ソフトウェア更新の必要がないときには、[現在のソフトウェア]は最新ですと表示されます。

●更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。

●ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。

ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、完了画面が表示されます。

主な仕様

■ 本体

品名	SH-M03
サイズ	高さ約126mm×幅約66mm×厚さ約8.9mm(最厚部:約9.0mm)
質量	約120g
メモリ	ROM: 16G/バイト RAM: 3G/バイト
連続通話時間 ※1※2※3	3G 約870分 GSM 約720分 VoLTE(音声通話) 約1150分
連続待受時間 ※2※3	3G 静止時:約510時間※4 GSM 静止時:約400時間※4 LTE 静止時:約460時間※4
ワンセグ視聴時間 ※3※5	約510分
充電時間	ACアダプター SH-AC03:約250分
ディスプレイ	方式 TFT (IGZO) 16,777,216色 サイズ 約4.7inch 画素数 2,073,600画素(FULL HD:横1080ピクセル ×縦1920ピクセル)
イヤホンマイク 端子	プラグの直径:3.5mmステレオミニプラグ 極数: 4 極

撮像素子	種類 アウトカメラ:表面照射型CMOS※ ⁶ インカメラ:表面照射型CMOS※ ⁶ サイズ アウトカメラ:1/3.0inch インカメラ:1/5.0inch
カメラ部	有効画素数 アウトカメラ:約1310万画素 インカメラ:約500万画素 記録画素数(最大時) アウトカメラ:約1280万画素 インカメラ:約500万画素 ズーム(デジタル) アウトカメラ:最大約8.0倍(静止画)/最大約8.0倍(動画) インカメラ:最大約8.0倍(静止画)/最大約8.0倍(動画)
記録部※ ⁷	静止画記録枚数 約8800枚(本体保存時)※ ⁸ 約1100枚(microSDカード(1Gバイト)保存時)※ ⁸ 静止画連続撮影 999枚 静止画ファイル形式 JPEG 動画録画時間 1件あたり最大約16分/合計最大約64分(本体保存時)※ ⁹ 1件あたり最大約480秒/合計最大約480秒(microSDカード(1Gバイト)保存時)※ ⁹ 動画ファイル形式 MP4
保存容量	約8.2Gバイト※ ¹⁰
無線LAN	IEEE802.11a/b/g/n(2.4GHz/5GHz)/ac※ ¹¹ 準拠
Bluetooth	対応バージョン Bluetooth標準規格 Ver.4.1 出力 Bluetooth標準規格 Power Class 1 対応プロファイル(対応サービス/バージョン) HSP(1.2)、HFP(1.6)、A2DP(1.2)、AVRCP(1.3)、HID(1.0)、DUN(1.1)、OPP(1.2)、SPP(1.2)、PBAP(1.0)、PAN(PAN-NAP)(1.0)、PAN(PANU)(1.0)、HOGP(1.0)
言語	表示言語:日本語、英語 入力言語(文字入力):日本語、英語 入力言語(音声入力):Google音声入力による

- ※1 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- ※2 データ通信やマルチアクセス、カメラ機能、ワンセグ機能、Bluetooth機能などの各種機能のご利用頻度が高い場合、通話(通信)・待受時間は短くなります。実際のご利用時間は、通話(通信)と待受の組み合わせととなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。
- ※3 内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより、通話(通信)・待受時間が半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなったりする場合があります。
- ※4 電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- ※5 ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。

- ※6 CMOS(complementary metal-oxide semiconductor: 補相型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。
- ※7 SHカメラ利用時の仕様です。
- ※8 撮影サイズ:FULL HD(1920×1080)/ファイルサイズ:約900Kバイト
- ※9 撮影サイズ:FULL HD(1920×1080)/ファイルサイズ制限:なし/種別:画像+音声
- ※10 メモリを共有するアプリの使用状況によって、各種データの保存容量は少なくなります。
- ※11 MU-MIMO(Clientモード)に対応しています。

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.8 V
公称容量	2810 mAh

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種SH-M03の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.833W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.652W/kg(※3)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5cm以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

- ※ 1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
- ※ 2 同時に使用可能な無線機能を持つ携帯電話機本体を頭頂部でのご使用になる場合のSAR測定法については、平成27年7月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申がなされており、これに基づいて評価した場合においてもSARが許容値を満足していることを確認しています。
- ※ 3 この値は同時送信の値です。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.664 W/kg* and when worn on the body is 1.660 W/kg**.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

CE0168

In some countries/regions including Europe, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only. If you intend to use 5GHz WLAN on the device, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this SH-M03 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC. A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm03/index.html>

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

5 GHz WLAN Operation in USA

Within the 5.15-5.25 GHz band, UNII devices are restricted to indoor operations to reduce any potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite Services (MSS) operations.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.73 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 1.14 W/kg.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID APYHRO00228.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety>.

FCC ID Location

The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the About phone & the Authentication under the Settings menu.

CAUTION

Use only specified AC adapter (sold separately) or microUSB cable (sold separately) for use with the handset.

The internal battery may leak, overheat, explode or catch fire and the AC adapter or microUSB cable may overheat, catch fire, cause malfunction, etc. if you use the equipment other than the specified one.

For details on the optional accessories, refer to the following website.

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm03/index.html>

Do not throw the handset into a fire or heat it.

May cause fires, burns, bodily injury, etc. because of catching fire, exploding, overheating or leaking of the battery.

Do not dispose of the unnecessary handset in ordinary garbage.

Since the battery is built into the handset, contact the "company or outlet listed on the warranty card", where the handset will be properly disposed of.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Earphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 120.0 mV.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.

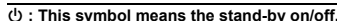
Use the handset within the range of a temperature between 5°C and 35°C and a humidity between 45% and 85%.

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.

Especially when you use it for young children, keep sufficient distance from them.

Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents etc.

 This symbol means the stand-by/on/off.

Bluetooth function

● Bluetooth is a registered Trademark of Bluetooth SIG, Inc.

輸出管理規制

本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

知的財産権について



著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Media[®]、Windows Vista[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。



- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント/LCFONTおよび[®]は、シャープ株式会社の登録商標です。
- OBEX[™]は、Infrared Data Association[®]の商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- この製品にはデンマーク AM3D A/SのZIRENE SOUND技術を搭載しています。ZIRENE SOUNDはAM3D A/Sの商標または登録商標です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Wi-Fi[®]はWi-Fi Alliance[®]の登録商標です。
- Wi-Fi Direct[™]、Miracast[™]、Wi-Fi Protected Setup[™]およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance[®]の商標です。The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.
- DLNA[®]、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED[™]は、Digital Living Network Allianceの商標です。DLNA[®]、the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED[™] are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance。本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

- This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- Portions Copyright © 2004 Intel Corporation
この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用してあります。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社の iWnn を使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2016 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2016 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ M を搭載しています。
*新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd.
Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries, used with permission.
aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.
- DigiOn 及び DiXiM は株式会社デジオンの商標です。
- 本製品の音声合成ソフトウェアには HOYA サービス株式会社の VoiceText を使用しています。VoiceText は、Voiceware 社の登録商標です。
- Google, Google ロゴ, Android, Google Play, Google Play ロゴ, Gmail, Gmail ロゴ, Google カレンダー™, Google カレンダー ロゴ, Google マップ™, Google マップ ロゴ, Google Chrome™, Google Chrome ロゴ, Google 音声検索™, Google 音声検索 ロゴ, YouTube, YouTube ロゴ, Google ドライブ, Google ドライブ ロゴ, Google™ 検索, Google 検索 ロゴ, Google Now, Google フォト™, ハングアウトは、Google Inc. の商標です。
- 「AQUOS」, 「Feel Home」, 「Bright Keep」, 「Sweep ON」, 「Night Catch / ナイトキャッチ」, 「フレーミングアドバイザー / Framing Adviser」, 「ワンタッチシャッター」, 「「書」メモ」, 「AV 家電リンク」, 「エモパーク / emopark」, 「エモパーメモ」, 「エモパーク / emopark」, 「エスジョイン / S-Shoin」, 「Print Smash」, 「グリップマジック / Grip Magic」, 「クリップナウ / Clip Now」, 「ヒカリエモーション」, 「体験しよう！」, 「AQUOS」ロゴはシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されています。これ以外の使用については、ライセンス許諾されていません。
 - MPEG-4 ビデオ規格準拠のビデオ (以下「MPEG-4 ビデオ」と記載します) を符号化すること。
 - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化した MPEG-4 ビデオを復号すること。
 - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得した MPEG-4 ビデオを復号すること。
 その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人 MPEG LA, LLC にお問い合わせください。

- 本製品は MPEG-4 Systems Patent Portfolio License に基づき、MPEG-4 システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
 - タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
 - 永久記録および/または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。
 追加のライセンスについては、米国法人 MPEG LA, LLC より許諾を受けることができます。詳細については、米国法人 MPEG LA, LLC にお問い合わせください。
 - 本製品は、AVC ポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC 規格準拠のビデオ (以下「AVC ビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および/または (ii) AVC ビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化された AVC ビデオ、および/または AVC ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイターから入手した AVC ビデオに限り) を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされていません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLC から入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com> をご参照ください。
 - 本製品は、VC-1 Patent Portfolio License に基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) VC-1 規格準拠のビデオ (以下「VC-1 ビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および/または (ii) VC-1 ビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化された VC-1 ビデオ、および/または VC-1 ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイターから入手した VC-1 ビデオに限り) を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされていません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLC から入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com> をご参照ください。
 - MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は Fraunhofer IIS 及び Thomson から実施許諾されています。
 - 本書では各 OS (日本語版) を次のように略して表記しています。
 - Windows 10 は、Microsoft® Windows® 10 (Home, Pro, Enterprise, Education) の略です。
 - Windows 8.1 は、Microsoft® Windows® 8.1, Microsoft® Windows® 8.1 Pro, Microsoft® Windows® 8.1 Enterprise の略です。
 - Windows 7 は、Microsoft® Windows® 7 (Starter, Home Basic, Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate) の略です。
 - Windows Vista は、Windows Vista® (Home Basic, Home Premium, Business, Enterprise, Ultimate) の略です。
- ## オープンソースソフトウェアについて
- 本製品には、GNU General Public License (GPL), GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面にアプリケーションを表示 ▶ [設定] ▶ [端末情報] ▶ [法的情報] ▶ [オープンソースライセンス] をご参照ください。
 - GPL, LGPL, Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/index.html>

アイコンの見かた	24
アカウントを追加	
メールの設定	37
Gmailの設定	38
明るさのレベル	55
明るさを自動調整	55
アクセスポイントの初期化	22
アクセスポイントの設定	22
あなたについて	57
アプリ	58
アプリ一覧	27
アプリケーションロック	60
アプリ削除	30
アプリ使用履歴	29
アプリ初回起動時の確認画面について	30
アプリに必要な許可	30
アプリの権限	30
アプリの購入	40
アプリの設定	40
アプリの通知	53
アプリ非表示	27
アプリリンク	58
アプリを削除	27
アラーム	49
アラーム設定	44
アラーム・時計	49
アラームの音量	53
アラームのみ	54
アルバム	46
暗証番号	61
安全上のご注意(必ずお守りください)	3
安全な認証情報の使用	60
位置情報	59
位置情報付加	46
色反転	63
色補正	63
印刷	64
上方向スライド	20
受取確認通知	36
絵・記・顔の連続入力	20
エゴ技設定	55
絵文字・記号リスト列数	19
エモバー	56
エモバー選択	57
エモバーの音量	53
エモバーの記憶	57
エモバーの話題	57
エモバーメモ	57
大きい文字サイズ	63
オールリセット	63
おサイフケータイ	40
「おサイフケータイ対応サービス」の利用	40
おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって	40
押し続ける時間	63
お知らせ通知	54
音と通知	53
オフタイマー設定	44
おまかせオート	46
主な仕様	77
音声切替	44
音声多重切替	44

カーネルバージョン	64
海外でご利用になる前に	73
海外で電話を受ける	73
海外で利用するための設定	73
海外利用	73
ガイドタブ表示設定	27
ガイドの表示速度	20
顔文字リセット	20
学習辞書リセット	20
拡大操作	63
各部の名称と機能	13
画質モード	54
カバー装着設定	18
壁紙	54
壁紙とディスプレイ	54
カメラの設定	45
カメラをご利用になる前に	44
画面回転抑止	18
画面の固定	60
画面の自動回転	63
画面表示/アイコン	24
画面ロック	59
カレンダー	50
カレンダーの設定	50
簡易留守録設定	33
キー操作音	20
キー操作バイブ	20
キー操作バイブ時間	20
キー入力ガイド表示	19
キーボード調整	19
キーボードの見かた	19
既定のアプリ	58
機内モード	59
機能紹介	46
機能利用中の操作	17
基本操作	16
基本動作について	57
強弱設定	55
緊急警報	59
緊急通報	31
銀残し	46
クイック返信	33
グリップマジック	18
グループの利用	34
グループモード	54
携帯電話機の比較収率(SAR)について	78
結果画面閲覧	62
言語	61
言語と入力	61
現在のキーボード	61
検索エンジン	39
公開ネットワーク	70
高コントラストテキスト	63
更新	68
国際発信設定	33
この端末の名前を変更	68
コンテンツマネージャー	66
コントロール表示位置	44

さ

サーバー	70
サーバー名	70
サイズ変更	27

サイトの設定	39
サイトの表示	39
サイレント	54
サウンド設定	44
シークレット設定	60
シークレットモード一時解除の設定	60
時刻設定	63
辞書	52
システム設定の変更	58
下方向スライド	20
視聴/録画予約	43
自動大文字変換	20
自動カーソル移動	20
自動スペース入力	20
自動復元	62
字幕	63
字幕切替	44
写真サイズ	45
写真の転送(PTP)	70
シャッターモード	45
充電	
充電	15
パソコンとの接続	70
充電開始時	54
充電時は明るくする	55
受信済みファイルを表示	68
省エネ&バッテリー	55
証明書のインストール	22
証明書をインストール	60
使用履歴にアクセスできるアプリ	60
ショートカットを貼付け	27
初期設定	
エモバー	57
初期設定	21
新規フォルダに入れる	27
信頼できるエージェント	60
水平に置いて消灯	57
スクリーンショットの撮影	17
スクリーンセーバー	54
スケジュールの削除	50
スケジュールの作成	50
ステータスパネルの利用	25
ストップウォッチ	49
ストレージとUSB	55
ストレージのタイプ	60
スペルチェック	61
スマートフォンの暗号化	60
スレッドの削除	
Gmail	38
SMS	35
スロー範囲をエクスポート	47
静止画の撮影	45
製品情報	44
世界時計	49
セキュリティキー変更	61
設定メニュー	53
設定リセット	
各種リセット	20
静止画撮影/動画撮影の共通設定	46
セルフチェック	58
全件削除	57
センサー感度補正	64
全般	50
全般設定	
メールの設定	37
Gmailの設定	38
その他の音	53
ソフトウェア更新	77
ソフトキーボード表示	19

た

体験しよう!	
クリップマジック	18
モーションでON/OFF	57
対向機にがさず際の注意事項	41
滞在国外(日本を含む)に電話をかける	73
滞在国内に電話をかける	73
タイマー	
アラーム・時計	49
静止画撮影/動画撮影の共通設定	46
タイムゾーンの自動設定	63
タイムゾーンの選択	63
タイムラプス	46
ダウンロード辞書	20
タッチパネルの操作	16
タップ&ペイ	58
タブとアプリの統合	39
単語リスト	61
端末が回転したとき	54
端末がロックされているとき	53
端末管理アプリ	60
端末情報	64
端末内やサイトの情報の検索	18
端末の状態	64
地域を選んで作成	42
知的財産権について	80
着信音	
音と通知	53
メッセージの設定	36
着信音の音量	53
着信時のバイブ	53
着信/充電ランプ	24
チャンネルリスト作成	42
チャンネルを探して作成	42
注意事項	57
ちらつき防止	46
通常マナー	54
通信事業者	73
通知	36
通知音	53
通知音の鳴動時間	53
通知へのアクセス	53
通知を非表示	53
[通知を非表示]へのアクセス	53
通話設定	33
通話中の操作	32
通話モード設定	33
使い方ガイド	
シークレット設定	60
Clip Now	57
つながり予測	20
提供元不明のアプリ	60
データ使用量	59
データセーバー	39
データ取り込み	62
データのバックアップ	62
データの振り分け	46
データ引継	62
データ放送設定	44
データローミング	73
テーマ設定	27
手鏡	46
テキストメッセージの制限件数	36
テキスト読み上げの出力	
言語と入力	61
ユーザー補助	63
テザリング	23

テレビ視聴	42	ヒカリエモーション	54
テレビリンク	43	左方向スライド	20
テレビ(ワンセク)	41	日付設定	63
電源キーで通話を終了	63	日付と時刻	
電源ボタンを2回押してカメラを起動	54	海外で利用するための設定	73
電源を入れる/切る	16	設定	63
電卓	51	日付と時刻の自動設定	63
電池	55	表示パターン	55
電池残量%表示	54	ビルド番号	64
電池の最適化	30	ファイル転送	70
電話帳	33	フォーカス設定	46
電話帳画像バックアップ	62	フォームに自動入力する	39
電話帳名前データと連携	20	ブックマーク	39
電話帳のインポート/エクスポート	24	ブッシュ信号の入力	31
電話帳の確認/利用	33	プライバシー	39
電話帳の削除	34	プライバシーポリシー	37
電話帳の登録	33	フリック感度	20
電話帳の編集	34	フリックカバー使用時の表示	56
電話を受ける	31	プリントサービスによる印刷/保存	70
電話をかける	31	古いメッセージを削除	36
動画サイズ	46	プレイリストの管理	48
動画全体をエクスポート	47	フレーミングアドバイザー	45
動画の撮影	45	プロキシ設定	59
トグル入力	20	プロフィール	
ドック表示設定	27	設定	53
トランプシューティング(FAQ)	74	電話帳	34
取り扱い上のご注意	8	ベースバンドバージョン	64

な

内蔵電池の交換	10
なぞり動作設定	57
名前を変更	30
入力時パイプ	60
入力ミス補正	20
認証	64
認証ストレージの消去	60
ネット変換エンジン	20
ネットワーク設定のリセット	62
ネットワークの通知	22
のぞき見ブロック	
壁紙とディスプレイ	55
のぞき見ブロック	55

は

背景ほかし	46
ハイスピード動画の再生	47
ハイスピード録画	46
パイプでお知らせ	18
パイプレーション	36
はがす	
アプリ/ウィジェット/ショートカット/フォルダの管理	27
ミニアプリ/ミニウィジェットの管理	30
パスワード	61
パスワードの音声出力	63
パスワードを表示	60
パスワードを保存する	39
パソコンとの接続	70
パターン	61
パターンを表示する	60
バックアップアカウント	62
バックアップとリセット	62
バックアップファイルの整理	62
バックライト点灯時間	54
発信制限	33
発信履歴	32
発信履歴の削除	32
ハンドオーバー	22

設定	63
日付と時刻	63
表示パターン	55
ビルド番号	64
ファイル転送	70
フォーカス設定	46
フォームに自動入力する	39
ブックマーク	39
ブッシュ信号の入力	31
プライバシー	39
プライバシーポリシー	37
フリック感度	20
フリックカバー使用時の表示	56
プリントサービスによる印刷/保存	70
古いメッセージを削除	36
プレイリストの管理	48
フレーミングアドバイザー	45
プロキシ設定	59
プロフィール	
設定	53
電話帳	34
ベースバンドバージョン	64
ヘルプ	46
変換辞書の更新	20
便利機能	56
ポインタの速度	61
防水/防塵性能	10
法的情報	64
ホーム画面の管理	27
ホーム画面の見かた	26
ホーム切替	30
ホーム設定	27
ホームネットワーク設定	70
ホームページ	39
ホームポジション設定	27
他のアプリの上に重ねて表示	58
ポケットに入れて消灯	57
保証とアフターサービス	76
歩数計	51
保存先設定	46
ホワイトバランス	46
本体メモリ(内部ストレージ)	65
本端末で利用する暗証番号	61
本端末のご利用について	2
本端末の静止画/動画や音楽をテレビで視聴	72

ま

マイク設定	46
マップ	48
マナーモード設定	
音と通知	54
OFF	54
マニュアル	46
右方向スライド	20
ミニアプリ/ミニウィジェット	29
ミュージック	47
メールいきなり予測	20
メール/ウェブブラウザ	35
メールのアカウントの設定	23
メールの削除	37
メールの設定	37
メールの表示	
Eメール	36

Gmail.....	37
メールの返信／転送	
Eメール.....	37
Gmail.....	38
メッセージの削除.....	35
メッセージの設定.....	36
メッセージの転送.....	35
メッセージの表示.....	35
メッセージの返信.....	35
メディアの音量.....	53
メモ帳に登録する.....	50
メモ帳を確認する.....	50
メモリ.....	58
モーションでON/OFF.....	57
モーションによる切替え.....	55
モード.....	59
目次.....	1
文字削除キー動作.....	20
文字入力.....	19
文字入力のしかた.....	20
文字入力の設定.....	19
文字フォント設定.....	54
持つと画面点灯.....	18
もっと見る.....	59
モデル番号.....	64
モノクロ.....	46
モバイルネットワーク.....	59

や

ユーザー辞書.....	20
ユーザー補助.....	63
ユーザー補助機能.....	39
ユーザー補助のショートカット.....	63
優先する通知のみ.....	54
輸出管理規制.....	80
予測変換.....	20
読取カメラ.....	46

5

リサイクル.....	10
履歴.....	39
レイアウト設定.....	27
レコーダーに録画した番組を本端末で視聴.....	71
連絡先シークレット設定.....	60
ローマ字キーボード補助.....	20
録画.....	42
録画再生.....	43
ロック解除時.....	54
ロック画面のショートカット.....	54
ロック画面メッセージ.....	59
ロックとセキュリティ.....	59

わ

ワイヤレス出力.....	71
ワイルドカード予測.....	20
ワンセグの設定.....	44
ワンタッチチャット.....	46

英数字

24時間表示.....	63
4Gを利用する.....	73
ACアダプターで充電.....	15
Androidセキュリティパッチレベル.....	64
Androidバージョン.....	64
Androidビーム.....	

NFC／おサイフケータイ 設定.....	41
NFC通信.....	69
AV家電リンクのご利用にあたって.....	71
Bluetooth機能.....	67
Bluetooth機能の利用.....	68
Bluetooth通信送受信.....	68
Bluetoothテザリング.....	23
Bright Keep.....	57
Chrome.....	39
Chromeについて.....	39
Chromeにログイン.....	39
Chromeの設定.....	39
Clip Now.....	57
Clip Now ON/OFF設定.....	57
Eメール.....	36
EDGESTエフェクト.....	54
FAQ.....	57
Gmail.....	37
Gmailから予定を作成.....	50
Gmailの設定.....	38
Google.....	63
Google音声入力.....	61
Googleキーボード.....	61
Googleなどのアカウントの設定.....	23
Googleロケーション履歴.....	59
GPS機能の利用.....	48
GPS／ナビ.....	48
HDR.....	45
IPアドレス.....	22
ISO感度.....	45
MACアドレス.....	22
microSDカード(外部ストレージ).....	65
microSDカードの暗号化／暗号化解除.....	56
microSDカード／USBメモリのフォーマット.....	56
microSDにデータ保存.....	62
microUSBケーブルで充電.....	16
nanoSIMカード.....	13
NFC／おサイフケータイ 設定.....	41
NFC／おサイフケータイ ロック.....	41
NFC通信.....	69
NightCatch.....	
静止画撮影の設定.....	45
動画撮影の設定.....	46
PINロックの解除.....	61
Play ストア.....	40
Qualcomm® aptX™.....	68
Reader／Writer, P2P.....	41
SHカメラ.....	44
SHツール.....	51
SH-SHOW.....	46
SIMカードのメッセージ.....	36
SIMカードロック設定.....	61
SIMカードをロック.....	61
SIM PINの変更.....	61
Smart Lock.....	59
SMS.....	35
SMSが有効.....	36
S-Shoin.....	61
Sweep ON.....	57
USBテザリング.....	23
USBホスト機能.....	71
VPN.....	59
VPNの接続.....	72
VPNの切断.....	72
VPNの追加.....	72
Wi-Fi周波数帯域.....	22
Wi-Fiテザリング.....	23
Wi-Fiテザリング簡単接続.....	23
Wi-Fiテザリングを設定.....	23

Wi-Fiのスリープ設定	22
Wi-Fiの設定	22
Wi-Fi Direct	22
YouTube	49



製造元：シャープ株式会社

16.6(1版)
16F TO89①